SAMSUNG

ユーザー マニュアル

ME40A ME46A ME55A
DE40A DE46A DE55A
UE46A UE55A

色と外観は製品によって異なる場合があり、製品の仕様は性能の向上のために予告無く変更される場合があります。

BN46-00098B-06

著作権について

このマニュアルの内容は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。

ⓒ 2011 Samsung Electronics

このマニュアルの著作権は、Samsung Electronics が保有しています。

このマニュアルの一部または全部について、Samsung Electronics の許可なく使用または複製することはできません。

SAMSUNG ロゴおよび SyncMaster ロゴは、Samsung Electronics の登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の登録商標です。

VESA、DPM および DDC は、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

その他すべての商標の所有権は、それぞれの所有者に帰属します。

本製品は日本国内用として製造、販売しています。日本国外で使用された場合、当社は責任を負い兼ねます。また、技術相談や、アフターサービスなども国外では行っておりませんのでご注意ください。

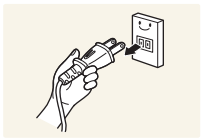
本製品は一般OA用として設計・製造されています。一般OA用以外の用途で使用される場合は、保証期間内であっても無償修理の対象外となることがありますのでご注意ください。

お手入れに関する注意事項

高度 LCD のパネルおよび外装はキズが付きやすいため、清掃の際はご注意ください。

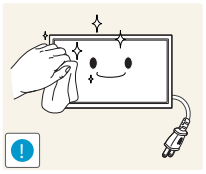
清掃は、次の手順で行ってください。

以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

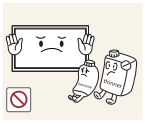


1. 本製品と PC の電源をオフにします。
2. 本製品から電源コードを外します。

   電源コードはプラグ部分を持ち、濡れた手でコードに触れないでください。感電の原因となることがあります。

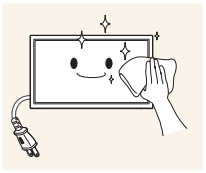


3. 清潔で柔らかい乾いた布で本製品を拭きます。

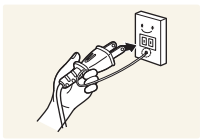


- アルコール、溶剤または界面活性剤を含む洗浄剤は使用しないでください。

- 製品に水や洗浄剤を直接かけないでください。



4. 柔らかい乾いた布を水で濡らし、しっかりと絞ってから、本製品の外装を清掃します。



5. 清掃が終わったら、電源コードを本製品に接続します。
6. 本製品と PC の電源をオンにします。

記録装置(梱包保存時)

超音波加湿器を近くで使用している場合、光沢のあるモデルの表面に白いしみが発生する場合があります。

本製品内部の清掃が必要な場合は、カスタマー サービス センターまでお問い合わせください (別途作業費がかかります)。

安全にお使いいただくために

注意
感電する危険があります。カバーを開けないでください
注意感電の危険をなくすため、カバー（または背面）を外さないでください。 内部には、ユーザーが対応可能な部品はありません。 修理はすべて正規の修理業者にご依頼ください。

	この記号は、内部が高電圧であることを示しています。 この製品の内部部品に触れると危険です。
	この記号は、操作とメンテナンスに関する重要な文書がこの製品に付属していることを警告しています。

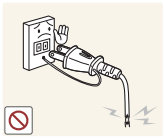
記号について

警告	指示に従わない場合には、重傷または死亡事故の原因となることがあります。
注意	指示に従わない場合には、ケガまたは物損事故の原因となることがあります。
	禁止行為を示しています。
	順守すべき行為を示しています。

電気に関する注意事項

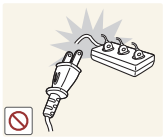
以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

警告



破損した電源コードまたはプラグ、あるいはがたつきのある電源ソケットを使用しないでください。

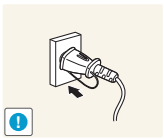
- 感電または火災の原因となることがあります。



複数の製品をひとつの電源ソケットで使用しないでください。

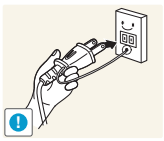
- 電源ソケットが過熱し火災が発生することがあります。

濡れた手で電源プラグに触れないでください。感電の原因となることがあります。



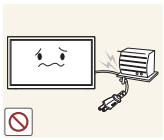
電源プラグはグラグラしないよう最後まで差し込んでください。

- しっかりと接続していない場合、火災の原因となることがあります。



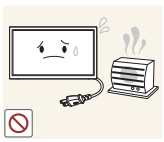
電源プラグは、アースされた電源ソケットに接続してください（絶縁クラス 1 の機器のみ）。

- 感電またはケガの原因となることがあります。



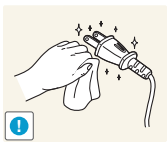
電源コードを無理に曲げたり引っ張ったり、または重い物を載せた状態にしないでください。

- コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。



電源コードや製品を熱源の近くに置かないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

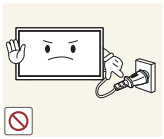


電源プラグの先端や電源ソケットに付いたほこりは、乾いた布で取り除いてください。

- 火災の原因となることがあります。

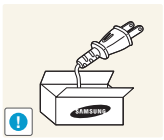
ご使用になる前に

注意



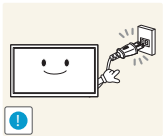
製品の使用中に電源コードを抜かないでください。

- 感電により製品が破損することがあります。



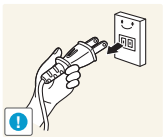
弊社が提供する電源コードのみを使用してください。
また、同梱された電源コードを他の電気機器で使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



電源コードは、遮るものがない場所にある電源ソケットに接続してください。

- 問題が発生した場合は、電源コードを抜いて製品の電源をオフにする必要があります。
- 遠隔の電源ボタンだけでは、製品の電源を完全にオフにすることはできませんのでご注意ください。



電源コードを電源ソケットから抜くときは、プラグ部分を持ってください。

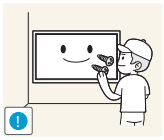
- 感電または火災の原因となることがあります。

インストール方法

警告

ろうそく、虫除けまたはタバコを製品の上に置いたりしないでください。製品を熱源の近くに設置したりしないでください。

- 火災の原因となることがあります。

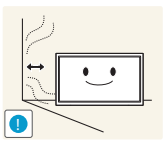


製品を壁に設置する場合は、専門の取付業者にご依頼ください。

- 無資格で取り付けを行うと、ケガの原因となることがあります。
- 認可されているキャビネットを必ず使用してください。

製品を本棚やクローゼットなどの換気の悪い場所に設置しないでください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。



製品を設置するときには、換気のために壁から 10cm 以上離してください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

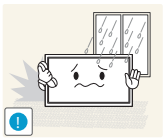
ご使用になる前に

梱包用のビニール袋は、お子様の手の届かないところに置いてください。

- お子様がビニール袋で窒息することがあります。

安定しないまたは振動する場所（不安定な棚、傾斜面など）に製品を設置しないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 振動の多い場所で製品を使用すると、製品が破損したり火災の原因となることがあります。



製品を車内に設置したり、ほこり、湿気（水切りなど）、油または煙にさらされる場所に設置したりしないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

製品を直射日光の当たる場所や、ストーブなどの熱源にさらされる場所に設置しないでください。

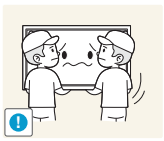
- 製品の寿命が短くなったり火災の原因となることがあります。

製品をお子様の手の届くところに設置しないでください。

- 製品が落下してお子様のケガの原因となることがあります。
- 製品の前部は重いため、水平で安定した面に設置してください。

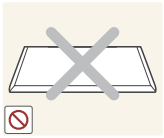
食用油（大豆油など）を使用すると、製品の破損や変形の原因となります。製品をキッチンやキッチン カウンターの近くに設置しないでください。

注意



製品を移動させるときは落下に十分ご注意ください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

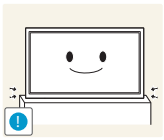


製品の前面を下にして置かないでください。

- 画面が破損することがあります。

製品をキャビネットや棚に設置するときには、製品の前面下側がはみ出ないようにしてください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。
- 製品に合ったサイズのキャビネットや棚に設置してください。



製品を置くときは丁寧に置いてください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

通常とは異なる場所（大量の微粒子、化学物質、極端な高温または低温にさらされる場所、あるいは長期間にわたって製品を連続稼動させる必要のある空港や駅）に製品を設置した場合には、製品性能に深刻な影響を与える可能性があります。

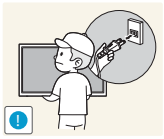
- これらの場所に製品を設置する場合は、Samsung カスタマー サービス センターにご相談ください。

ご使用の際の注意事項

警告

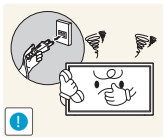
製品内部は高電圧になっています。製品の分解、修理または改造は絶対に行わないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。
- 修理が必要な場合は、Samsung カスタマー サービス センターまでお問い合わせください。



製品を移動させるときには、電源スイッチをオフにして、電源コードやアンテナ ケーブルなどの接続されているケーブルをすべて取り外してから移動させます。

- コードが破損して、火災や感電の原因となることがあります。



製品から異音、焦げくさい臭い、または煙が発生した場合は、直ちに電源コードを抜いて Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。

- 感電または火災の原因となることがあります。

お子様が製品にぶら下がったりよじ登ったりしないようにしてください。

- お子様のケガや場合によっては重傷の原因となることがあります。

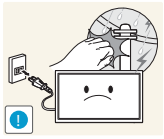
製品が落下したりケースが破損した場合は、電源スイッチをオフにし、電源コードを抜いてから、Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。

- そのまま使用し続けると、火災や感電の原因となることがあります。

ご使用になる前に

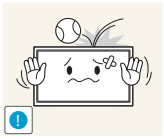
重い物や、お子様のお気に入りの玩具や菓子などを製品の上に置かないでください。

- お子様がこれらの玩具や菓子を取ろうとして重い物や製品自体が落下し、重傷の原因となることがあります。



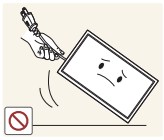
稲光や激しい雷雨が発生しているときは電源コードを抜き、アンテナ ケーブルには触れないようにしてください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



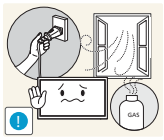
製品の上に物を落としたり、衝撃を与えないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。



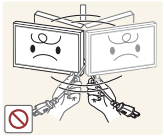
電源コードなどのケーブルを使用して製品を引っ張らないでください。

- ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



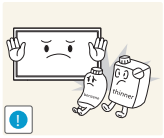
ガス漏れが発生した場合は、製品および電源プラグに触れないようにして、直ちに換気を行ってください。

- 火花が発生して、爆発または火災の原因となることがあります。
- 雷や稲光が発生しているときは、電源コードやアンテナ ケーブルには絶対に触れないでください。



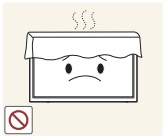
電源コードやその他のケーブルを引っ張って製品を持ち上げたり移動させたりしないでください。

- ケーブルが破損して、製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。



可燃性のスプレーや物を製品の近くで使用したり、製品の近くに置いたりしないでください。

- 爆発または火災の原因となることがあります。



テーブルクロスやカーテンで通気口を塞がないようにしてください。

- 内部温度が上昇し火災が発生することがあります。

ご使用になる前に

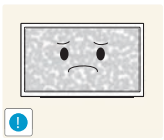
金属性の物（箸、硬貨、ヘアピンなど）や可燃物（紙、マッチなど）を、通気口や入出力ポートなどから製品内に入れないでください。

- 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

水の入った容器（花瓶、コップ、瓶など）や金属性の物を製品の上に置かないでください。

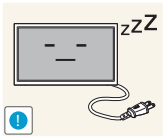
- 水やその他の異物が製品内に入ったときには、電源をオフにし、電源コードを抜いてください。Samsung カスタマー サービス センターまでご連絡ください。
- 製品の故障、感電または火災の原因となることがあります。

注意



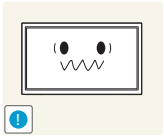
静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。

- 長期間にわたって本製品を使用しない場合は、省電力モードをオンにするか動画のスクリーン セーバーを設定してください。



休暇などで長期間製品を使用しない場合には、電源コードを電源ソケットから外してください。

- ほこりの堆積と温度上昇により、火災、感電または漏電が発生することがあります。

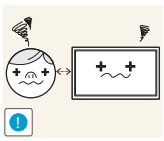


製品に適した解像度および周波数を使用してください。

- 視力低下の原因となることがあります。

スタンドを持って本製品を上下逆にしたり移動させたりしないでください。

- 製品が落下して破損したり、ケガの原因となることがあります。

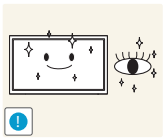


画面を近すぎる位置から長期間見続けると、視力が低下することがあります。

加湿器やコンロを製品の周辺で使用しないでください。

- 火災または感電の原因となることがあります。

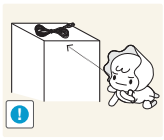
ご使用になる前に



製品を使用するときには、1 時間ごとに 5 分以上は目を休めるようにしてください。

- 疲れ目が緩和されます。

電源を長時間オンの状態にするとディスプレイが高温になるため、ディスプレイには触れないようにしてください。



細かな付属品は、お子様の手の届かないところに保管してください。

製品の角度やスタンドの高さを調整するときにはご注意ください。

- 手や指が挟まれてケガをすることがあります。
- 製品を傾け過ぎると、製品が落下したり、ケガの原因となることがあります。

製品の上に重い物を置かないでください。

- 製品の故障やケガの原因となることがあります。

目次

ご使用になる前に

2 **著作権について**

3 **お手入れに関する注意事項**
3 記録装置 (梱包保存時)

4 **安全にお使いいただくために**
4 記号について
5 電気に関する注意事項
6 インストール方法
8 ご使用の際の注意事項

準備

21 **内容の確認**
21 梱包材の取り外し
22 付属品の確認

25 **部品**
25 コントロール パネル
27 背面
28 Kensington Lock 設置
29 リモコン

32 **製品の設置前に (設置ガイド)**
32 傾斜角度と回転
32 換気
34 寸法

35 **ウォール マウントを設置する**
35 ウォール マウントを設置する前の準備
35 ウォール マウント キットの設置
35 ウォール マウント キットの仕様 (VESA)

37 **リモコン (RS232C)**
37 ケーブル接続
39 制御コード

入力信号デバイスの接続と使用

50 **接続の前に**
50 接続前のチェックポイント

目次

51 PC の接続および使用
51 PC への接続
54 解像度の変更

56 ビデオ デバイスへの接続
56 AV ケーブルを使用した接続
57 コンポーネント ケーブルを使用した接続
57 HDMI-DVI ケーブルを使用した接続
58 HDMI ケーブルを使用した接続
59 外部モニターを接続する
59 オーディオ システムに接続する

60 入力ソースを変更する
60 入力ソース

61 ネットワーク ボックスの接続
61 MagicInfo

MDC の使用

65 マルチコントロール の構成設定
65 マルチコントロール の構成設定

65 RS232C-ステレオ ケーブルを通じて MDC と通信する

66 LAN ケーブルを使用して通信する

66 LAN ケーブルを通じて ステレオ ケーブル と通信する

67 MDC プログラムのインストール / アンインストール
67 インストール方法
67 アンインストール

目次

68 **MDC とは**
68 MDC の接続
69 接続の管理
70 Auto Set ID
71 クローニング
72 コマンドの再試行
73 MDC を開始する
75 メイン画面のレイアウト
76 メニュー
78 画面調整
82 音声調整
83 システムの設定
90 ツールの設定
92 その他の機能
96 トラブルシューティング ガイド

画面調整

98 **映像モード**
98 入力ソースが PC、DVI または DP の場合
98 入力ソースが AV、コンポーネントまたは HDMI の場合
99 **バックライト / コントラスト / 明るさ / シャープネス / 色 / 色合い**
100 **画面調整**
100 **画像サイズ**
101 **位置**
102 **PC 画面調整**
102 **解像度の選択**
102 **自動調整**
103 **3D 機能を使う (UE46A & UE55A モデルのみ)**
103 3D モード
103 3D 機能を使用して本製品で視聴する

目次

106 詳細設定
106 色の暗さ（黒）
107 ダイナミック コントラスト
107 シャドウの詳細
107 ガンマ
107 エキスパート向けパターン
107 RGB のみモード
107 色空間
108 ホワイト バランス
108 10p ホワイト バランス (オフ / オン):
108 鮮明
108 輪郭強調 (オン / オフ)
108 動画画面の明るさ調整 (オン / オフ)
108 LED Motion Plus (オン / オフ)
109 映像オプション
109 色調
109 Color Temp.
109 デジタル ノイズ フィルタ
110 MPEG ノイズ フィルタ
110 HDMI 階調レベル
110 フィルムモード
110 Motion Plus
111 映像のリセット

音声調整
112 サウンド モード
113 サウンド効果
113 3D オーディオ (UE46A & UE55A モデルのみ)
113 3D オーディオ (オフ / 低 / 中 / 高)
114 スピーカーの設定
114 サウンド リセット

メディア
115 MagicInfo Lite
115 MagicInfo Lite プレイヤー ガイド

目次

116 **ビデオ**
116 動画を再生する

120 **写真**
120 写真（または スライド ショー）を見る

121 **音楽**
121 音楽を再生する

123 **ビデオ / 写真 / 音楽 - 追加機能**
123 ファイル リストを**並べ替え**
124 **ビデオ / 写真 / 音楽**の再生オプション メニュー

126 **入力ソース**
126 入力ソース
127 **名前の編集**
127 **情報**
127 **更新**

128 AllShare

ネットワーク

129 **ネットワーク設定**
129 有線ネットワークに接続する
130 有線ネットワーク設定
132 ワイヤレス ネットワークに接続する
133 無線ネットワーク設定
135 WPS(PBC)
136 One Foot Connection
137 アドホック ネットワーク設定

138 **ネットワーク ステータス**

138 AllShare 設定
138 **メディア**

140 MagicInfo Lite 設定

システム

142 **マルチコントロール**
142 **マルチコントロール** の構成設定

目次

143 現在時刻
143 現在時刻設定
143 スリープ タイマー
143 オンタイマー
144 オフタイマー
144 休日の管理

145 メニュー言語

145 エコ ソリューション
145 省電力
146 エコ センサー (オン / オフ)
146 無信号電源オフ
146 Auto Power Off (オン / オフ)

146 セキュリティ
147 安全ロック (オフ / オン)
147 ボタン ロック (オフ / オン)
147 PIN の変更

148 PIP

148 自動保護起動時間

149 画像焼き付き保護
149 画素シフト
149 タイマー
150 ピクセル
150 サイドグレー

151 画像分割
151 画像分割
151 フォーマット
152 水平
152 垂直
152 画面の位置

153 入力自動切り替え設定

目次

154 全般
154 省電力（最大）
154 ゲーム モード
155 BD Wise
155 自動電源設定
155 スタンバイ制御
155 ランプ スケジュール
155 OSD ディスプレイ
156 電源オン調整
156 温度制御
156 デバイス名

157 Anynet+(HDMI-CEC)
157 Anynet+(HDMI-CEC)
158 自動オフ
160 受信機

161 DivX® Video On Demand

161 ネットワーク リモート コントロール

161 システムのリセット

161 すべてリセット

サポート

162 ソフトウェア更新
162 USB 経由
162 代替ソフトウェア

163 Samsung 連絡先

MAGICINFO LITE

164 MagicInfo Lite Player と互換性があるファイル形式
164 ビデオ / オーディオ

168 ネットワーク スケジュール
168 サーバーへの接続
169 MagicInfo Lite の設定
169 接続されている装置をサーバーから承認
173 現在時刻の設定

目次

174 ローカル スケジュール

174 ローカル スケジュール マネージャ
174 ローカル スケジュールの登録
177 ローカル スケジュールの変更
178 ローカル スケジュールの削除
180 ローカル スケジュールの実行
181 ローカル スケジュールの停止
182 ローカル スケジュールの詳細の表示

183 Contents Manager
183 コンテンツのコピー
184 コンテンツの削除

185 内部 AutoPlay
185 内部 AutoPlay の実行

185 USB AutoPlay
185 内部メモリでの自動再生の実行

186 コンテンツ実行時
186 実行中のコンテンツの詳細を表示
187 実行中のコンテンツの設定を変更

トラブルシューティング ガイド

188 サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に
188 製品のテスト
188 解像度と周波数の確認
189 以下について確認します。

192 Q & A

仕様

194 一般情報

196 省電力

197 プリセット タイミング モード

199 License

付録

200 お客様相談ダイヤル

目次

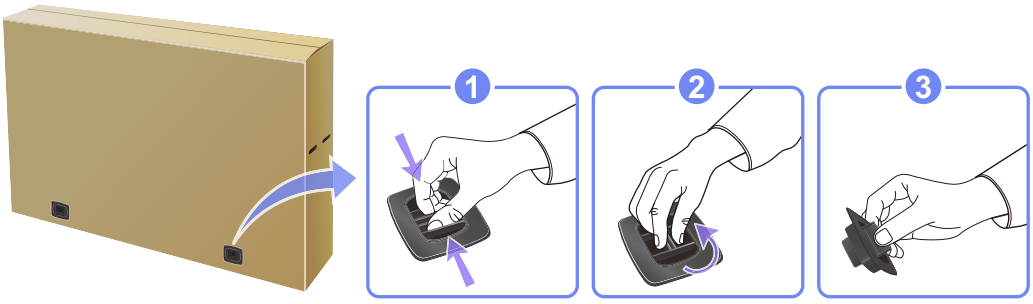
200 **最適画質および残像の焼き付き防止**
200 最適画質
201 残像の焼き付き防止
204 **用語**

1 準備

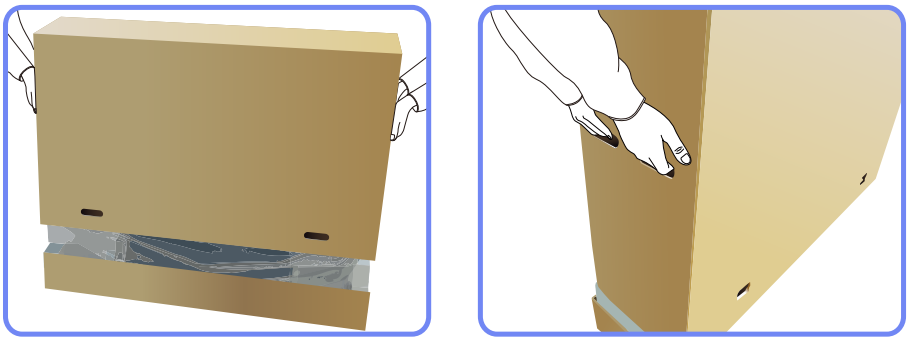
1.1 内容の確認

1.1.1 梱包材の取り外し

1 箱の底部にある黒色の固定具を取り外します。

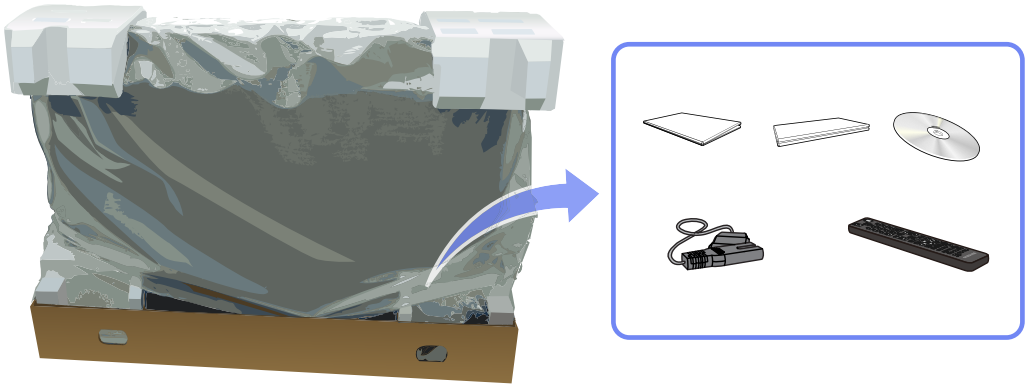


2 箱の溝の部分を持ち、箱の上側を持ち上げて取り外します。



3 内容物を確認して、発泡スチロールとプラスチックの袋を取り外します。

実際の内容物の外観は、表示とは異なる場合があります。



この図はイメージです。

4 箱は、将来製品を移動させる時のために乾燥した場所に保管しておきます。

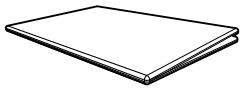
1.1.2 付属品の確認

- 付属品が不足している場合は、製品の購入先にお問い合わせください。
- 付属品および別売品の外観は、表示とは異なる場合があります。

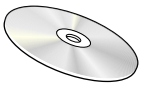
付属品

付属品は、販売している地域や国によって異なる場合があります。

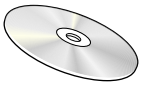
クイック セットアップ ガイド



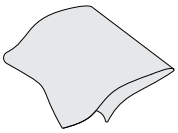
保証書
（含まれていない地域もあります）



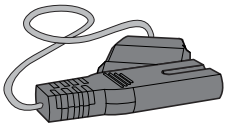
ユーザー マニュアル



MagicInfo Lite Edition
ソフトウェア CD

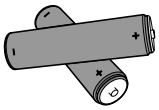


クリーニング クロス

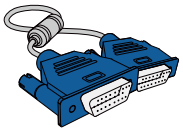


電源コード

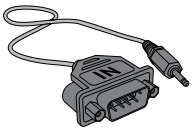
リモコン
（AA59-00555A）



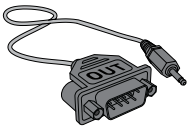
電池
（含まれていない地域もあります）



D-SUB ケーブル



RS232C(IN) アダプタ



RS232C(OUT) アダプタ

AV / コンポーネント アダプタ

ホルダー リング (4EA)
(BN61-07295A)

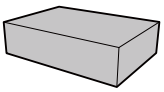
ホルダー ワイヤ スタンド
(BN61-05491A)

1 準備

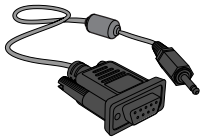
D-SUB (9 ピン) 型 RS232C ケーブルを使用して別のモニターと接続する場合に、RS232C アダプタをご使用になれます。各アダプタを製品の適切な RS232C IN または OUT ポートに接続してください。

別売品（販売していない地域もあります。）

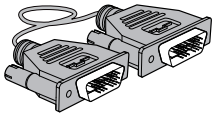
- スタンドは別売りです。
- 以下の別売品は、最寄りの小売店でご購入いただけます。



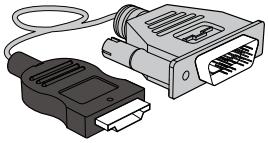
ウォール マウント キット



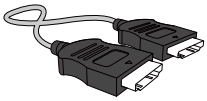
RS232C ステレオケーブル
（IN用）



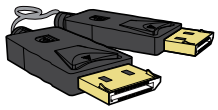
DVI ケーブル
（日本向けには含まれません。）



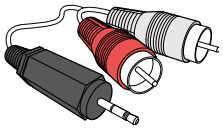
HDMI-DVI ケーブル



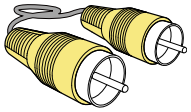
HDMI ケーブル



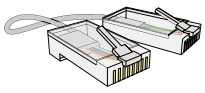
DP ケーブル



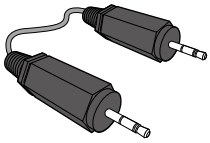
RCA ステレオケーブル



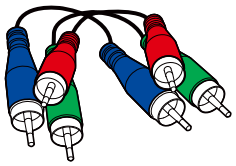
ビデオ ケース



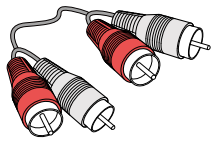
LAN ケーブル



ステレオ ケーブル



コンポーネント ケーブル

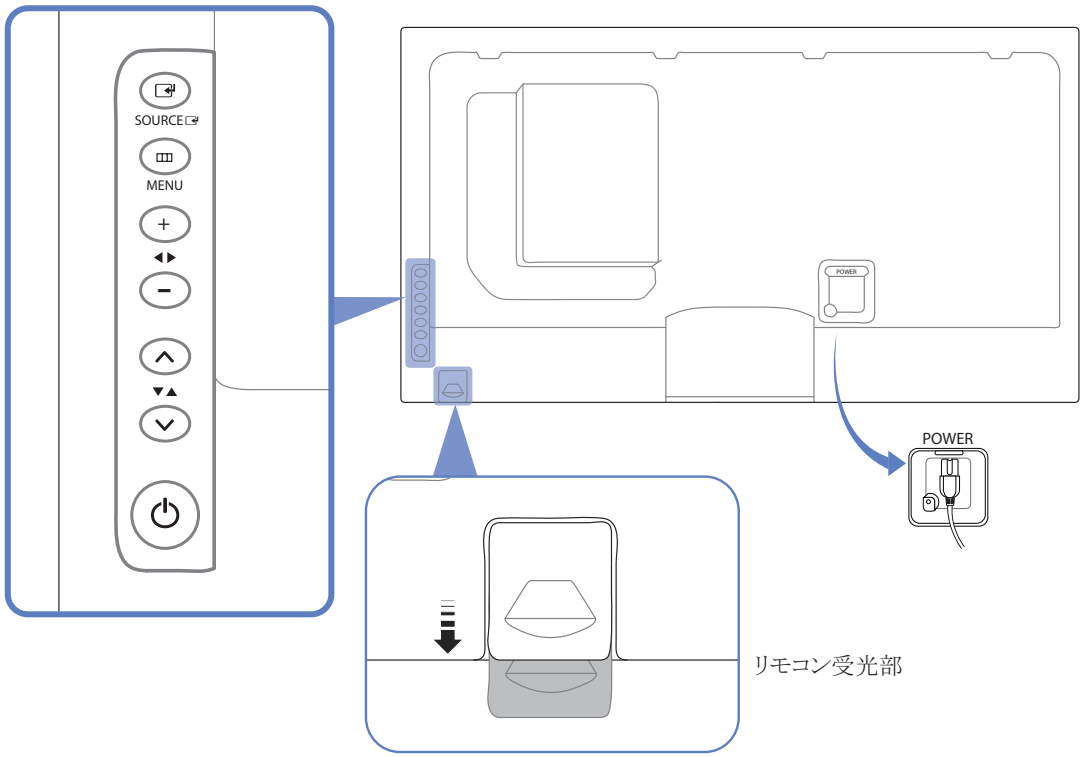


RCA ケーブル

1.2 部品

1.2.1 コントロール パネル

- 部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。
- リモコン受光部ーとリモコンの間に、障害物のない状態を維持してください。

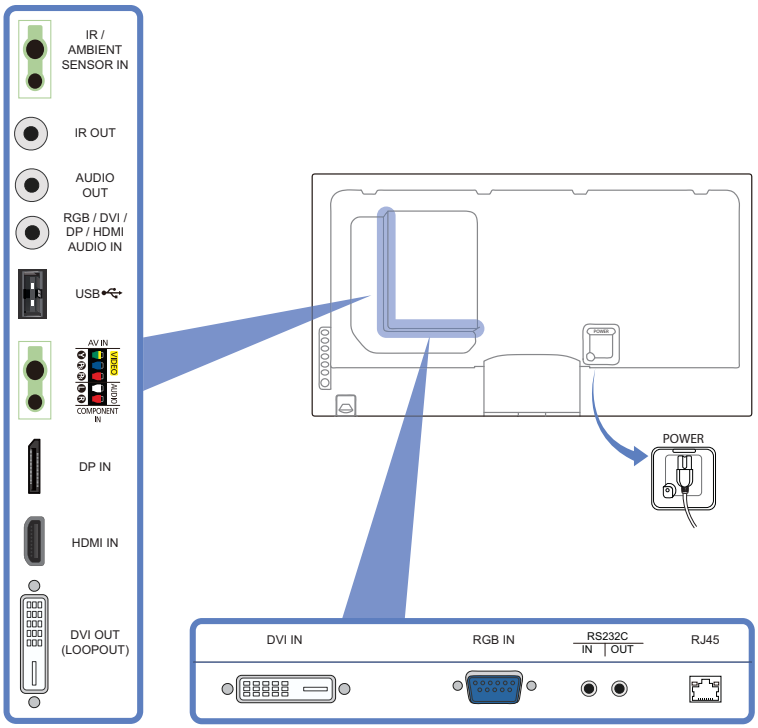


ボタン	説明
SOURCE	外部機器が接続されている入力ソースを選択します。
MENU	オンスクリーン メニューを開いて、メニューを閉じます。また、OSD メニューを閉じたり、前のメニューに戻るためにも使用します。
+ ◀▶ −	メニュー アイテム間を左右に移動したり、選択したメニューの値を調整します。音量を調整します。このマルチ機能ボタンは、以下の 2 つの機能を提供します。
∧ ▼▲ ∨	メニュー アイテム間を上下に移動したり、選択したメニューの値を調整します。このマルチ機能ボタンは、以下の 2 つの機能を提供します。

ボタン	説明
	ディスプレイのオン / オフを切り替えるために使用します。
リモコン受光部	リモコンからの信号を受信する 本製品の前面でリモコンを操作するには、リモコン センサーを矢印の方向 (前ページの拡大画像に示されています) に下げます。 リモコン受光部一とリモコンの間に、障害物のない状態を維持してください。

1.2.2 背面

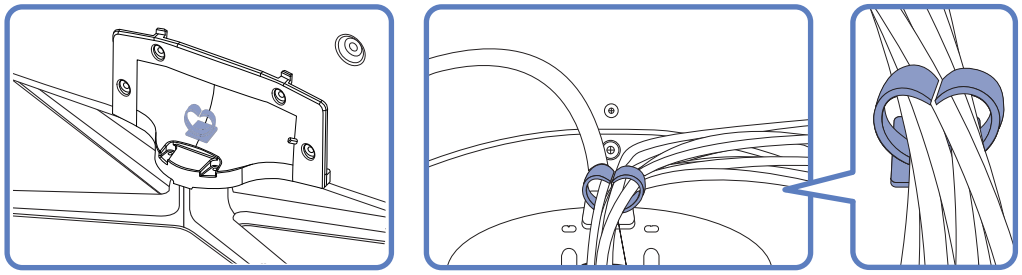
部品の色および形状は、図示されているものとは異なる場合があります。仕様は、品質向上のために予告なく変更されることがあります。



端子	説明
[IR / AMBIENT SENSOR IN]	外部センサー 端子に電源を供給したり、光センサー信号を受信します。
[IR OUT]	外部センサー 端子を通じてリモコン信号を受信し、LOOPOUT を通じて信号を出力します。
[AUDIO OUT]	入力信号デバイスの音声に接続する
[RGB / DVI / DP / HDMI AUDIO IN]	オーディオ ケーブルを通じて PC から音声を受信します。
[USB]	USBメモリを接続します。
[AV IN / COMPONENT IN]	AV / コンポーネント アダプタを使用して、ソース機器と接続します。
[DP IN]	DP ケーブルを使用して PC と接続します。
[HDMI IN]	HDMI ケーブルを使用してソース機器と接続します。
[DVI OUT (LOOPOUT)]	DVI ケーブルを使用して別の製品と接続します。
[DVI IN]	DVI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用して、入力信号デバイスに接続する

端子	説明
[RGB IN]	D-SUB ケーブルを使用してソース機器と接続します。
[RS232C IN/OUT]	RS232C ステレオ ケーブルを使用して、MDC に接続します。
[RJ45]	LAN ケーブルを使用して MDC に接続します。

Assembling the Holder-Wire stand

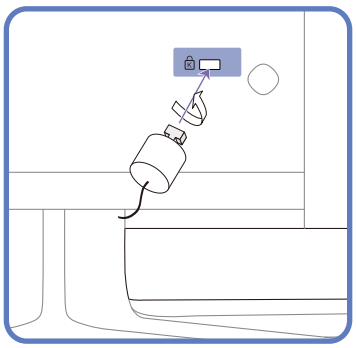


* スタンド:別売り

1.2.3 Kensington Lock 設置

- 盗難防止用ロックで、公共の場所でも本製品を安心してご使用いただくことができます。
- ロック装置の形状およびロック方法は、メーカーによって異なります。詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。

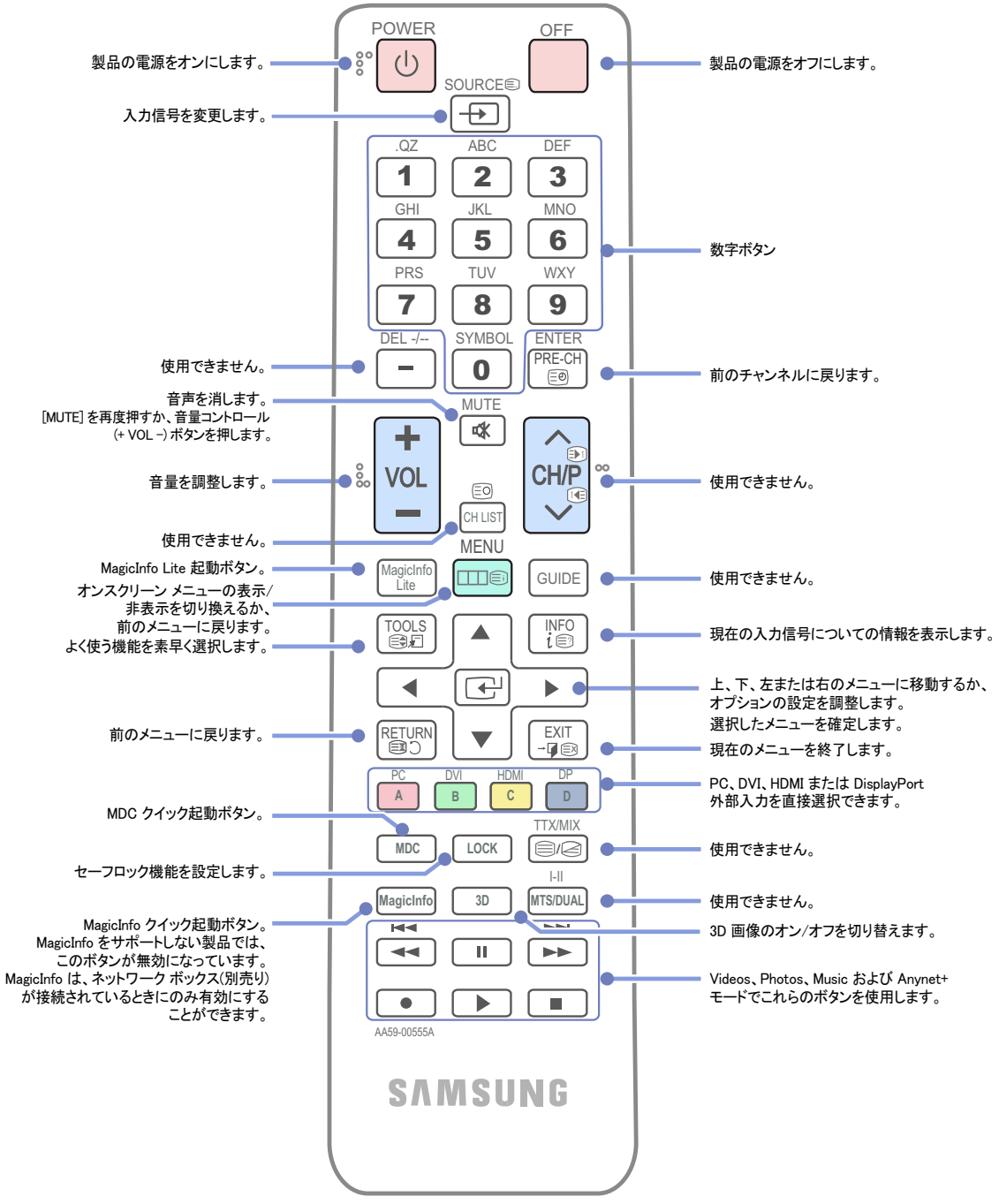
盗難防止用ロック装置のロック方法



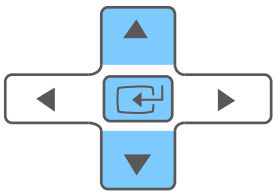
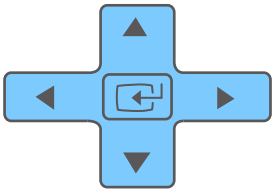
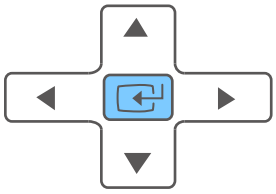
1. 盗難防止用ロック装置のケーブルを、机などの重量物に固定します。
2. ケーブルの一方の端を、他方の端のループに通します。
3. ロック装置を、本製品の背面にある盗難防止用ロック装置用のスロットに挿入します。
4. ロック装置をロックします。
   - 盗難防止用ロック装置は、別売です。
   - 詳細は、お使いの盗難防止用ロック装置に付属されたユーザーガイドを参照してください。
   - 盗難防止用ロック装置は、家電小売店やオンラインでご購入いただけます。

1.2.4 リモコン

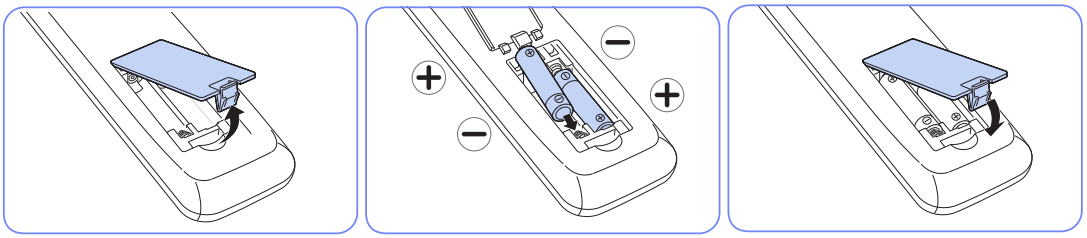
- 本製品のリモコンを使用している場所で他の表示デバイスを使用すると、誤って他の表示デバイスを操作してしまう場合があります。
- 製品が異なる場合、リモコンのボタン機能は異なることがあります。
- 本機は視覚障害に対応したリモート コントローラで、電源、チャンネル、および音量ボタンに点字表示があります。



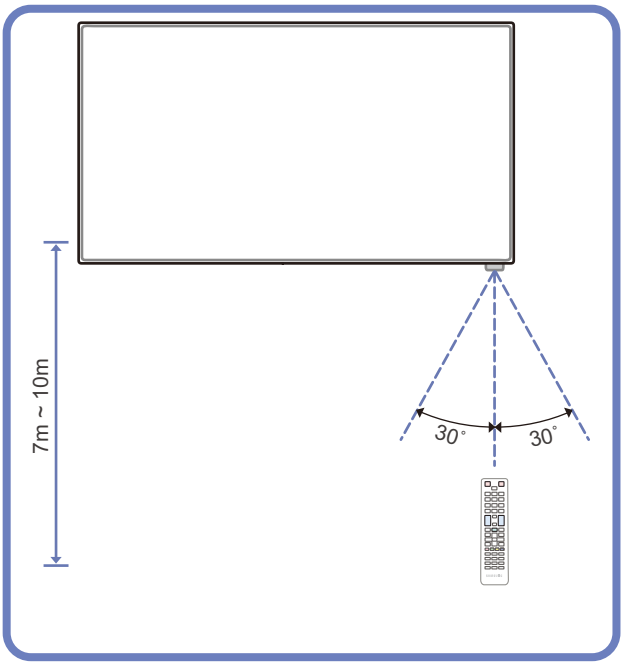
リモコンを使った OSD の調整

MENU	1. OSD メニューを開きます。
	2. 表示される OSD メニュー画面で、**映像**、**サウンド**、**メディア**、**ネットワーク**、**システム**または **サポート**のいずれかを選択します。
	3. 目的の内容に変更します。
	4. 設定を終了します。
EXIT	5. OSD メニューを閉じます。

リモコンの電池交換方法



リモコンの受信範囲



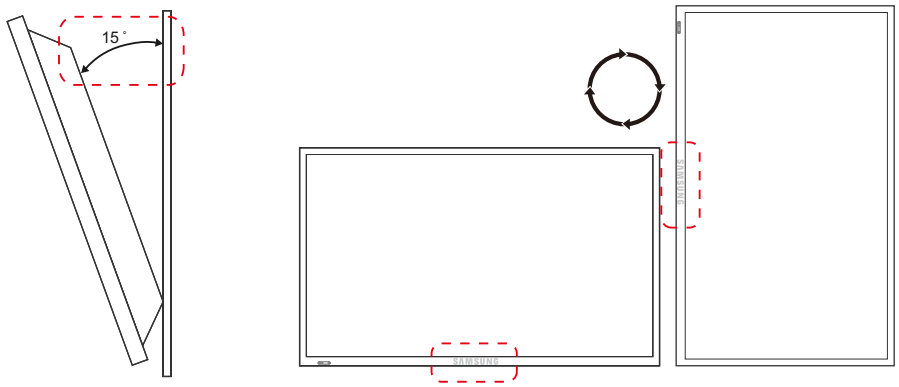
リモコンは、製品から 7〜10 m、左右に 30° の範囲内で使用します。

- 使用済み電池は、お子様の手の届かないところに保管してリサイクルしてください。
- 新しい電池と使用済みの電池を混在して使用しないでください。両方の電池を同時に交換してください。
- リモコンを長期間使用しない間は、電池を取り外しておいてください。

1.3 製品の設置前に（設置ガイド）

1.3.1 傾斜角度と回転

詳細は、お客様相談ダイヤルーにお問い合わせください。



A 製品は、垂直壁面から最大15˚ の角度まで傾斜させることができます。

B 製品を垂直姿勢（縦位置）で使用するには、製品を時計回りに回転させて LED を下向きにします。

1.3.2 換気

1. 垂直壁面への設置

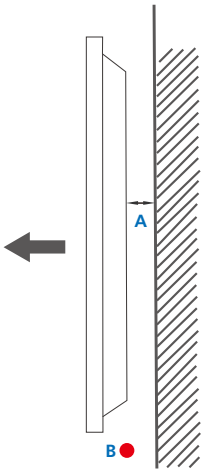


Figure 1.1 側面図

A 40 mm 以上

B 周囲温度: 35˚C 未満

- 製品を垂直壁面に設置する場合、換気および周囲温度を 35˚C 未満に維持するために、製品と壁面との間に 40mm 以上の隙間を空けてください。

2. 凹凸のある壁面への設置

詳細は、Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせください。

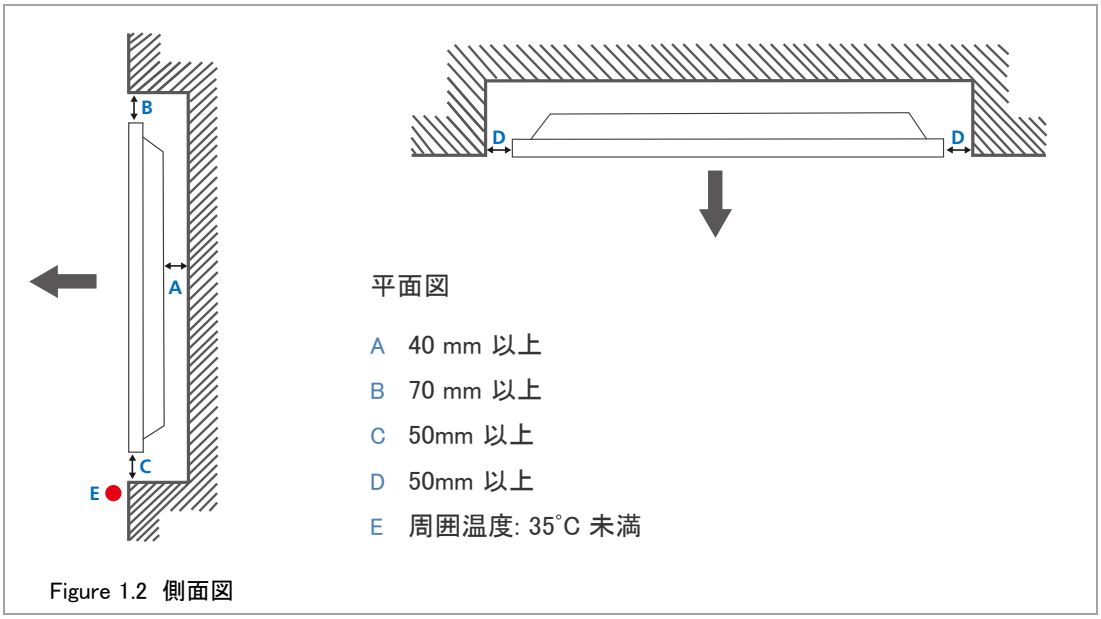


Figure 1.2 側面図

製品を凹凸のある壁面に設置する場合、換気のために製品と壁面との間に上記と同じ隙間を空け、周囲温度を 35˚C 未満に維持するようにしてください。

3. 凹凸のある床面への設置

詳細は、Samsung カスタマー サービス センターにお問い合わせください。

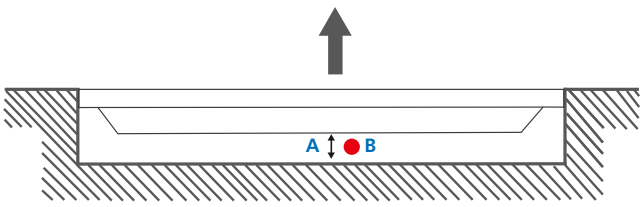
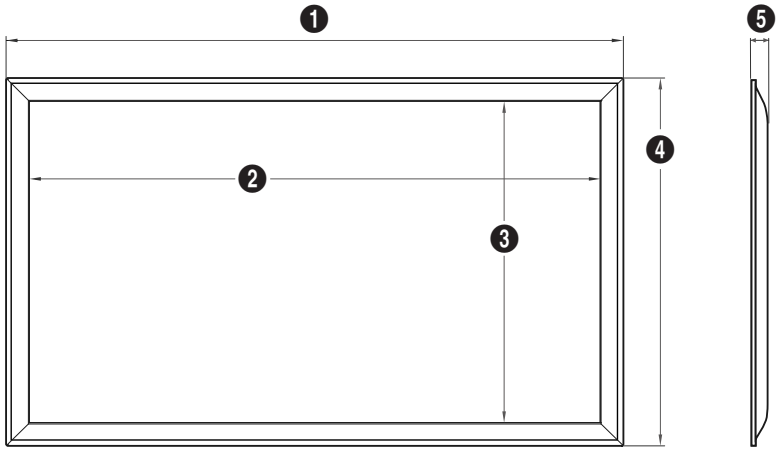


Figure 1.3 側面図

製品を凹凸のある床面に設置する場合、換気および周囲温度を 20˚C 未満に維持するために、製品と床面との間に 50mm 以上の隙間を空けてください。

1.3.3 寸法



（単位: mm）

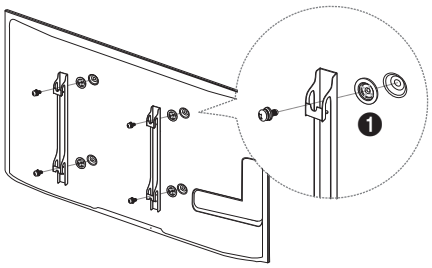
モデル名	セット寸法 (W x D x H) [mm]				
	スタンドなし				
	❶	❷	❸	❹	❺
ME40A / DE40A	920.0	885.6	498.2	534.5	29.9
ME46A / DE46A	1055.2	1018.0	572.6	610.8	29.9
ME55A / DE55A	1246.4	1209.6	680.4	718.2	29.9
UE46A	1030.4	1020.1	574.6	585.0	29.9
UE55A	1221.8	1211.6	682.4	692.7	29.9

図面は一部原寸に比例していないものを含みます。上記寸法は予告なく変更されることがあります。本製品の設置を行う前に寸法を確認してください。誤植などに関する責任は一切負いません。

1.4 ウォール マウントを設置する

1.4.1 ウォール マウントを設置する前の準備

他メーカーのウォール マウントを設置する場合は、ホルダー リングをご使用ください。



1.4.2 ウォール マウント キットの設置

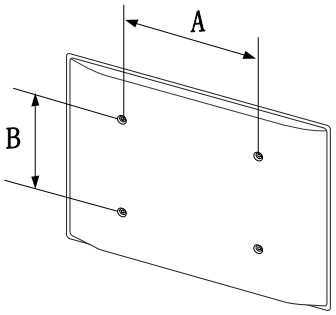
本製品は、ウォール マウント キット（別売り）を使用して壁に設置することができます。

ウォール マウントの設置に関する詳細は、ウォール マウントに付属のマニュアルを参照してください。ウォール マウント ブラケットを設置する際には、技術者に連絡してサポートを受けることをお勧めします。Samsung Electronics はお客様自身によるウォール マウント設置の結果発生した本製品の損傷および人身への被害について一切の責任を負いません。

1.4.3 ウォール マウント キットの仕様 (VESA)

床に対して垂直になるように、ウォール マウントをしっかりとした壁に取り付けます。漆喰壁のような表面にウォール マウントを取り付ける場合、事前に最寄りの販売店に詳ご相談ください。本製品を天井や傾斜のある壁に設置すると、落下して重傷を招く恐れがあります。

- ウォール マウント キットの標準寸法は下表のとおりです。
- Samsung 製ウォール マウント キットには、詳細な設置マニュアルと、組み立てに必要な各部品が同梱されています。
- VESA 規格のネジ仕様に適合するネジを使用してください。
- 標準以上の長さのネジ、および VESA 規格のネジ仕様に適合しないネジはご使用にならないでください。長すぎるネジは、本製品の内部を傷つける恐れがあります。
- VESA 規格のネジ仕様に適合していないウォール マウントの場合、ウォール マウントの仕様によってネジの長さが異なることがあります。
- ネジはきつく締めすぎないようにしてください。本製品の損傷や落下につながり、ケガを招く恐れがあります。Samsung はこれらの事故に関して一切責任を負いません。
- VESA 規格に適合しないウォール マウントや指定外のウォール マウントをご使用の場合、および製品の設置説明書に従わなかった場合に生じた製品の損傷や人身に対する被害について Samsung は責任を負いません。
- 15 度以上の傾斜で本製品を取り付けないようにしてください。
- 本製品を壁に取り付ける際には、必ず二人以上で行ってください。



製品寸法 [インチ]		VESA 規格のネジ穴仕様 (A * B) [ミリ]	標準ネジ	個数
32~40	ME40A DE40A	200 X 200	M8	4
46~55	ME46A ME55A DE46A DE55A UE46A UE55A	400 X 400		

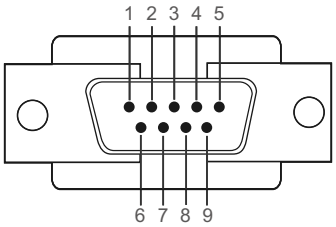
本製品の電源が入っている状態でウォール マウント キットを設置しないでください。感電による被害につながる恐れがあります。

1.5 リモコン (RS232C)

1.5.1 ケーブル接続

インターフェイス	RS232C (9 ピン)
ピン	TxD (No. 2), RxD (No. 3), GND (No. 5)
ビット レート	9600 bps
データ ビット:	8 ビット
パリティ	なし
ストップ ビット	1 ビット
フロー制御	なし
最大長	15m (シールド タイプのみ)

- ピン配置

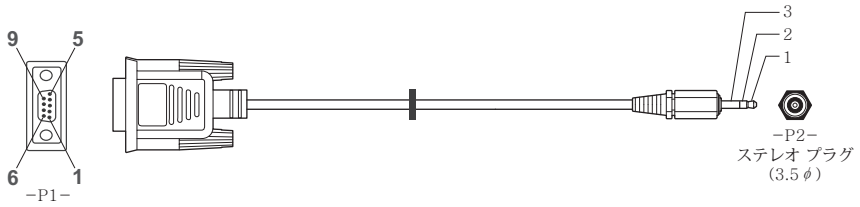


ピン	信号
1	データ キャリア検出
2	受信データ
3	送信データ
4	DTR (Data Terminal Ready)
5	信号グラウンド
6	DSR (Data Set Ready)
7	送信リクエスト
8	送信準備完了
9	リング インジケータ

準備

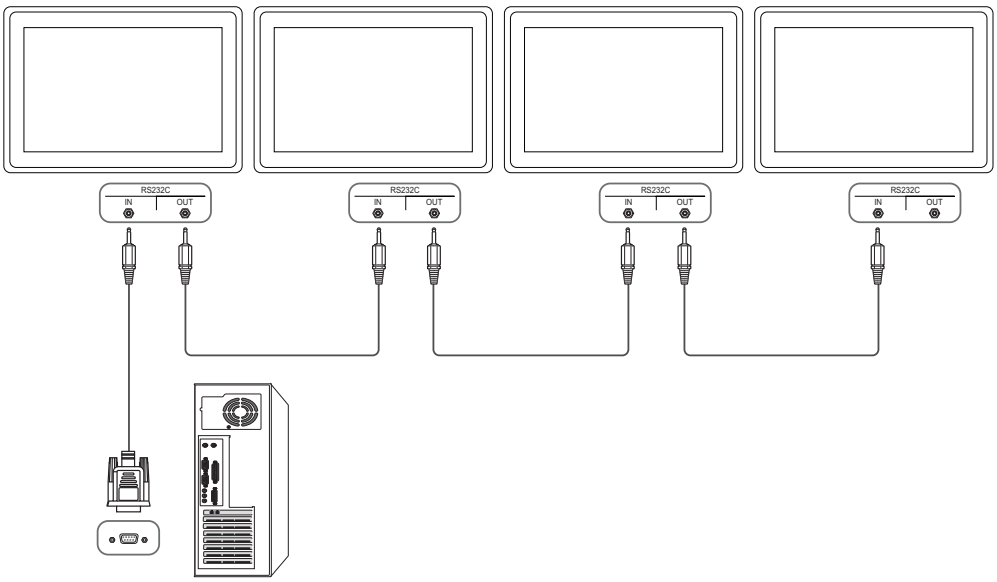
- RS232C ケーブル

  コネクタ:ステレオ ケーブルを接続する 9 ピン D-Sub



-P1-		-P1-		-P2-		-P2-
メス	Rx	2	--------->	1	Tx	ステレオ プラグ (3.5ø)
	Tx	3	<---------	2	Rx	
	Gnd	5	----------	3	Gnd	

- 接続



1.5.2 制御コード

制御状態の表示 (制御コマンド取得)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		0	

制御 (制御コマンドのセット)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	コマンド タイプ		1	値	

コマンド

番号	コマンド タイプ	コマンド	値の範囲
1	電源制御	0x11	0~1
2	音量制御	0x12	0~100
3	入力信号制御	0x14	-
4	画面モード制御	0x18	-
5	画面サイズ制御	0x19	0~255
6	PIP オン/オフ制御	0x3C	0~1
7	自動調整制御	0x3D	0
8	ビデオ ウォール モード制御	0x5C	0~1
9	安全ロック	0x5D	0~1

- 発行された ID は 16 進数で表示されます。ただし、ID 1 は 0xFF と表示されます。
- 実行されるすべての通信は、16 進数です。チェックサムの計算は、ヘッダを除くすべての値を合計して行います。以下に示すようにチェックサムの合計が 2 桁を超える場合は (11+FF+01+01=112)、最初の桁を消します。

例: 電源 On & ID=0

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	チェックサム
0xAA	0x11		1	"Power"	

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ 1	12
0xAA	0x11		1	1	

- シリアルケーブルで接続されたすべてのデバイスを ID に関わらず同時に制御するには、ID を "0xFE" に設定してコマンドを送信します。コマンドはデバイスごとに実行されますが、ACK は返されません。

電源制御

- 機能

  製品の電源オン / オフは、PC を使用して行うことができます。

- 電源状態の表示 (Get Power ON / OFF Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x11		0	

- 電源 オン / オフの設定 (Set Power ON / OFF)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x11		1	"Power"	

"Power": 製品に設定する電源コード

1 : 電源オン

0 : 電源オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x11	"Power"	

"Power": 製品に設定する電源コード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x11	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード

音量制御

- 機能

  製品の音量は、PC を使用して調整することができます。

- 音量状態の表示 (Get Volume Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x12		0	

- 音量の設定 (Set Volume)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x12		1	″Volume″	

″Volume″: 製品に設定する音量値コード (0-100)

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x12	″Volume″	

″Volume″: 製品に設定する音量値コード (0-100)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x12	″ERR″	

″ERR″ : 発生したエラーを示すコード

入力信号制御

- 機能

  製品の入力ソースは、PC を使用して変更することができます。

- 入力信号状態の表示 (Get Input Source Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x14		0	

- 入力信号の設定 (Set Input Source)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x14		1	"Input Source"	

"Input Source":製品に設定する入力ソース コード

0x14	PC
0x1E	BNC
0x18	DVI
0x0C	入力信号
0x04	S-Video
0x08	コンポーネント
0x20	MagicInfo
0x1F	DVI_video
0x30	RF(TV)
0x40	DTV
0x21	HDMI1
0x22	HDMI1_PC
0x23	HDMI2
0x24	HDMI2_PC
0x25	ディスプレイ ポート

- DVI_video、HDMI1_PC および HDMI2_PC は、Set コマンドと共に使用できません。これらの入力信号は、"Get" コマンドにのみ応答します。
- 本モデルは、BNC、S-Video、HDMI2、および HDMI2_PC ポートには対応していません。
- MagicInfo は、MagicInfo 機能を備えたモデルでのみ使用することができます。

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x14	"Input Source"	

"Input Source":製品に設定する入力ソース コード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x14	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード

画面

- 機能

  製品の画面モードは、PC を使用して変更することができます。

  画面モードは、**画像分割**機能が有効になっている時には制御できません。

  この制御は、TV を使用するモデルにのみ使用することができます。

- 画面ステータスの表示 (Get Screen Mode Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x18		0	

- 映像サイズの設定 (Set Picture Size)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x18		1	″Screen Mode″	

″Screen Mode″:製品のステータスを設定するコード

0x01	16 : 9
0x04	ズーム
0x31	ワイドズーム
0x0B	4 : 3

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x18	″画面モード″	

″Screen Mode″:製品のステータスを設定するコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x18	″ERR″	

″ERR″ : 発生したエラーを示すコード

画面サイズ制御

- 機能

  製品の画面モードは、PC を使用して変更することができます。

- 画面サイズの表示 (Get Screen Size Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x19		0	

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x19	"Screen Size"	

"Screen Size":製品の画面サイズ (範囲: - 255、単位:インチ)

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x19	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード

PIP オン/オフ制御

- 機能

  製品の PIP モードは、PC を使用してオン / オフすることができます。

  - PIP 機能を搭載したモデルでのみ利用できます。
  - このモードは、**画像分割** が **オン** に設定されている場合は使用できません。
  - この機能は MagicInfo では使用できません。

- PIP オン / オフ状態の表示 (Get the PIP ON / OFF Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x3C		0	

- PIP オン / オフの設定 (Set the PIP ON / OFF)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x3C		1	″PIP″	

″PIP″: 製品の PIP モードをオン / オフするコード

1 : PIP オン

0 : PIP オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x3C	″PIP″	

″PIP″: 製品の PIP モードをオン / オフするコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x3C	″ERR″	

″ERR″ : 発生したエラーを示すコード

自動調整制御（PC、BNCのみ）

- 機能

  PCを を使用して、PC システム画面を自動で調整します。

- 自動調整状態の表示 (Get Auto Adjustment Status)
- 自動調整の設定 (Set Auto Adjustment)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x3D		1	"Auto Adjustment"	

"Auto Adjustment" : 0x00 (常時)

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x3D	"Auto Adjustment"	

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x3D	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード

画面分割モード制御

- 機能

  画像分割モードは、PC を使用して 製品で有効にすることができます。

  この制御は、**画像分割**が有効になっている 製品でのみ使用できます。

  この機能は MagicInfo では使用できません。

- 画面分割モードの表示 (Get Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5C		0	

- 画面分割の設定 (Set Video Wall Mode)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5C		1	″Video Wall Mode″	

″Video Wall Mode″: 画面分割モードを 製品で有効にするために使用するコード

1 : **フルモード**

0 : **ナチュラルモード**

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘A’	0x5C	″Video Wall Mode″	

″Video Wall Mode″: 画面分割モードを 製品で有効にするために使用するコード

- Nak

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	‘N’	0x5C	″ERR″	

″ERR″ : 発生したエラーを示すコード

安全ロック

- 機能

  PC を使用して、モニターの安全ロック機能のオン/オフを切り替えることができます。

  この制御は、電源のオン、オフに関わらずいつでも使用することができます。

- 安全ロック状態の表示 (Get Safety Lock Status)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	チェックサム
0xAA	0x5D		0	

- 安全ロックの有効化または無効化 (Set Safety Lock Enable / Disable)

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	データ	チェックサム
0xAA	0x5D		1	"Safety Lock"	

"Safety Lock":製品に設定する安全ロックコード

1 : オン

0 : オフ

- Ack

ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'A'	0x5D	"Safety Lock"	

"Safety Lock":製品に設定する安全ロックコード

- Nak

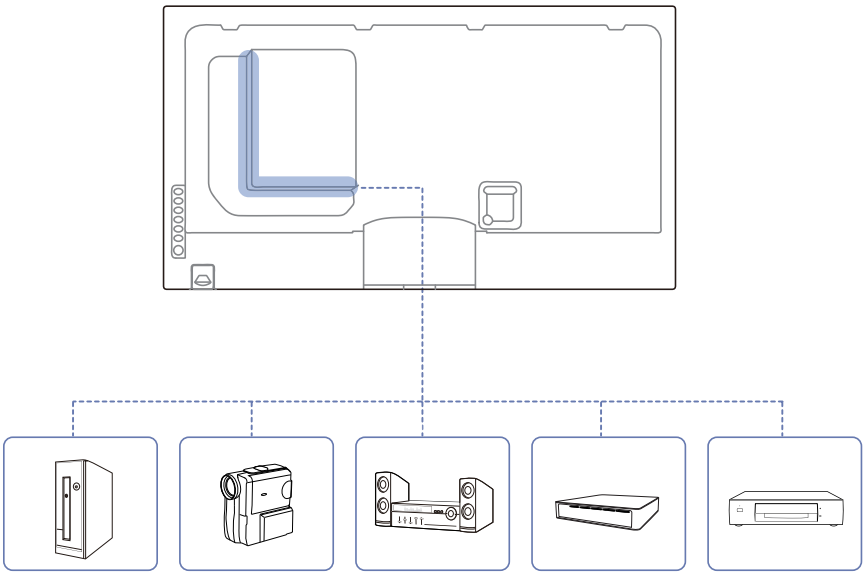
ヘッダ	コマンド	ID	データ長	Ack/Nak	r-CMD	値1	チェックサム
0xAA	0xFF		3	'N'	0x5D	"ERR"	

"ERR" : 発生したエラーを示すコード

2 入力信号デバイスの接続と使用

2.1 接続の前に

製品に他のデバイスを接続する前に、以下をチェックします。この製品に接続可能なデバイスには、PC、カムコーダー、スピーカー、セット トップ ボックスおよび DVD/Blu-Ray ディスク プレイヤーが含まれます。



2.1.1 接続前のチェックポイント

- 入力信号デバイスを接続する前に、各デバイスに付属するユーザーマニュアルをお読みください。入力信号デバイスのポートの位置および数は、デバイスによって異なる場合があります。
- すべての接続作業が完了するまで、電源ケーブルを接続しないでください。接続作業中に電源ケーブルを接続すると、製品を損傷する場合があります。
- サウンドポートは左に白、右に赤を正しく接続します。
- 接続する製品の背面にあるポートのタイプを確認します。

2 入力信号デバイスの接続と使用

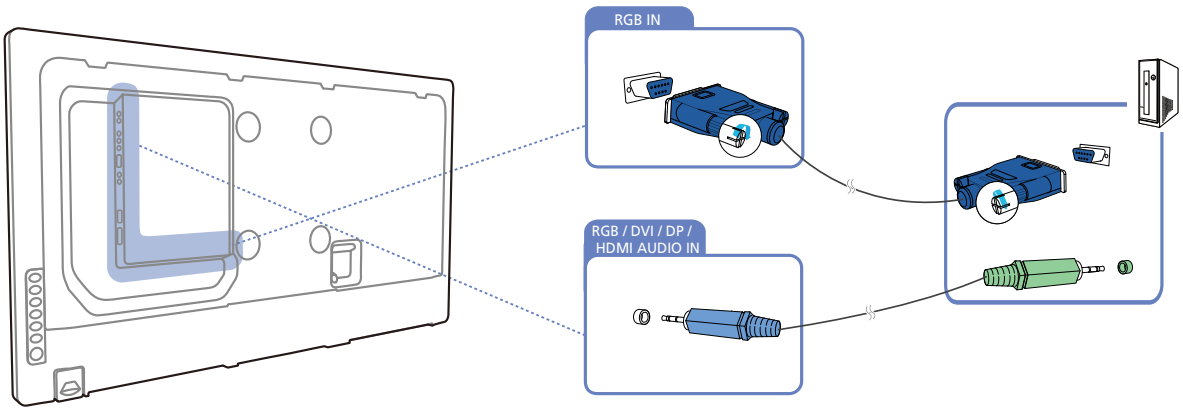
2.2 PC の接続および使用

2.2.1 PC への接続

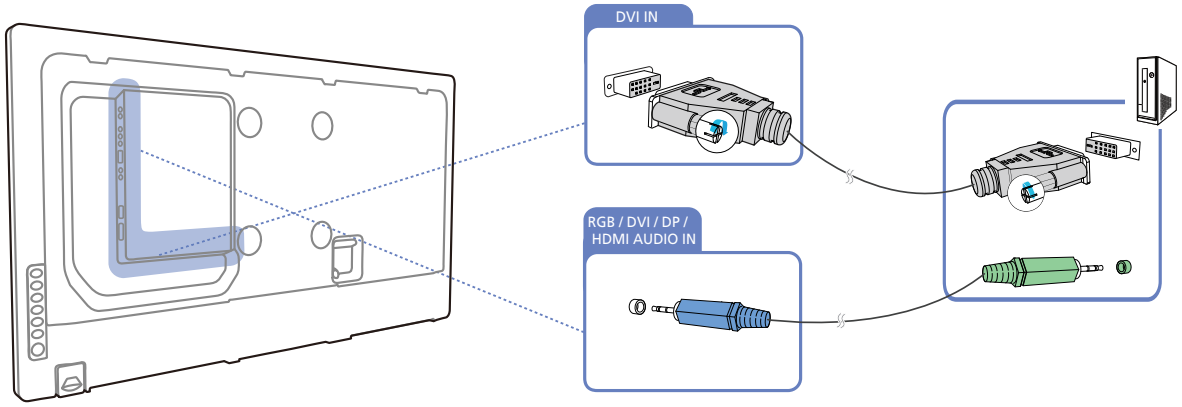
- 本製品には、PC を複数の方法で接続することができます。
  お使いの PC に適した接続方法を選んでください。
- PC を接続した後、電源ケーブルを接続してください。

接続用部品は、製品によって異なる場合があります。

D-SUB ケーブルを使用した接続 (アナログタイプ)



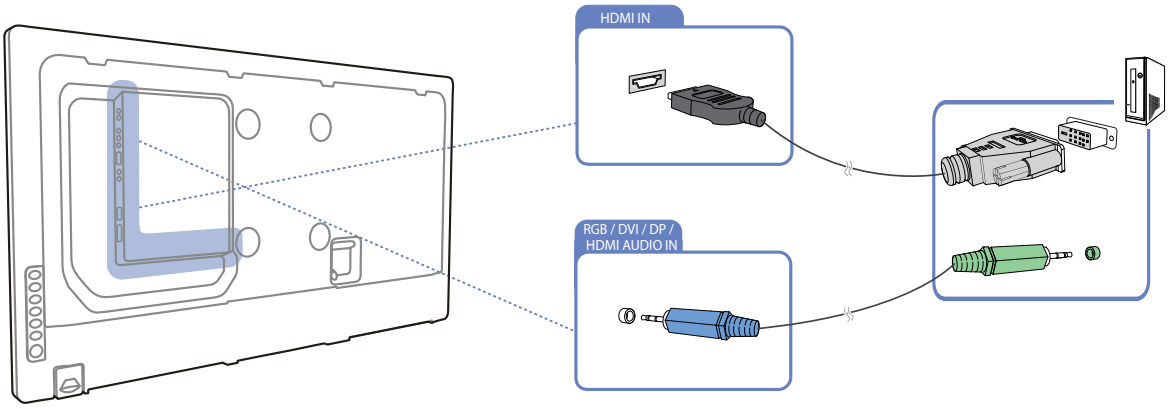
DVI ケーブルを使用した接続 (デジタルタイプ)



以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。

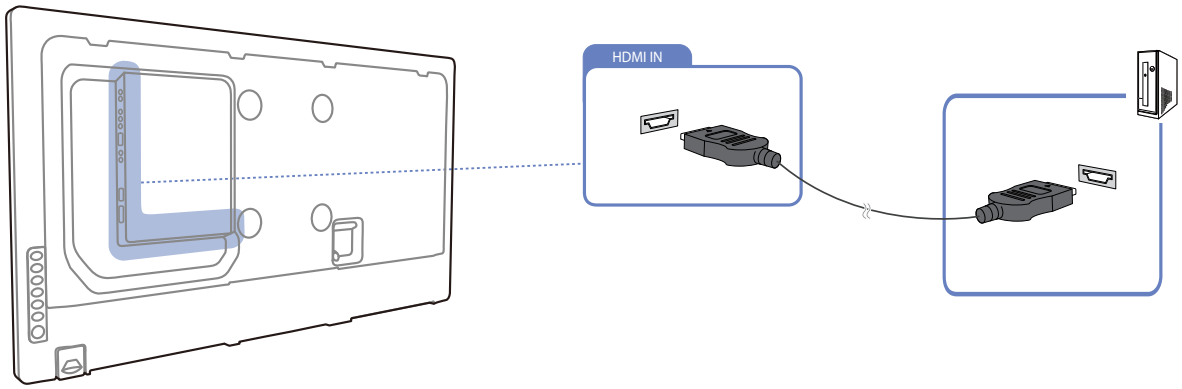
2 入力信号デバイスの接続と使用

HDMI-DVI ケーブルを使用した接続



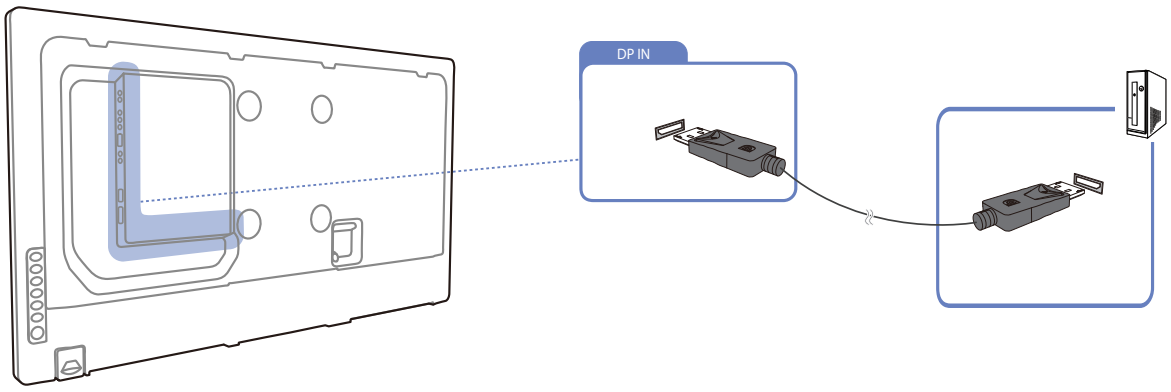
HDMI-DVI を使用して PC を製品に接続する場合、**名前の編集** を **DVI PC** に設定して、PC に保存されたビデオおよびオーディオ コンテンツにアクセスします。

HDMI ケーブルを使用した接続



2 入力信号デバイスの接続と使用

DP ケーブルを使用した接続

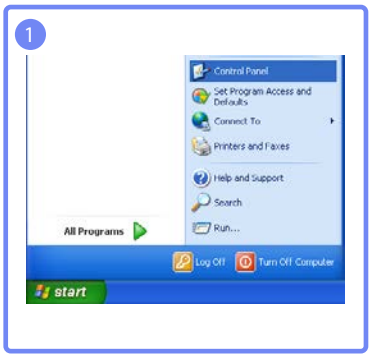


2.2.2 解像度の変更

PC のコントロール パネルで、解像度とリフレッシュ レートを調整して、最適な画質にします。
最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。

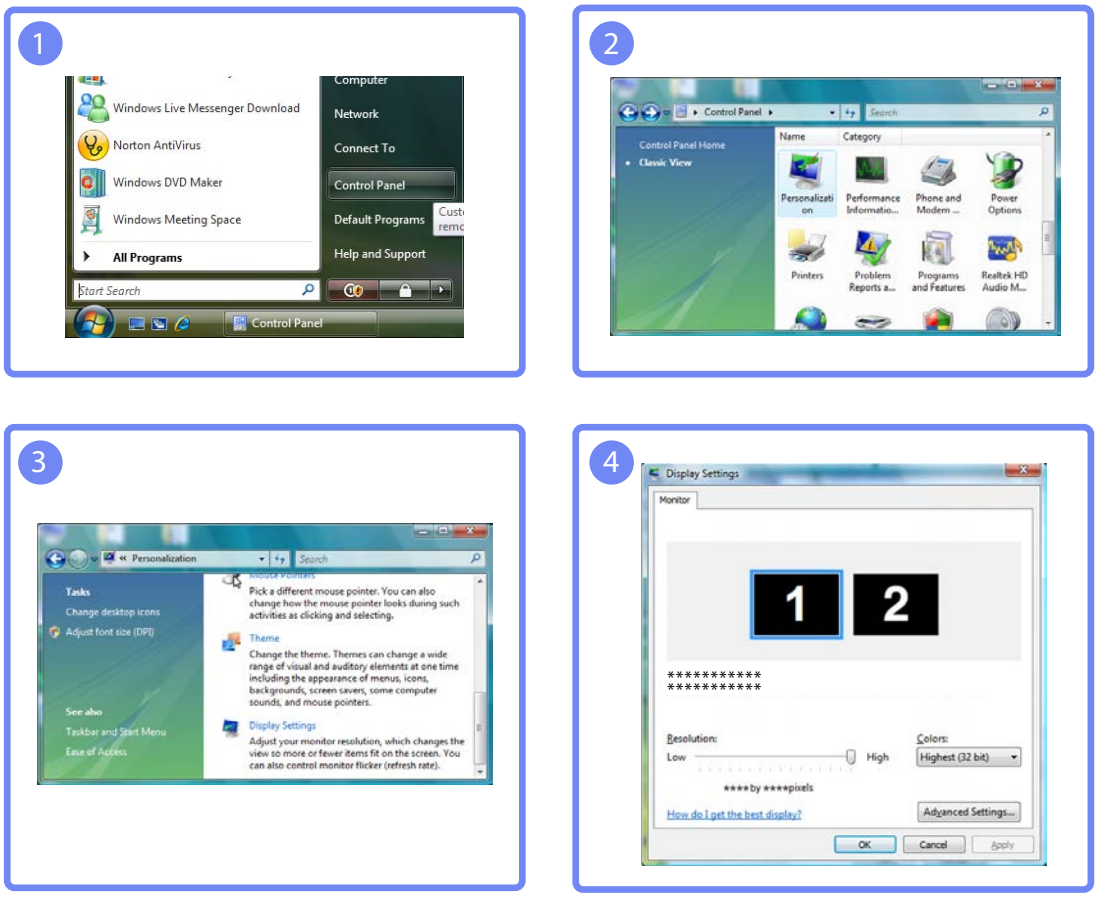
Windows XP での解像度の変更

コントロール パネル → **画面** → **設定**に移動して、解像度を変更します。



Windows Vista での解像度の変更

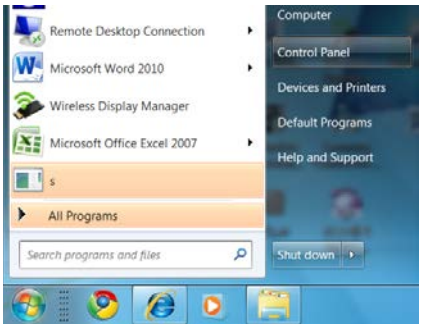
コントロール パネル → **個人設定** → **画面の設定**に移動して、解像度を変更します。



Windows 7 での解像度の変更

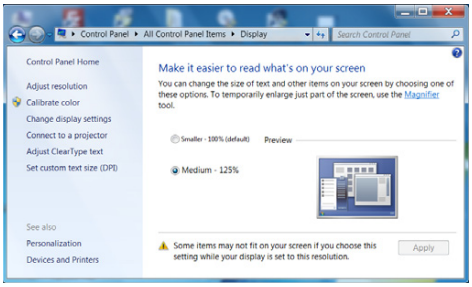
コントロール パネル → **画面** → **画面の解像度**に移動して、解像度を変更します。

1

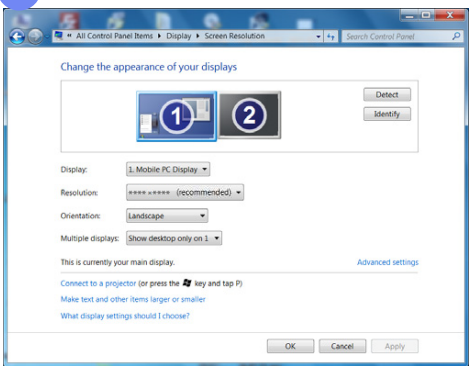


2

3



4

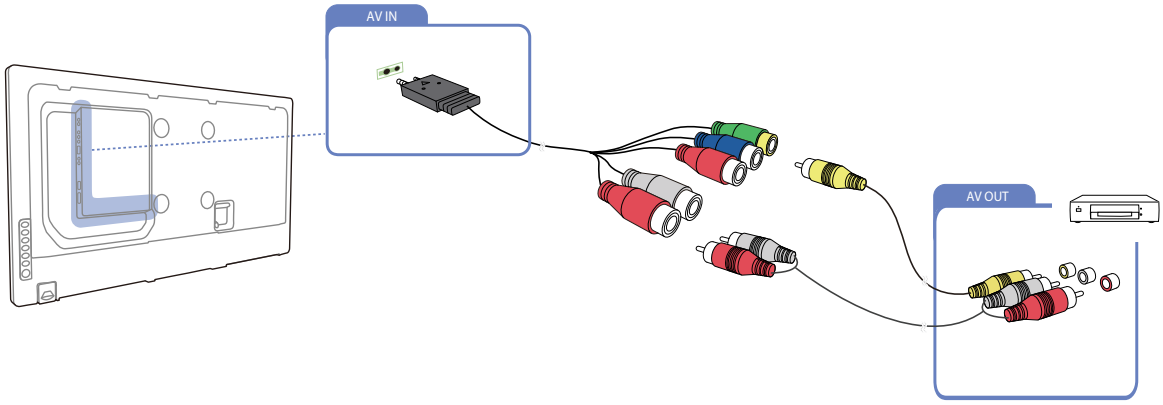


2.3 ビデオ デバイスへの接続

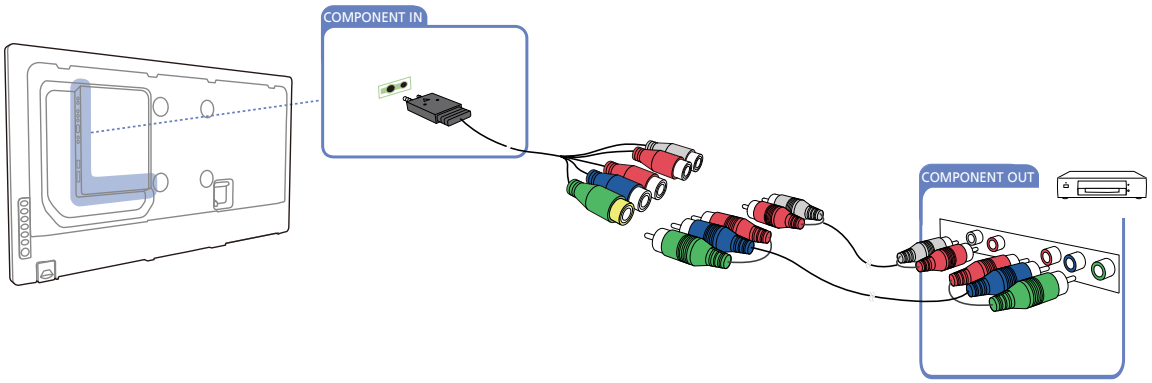
- ケーブルを使用して、ビデオ デバイスを本製品に接続することができます。

  - 接続用部品は、製品によって異なる場合があります。
  - リモコンの SOURCE ボタンを押して、ソースを変更します。

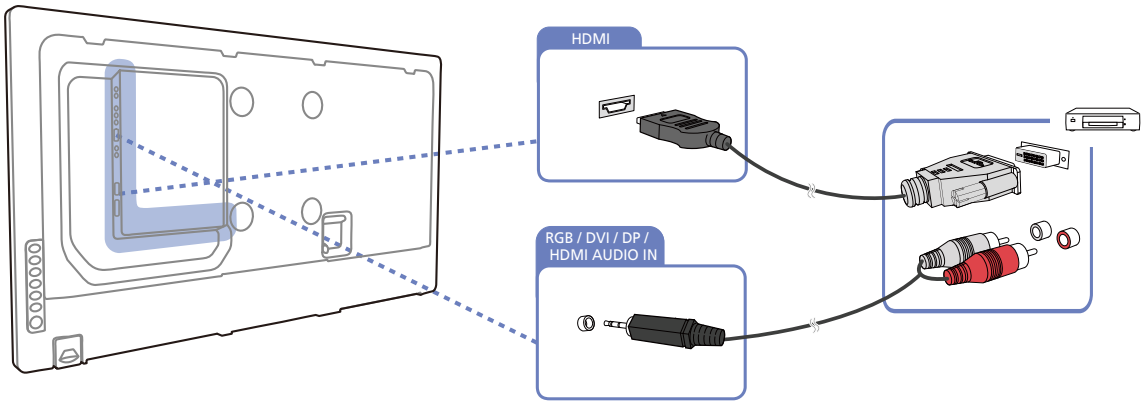
2.3.1 AV ケーブルを使用した接続



2.3.2 コンポーネント ケーブルを使用した接続

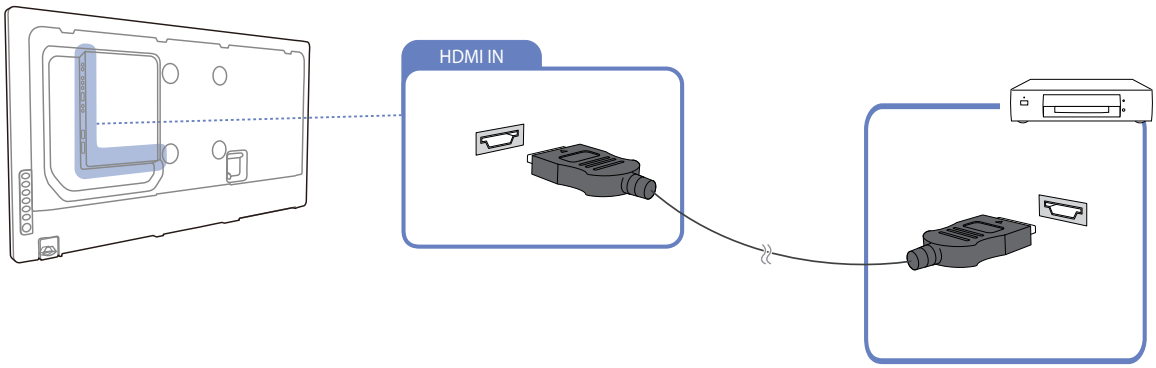


2.3.3 HDMI-DVI ケーブルを使用した接続



- 製品が HDMI-DVI ケーブルでビデオ デバイスに接続されている場合、オーディオは有効になりません。これを解決するには、製品とビデオ デバイスのオーディオ ポートにオーディオ ケーブルを追加します。
- サポートされる解像度には、1080p (50/60Hz)、720p (50/60Hz)、480p および 576p が含まれます。

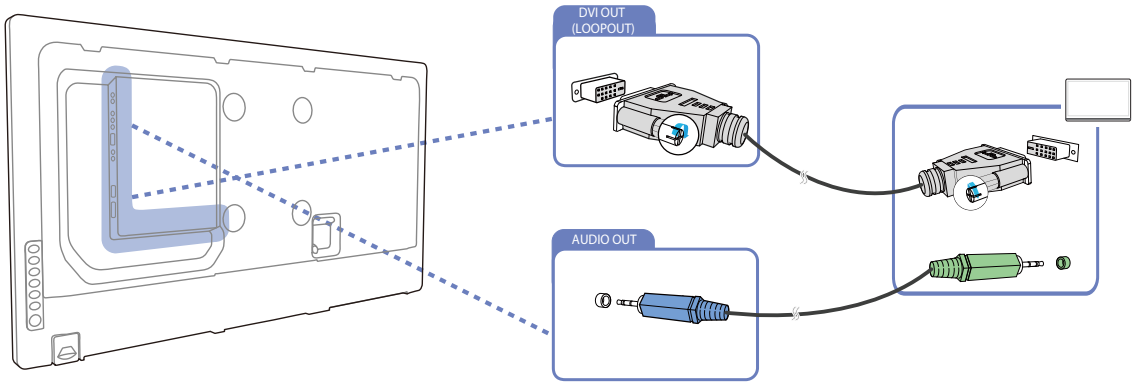
2.3.4 HDMI ケーブルを使用した接続



HDMI ケーブルまたは HDMI-DVI ケーブルを使用する (1080pまで)

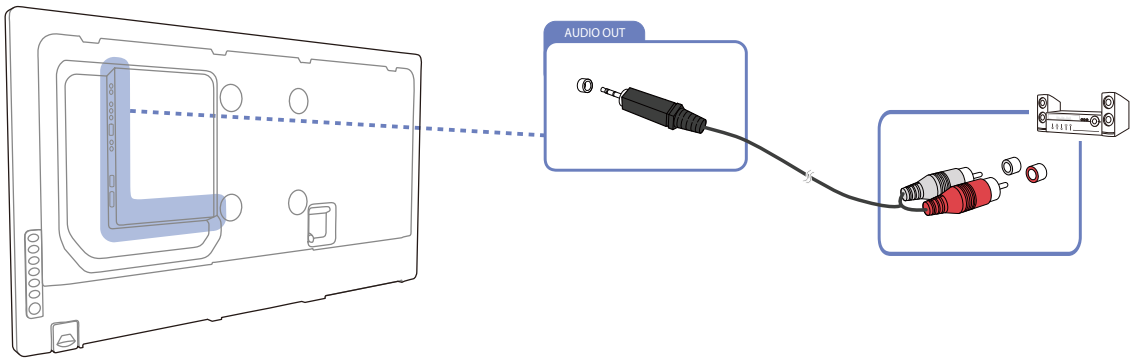
- 画質や音質を良くするためには、HDMI ケーブルを使用してデジタル デバイスに接続してください。
- HDMI ケーブルはデジタル ビデオ信号やデジタル オーディオ信号をサポートします。また、オーディオ ケーブルを必要としません。
  - HDMI 出力をサポートしないデジタル デバイスに製品を接続するには、HDMI / DVI ケーブルやオーディオ ケーブルを使用してください。
- 古いバージョンの HDMI モードを使用する外部機器を製品に接続している場合は、映像が正常に表示されなかったり (または全く表示されない)、音声が機能しないことがあります。このような問題が起きた場合は、外部機器のメーカーに HDMI バージョンについて問い合わせ、バージョンが古い場合は最新のものを要求してください。
- HDMI ケーブルは 14 mm 以下のものを使用してください。
- 認定 HDMI ケーブルを購入してください。認定外の HDMI ケーブルを使用すると、映像が表示されなかったり接続エラーが起こることがあります。
- 標準ハイスピード HDMI ケーブル、またはイーサネット対応 HDMI ケーブルをお勧めします。本製品では HDMI を通したイーサネット機能はサポートしていません。

2.3.5 外部モニターを接続する



- 以下の図はあくまでも参考であり、実際の状況とは異なる場合があります。
- Loopout 機能を使用して基本ディスプレイの画面を複製することができます。基本ディスプレイの [DVI OUT] を別のディスプレイの [DVI IN] または [HDMI] に接続してください。
- 高解像度に対応しています。対応入力ソースは、DVI IN、DP IN および HDMI IN です。ただし、フル FHD モードで接続できるのは最大 10 モニターであり、接続可能モニター数はケーブルや信号装置の種類により異なります。複数のモニターを直列に連結した構成をご利用の場合、接続可能なモニター数が限定されます。
- 本製品の [DVI OUT] ポートは、HDCP 入力をサポートしません。
- ステレオケーブルがプライマリモニターの [AUDIO OUT] ポートに接続されている場合、プライマリモニターからの音声はミュートになります。

2.3.6 オーディオ システムに接続する



2.4 入力ソースを変更する

2.4.1 入力ソース

MENU → メディア → 入力ソース → ENTER

入力ソース で入力信号を選択して、入力信号デバイス名を変更することができます。

ソース

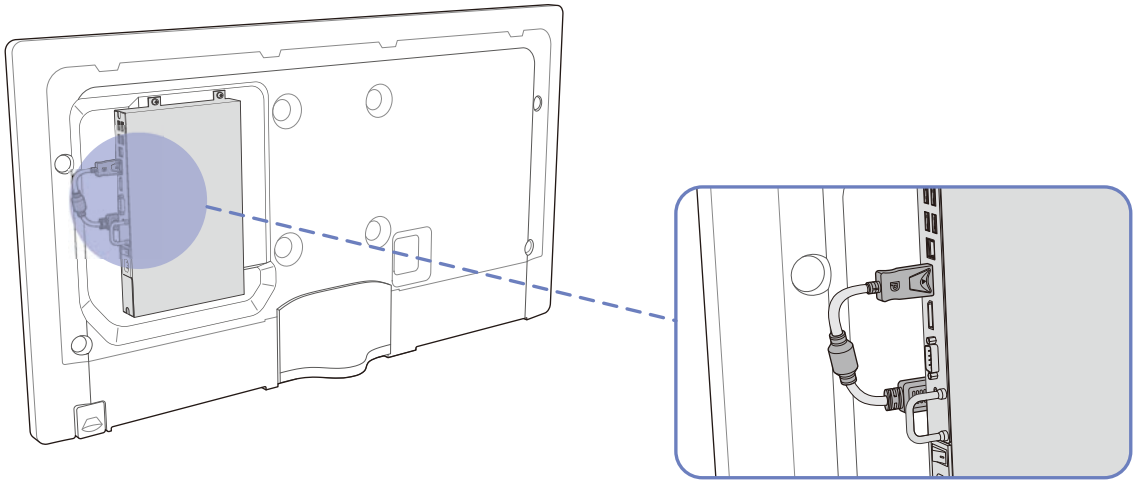
本製品に接続された入力信号デバイスの画面を表示させることができます。外部入力から入力信号を選択して、選択した入力信号デバイスの画面を表示します。

入力ソース メニューの詳細については、126ページ を参照してください。

リモコンの SOURCE ボタンを使用して入力ソースを変更することもできます。

変換したい入力信号を誤って選択すると正しく表示されない場合があります。

2.5 ネットワーク ボックスの接続



ネットワーク ボックスの接続方法についての詳細は、ご購入のネットワーク ボックスに付属のユーザー マニュアルを参照してください。

2.5.1 MagicInfo

MagicInfo を使用するには、ネットワーク ボックス (別売) を製品に接続する必要があります。

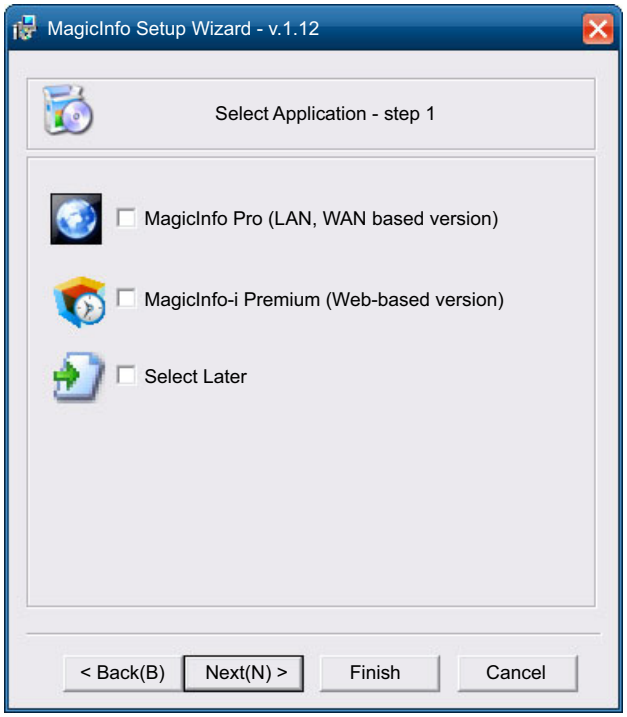
- MagicInfo 設定を変更するには、デスクトップの "MagicinfoSetupWizard" を実行します。
- MagicInfo の使用方法についての詳細は、ネットワーク ボックスに付属の DVD を参照してください。
- このセクションの情報は、品質向上のために予告なく変更される場合があります。
- ネットワーク ボックスを提供した以外のオペレーティング システムのインストールした、オペレーティング システムを以前のバージョンに戻した、あるいは所与のオペレーティング システムと互換性のないソフトウェアをアインストールした後に問題が発生した場合、技術サポートのサービスを受けることができななくなります。

MagicInfo モードへの移行

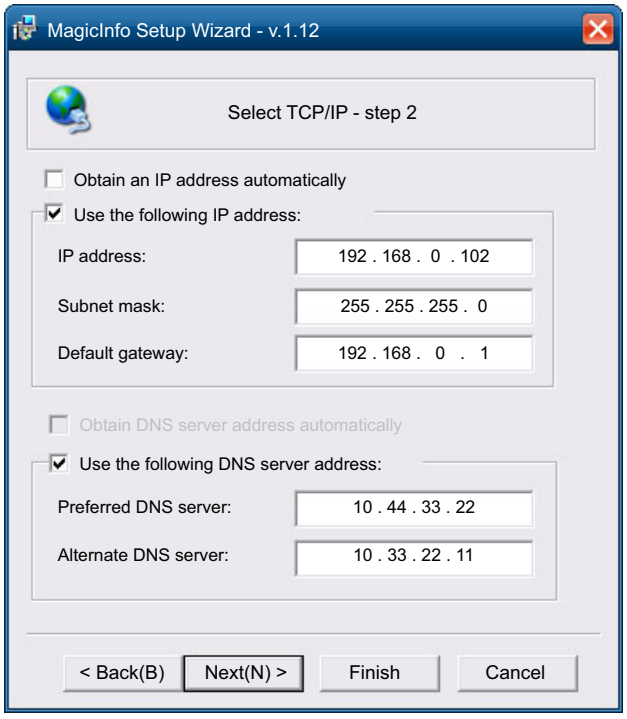
1. ネットワーク ボックス (別売) を設置して製品に接続した後、製品をオンにします。
2. リモコンの SOURCE ボタンを押して MagicInfo を選択します。

ネットワーク ボックスを製品の HDMI ポートに接続すると、入力ソース が HDMI から MagicInfo に変わります。

3 MagicInfo を起動したときに実行するデフォルトのアプリケーションを選択します。

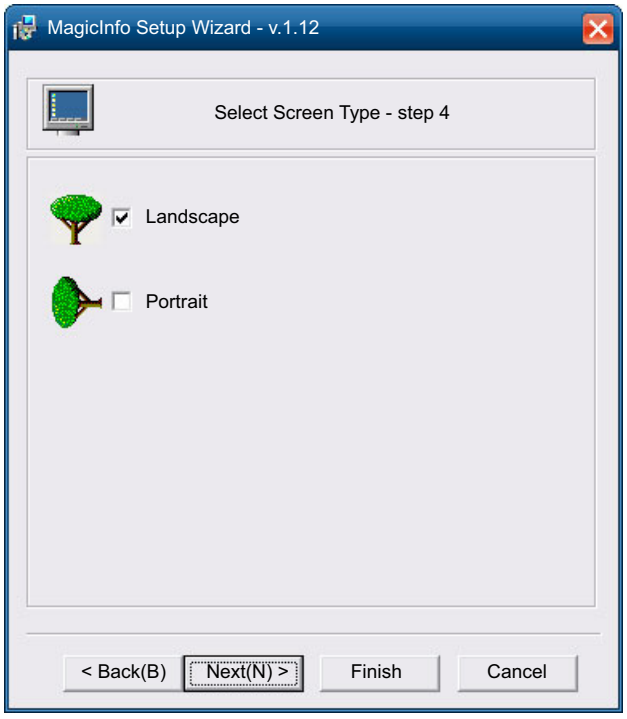


4 IP 情報を入力します。

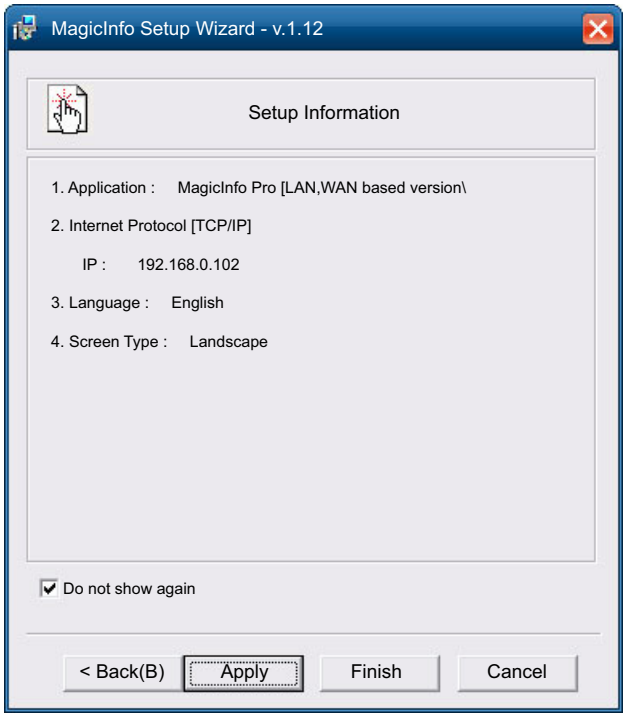


5 言語を選択します。(デフォルトの言語は英語です。)

6 ディスプレイ モードを選択します。



7 先ほど行った設定をダブルクリックします。



- 実行アイコンが表示されない場合は、デスクトップの MagicInfo アイコンをダブルクリックします。
- MagicInfo の使用方法についての詳細は、ネットワーク ボックスに付属の MagicInfo Lite Edition ソフトウェア CD 参照してください。

3 MDC の使用

MDC (Multiple Display Control) は、PC を使用して簡単に複数のディスプレイ装置を同時に制御できるようにするアプリケーションです。

3.1 マルチコントロール の構成設定

MENU → システム → マルチコントロール → ENTER

製品に個別の ID を割り当てます。

3.1.1 マルチコントロール の構成設定

- **MDC 接続**

  MDC 入力を受信するポートを選択します。

  - **RS232C MDC**

    RS232C MDC ケーブルを通じて MDC と通信します。

  - **RJ45 MDC**

    RJ45 MDC ケーブルを通じて MDC と通信します。

- **ID 設定**

  セットに ID を割り当てます。(範囲: 0~99)

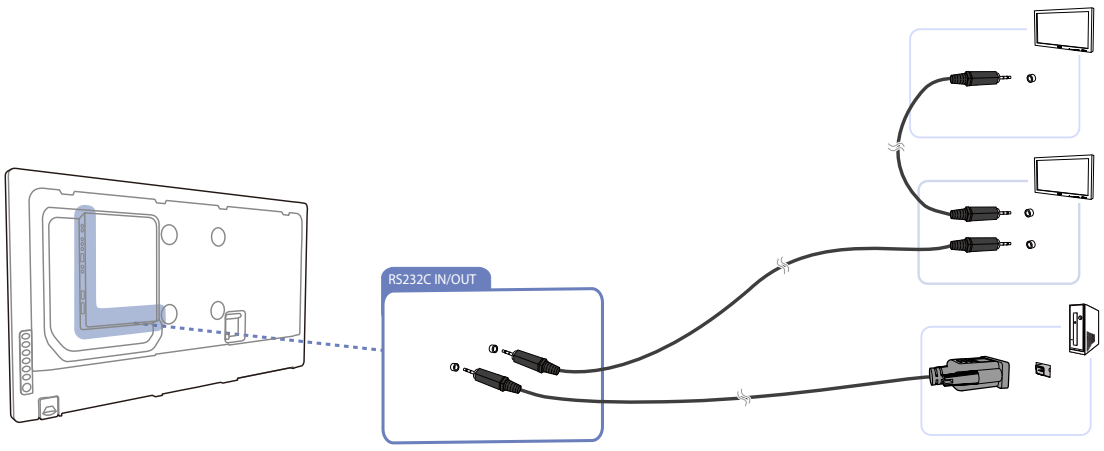
  ▲/▼ を押して数字を選択し、[↵] を押します。

- **ID 入力**

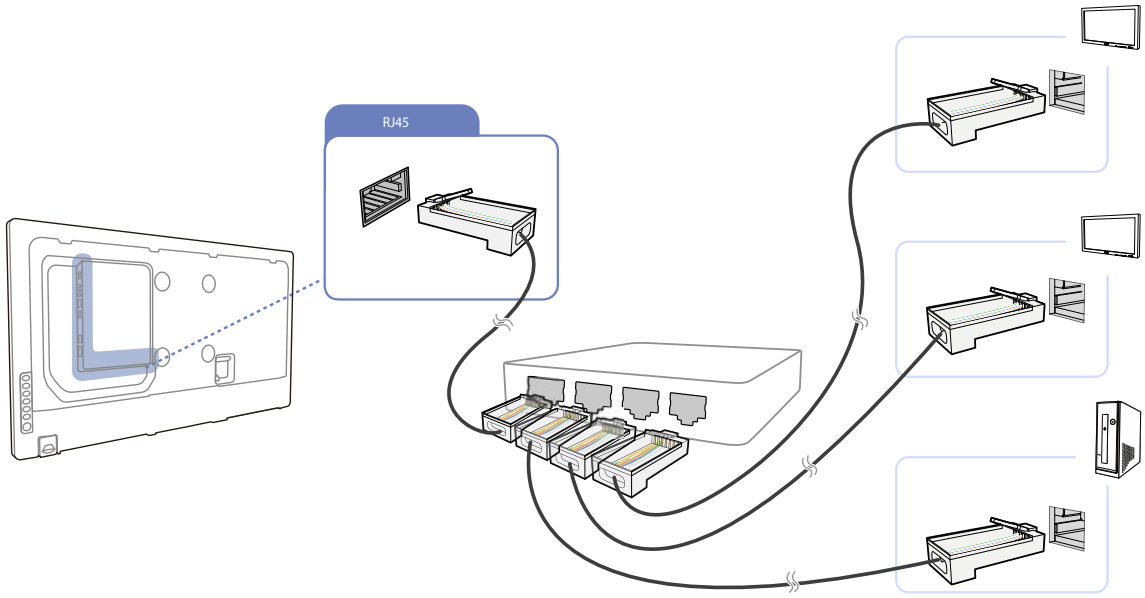
  入力信号を受ける入力ケーブルに接続された製品の ID 番号を入力します。

  リモコンの数字ボタンを使用して番号を入力します。

3.2 RS232C-ステレオ ケーブルを通じて MDC と通信する

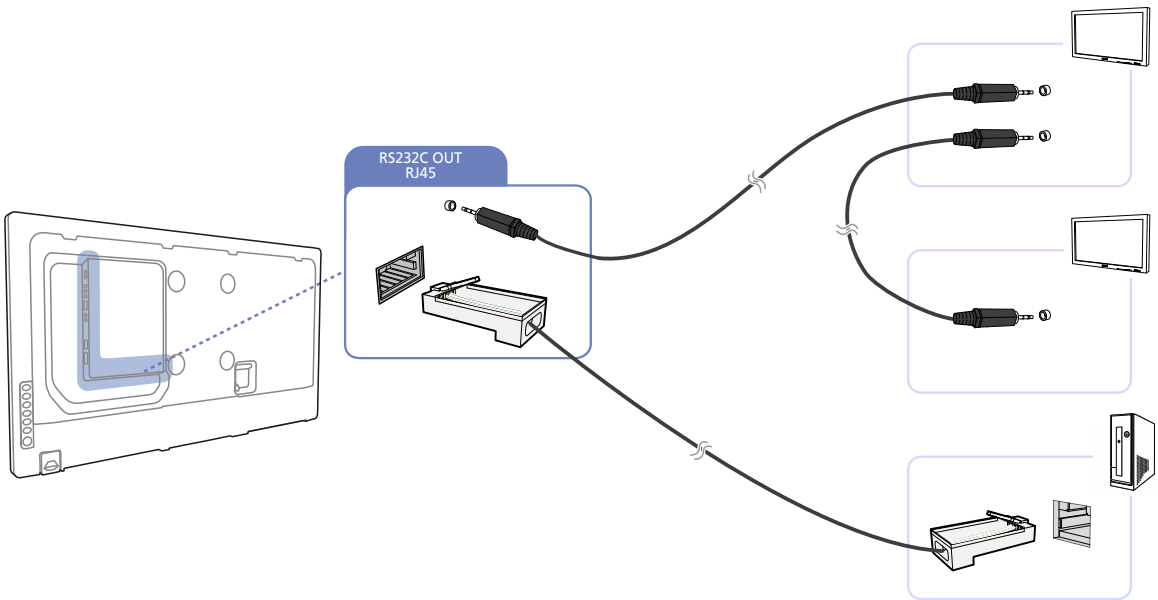


3.3 LAN ケーブルを使用して通信する



本製品の [RJ45] ポートと HUB の LAN ポートを使用して複数の製品を接続することができます。

3.4 LAN ケーブルを通じて ステレオ ケーブルと通信する



本製品の [RS232C IN / OUT] ポートを使用して複数の製品を接続することができます。

3 MDC の使用

3.5 MDC プログラムのインストール/アンインストール

3.5.1 インストール方法

1 CDをCD-ROMドライブに挿入します。

2 **MDC Unified** のインストール プログラムをクリックします。

ソフトウェアのインストール ウィンドウがメイン画面に表示されない場合には、CD の MDC フォルダにある "MDC Unified" 実行ファイルを使用してインストールします。

3 表示されたインストール ウィザードの画面で "Next" をクリックします。

4 表示された "License Agreement" ウィンドウで、"I accept the terms in the license agreement" を選択して、"Next" をクリックします。

5 表示される "Customer Information" ウィンドウで、すべての情報フィールドに記入して "Next" をクリックします。

6 表示される "Destination Folder" ウィンドウで、プログラムをインストールするディレクトリを選択して "Next" をクリックします。

ディレクトリ パスを指定しない場合には、プログラムはデフォルトのディレクトリ パスにインストールされます。

7 表示される "Ready to Install the Program" ウィンドウで、プログラムのインストール先のディレクトリ パスを確認してから "Install" をクリックします。

8 インストールの進捗状況が表示されます。

9 表示される "InstallShield Wizard Complete" ウィンドウで "Finish" をクリックします。

"Launch MDC Unified" を選択して "Finish" をクリックし、MDC プログラムをすぐに実行します。

10 インストール後には、デスクトップ上に **MDC Unified** ショートカット アイコンが作成されます。

- MDC の実行アイコンは、PC システムや製品の仕様によって表示されないことがあります。
- 実行アイコンが表示されない場合には、F5 を押してください。

3.5.2 アンインストール

1 **スタート** メニューの **設定** > **コントロール パネル** を選択して、**プログラムの追加と削除** をダブルクリックします。

2 リストから **MDC Unified** を選択して、**変更/削除R** をクリックします。

MDC のインストールは、グラフィック カード、マザー ボードおよびネットワークの状態によって異なります。

3 MDC の使用

3.6 MDC とは

"MDC" (Multiple Display Control) は、PC を使用して簡単に複数のディスプレイ装置を同時に制御できるようにするアプリケーションです。

3.6.1 MDC の接続

RS-232C (シリアル データ通信標準規格) による MDC の使用

RS-232C シリアル ケーブルを PC のシリアル ポートとモニターに接続します。

イーサネットによる MDC の使用

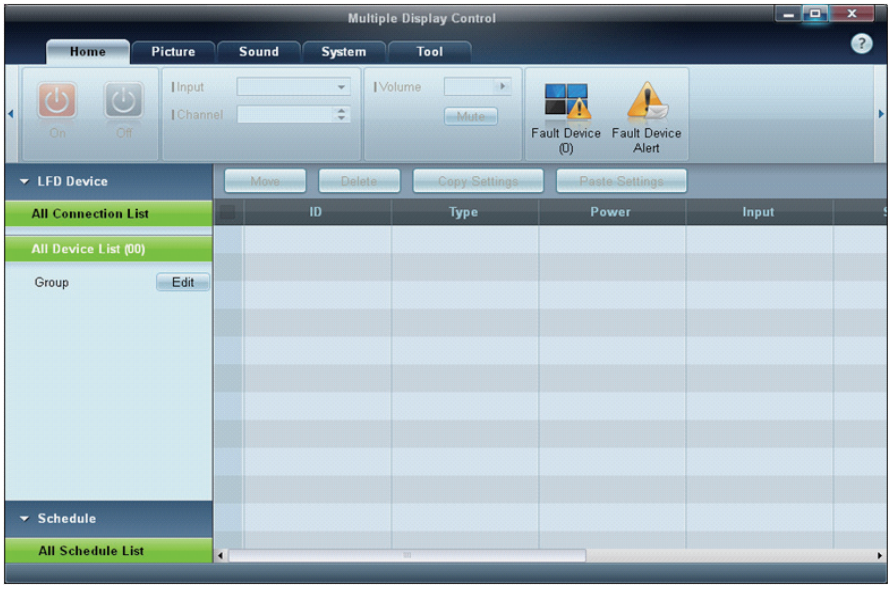
プライマリのディスプレイ装置の IP アドレスを入力して、PC にデバイスを接続します。RS-232C シリアル ケーブルを使ってディスプレイ装置をもうひとつ接続できます。

3.6.2 接続の管理

接続の管理には、**接続リスト**と**接続リスト変更オプション**が含まれます。

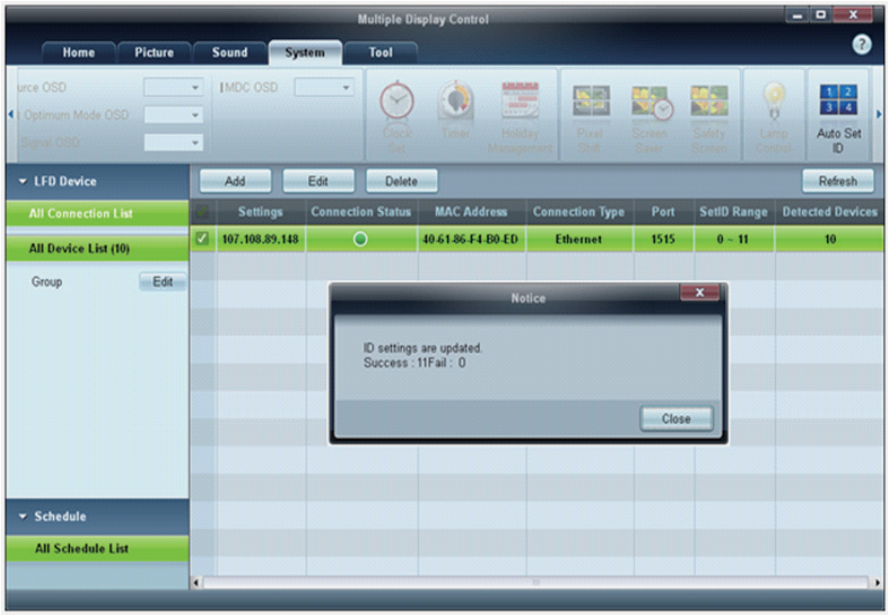
接続リスト – 接続リストには接続設定 (IP/COM、ポート番号、MAC、**Connection Type**) などの接続に関する詳細、接続状態、**Set ID Range**、および検出されたデバイスの詳細が表示されます。接続ごとに、シリアル デイジー チェーン機能で接続したデバイスを最大 100 台収容できます。接続から検出されたすべての LFD がデバイス リストに表示され、ユーザーによるグループ分けや検出されたデバイスへのコマンド送信ができます。

接続リスト変更オプション – 接続変更オプションには**Add**、**Edit**、**Delete**、および**Refresh**が含まれます。



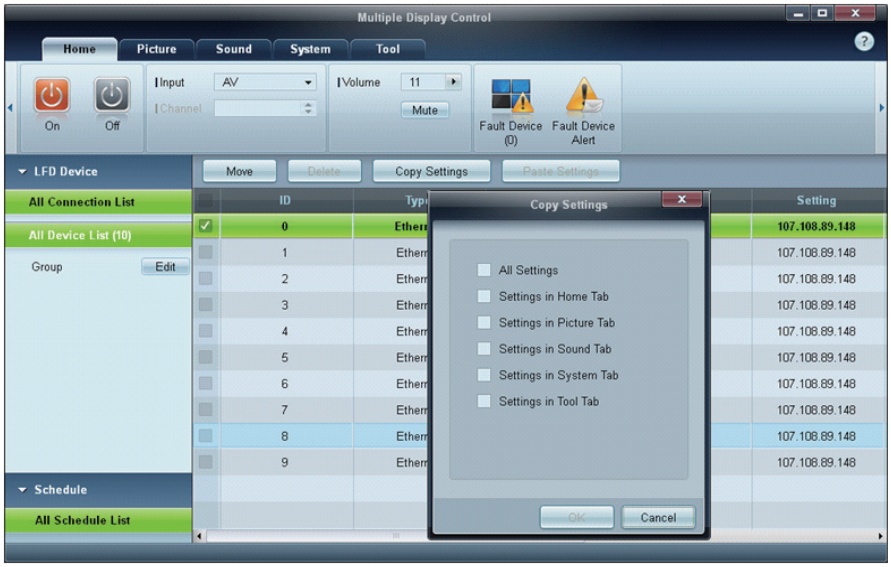
3.6.3 Auto Set ID

Auto Set ID機能により、選択した接続のデイジー チェーンに接続されたすべての LFD にセット ID が割り振られます。接続あたりの LFD の最大数は 100 個です。セット ID は、デイジー チェーンの並び順に 1 から 99 まで割り振られ、最後は セット ID 0 になります。



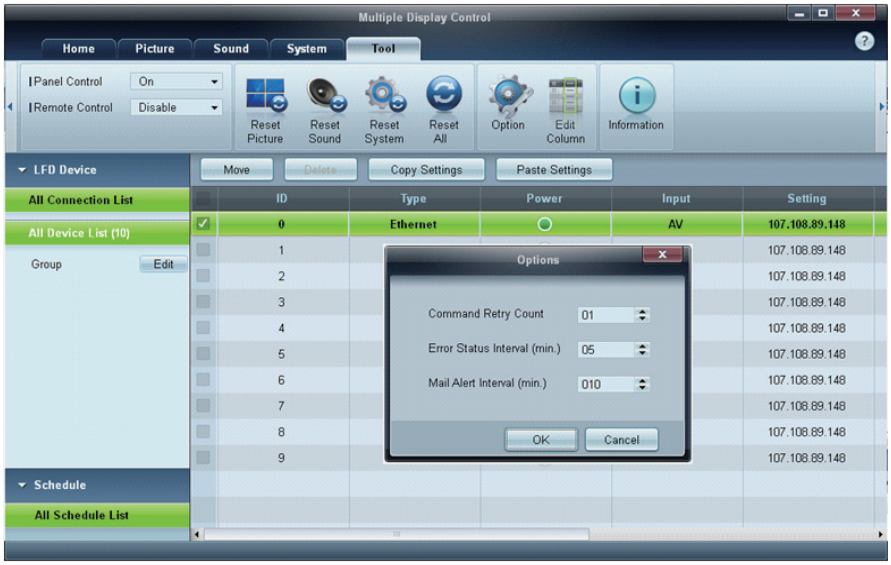
3.6.4 クローニング

クローニング機能を使うと、任意の LFD の設定をコピーして選択した複数の LFD に適用できます。コピー設定オプション ウィンドウを使って、クローニングする特定のタブ カテゴリまたはすべてのタブ カテゴリを選択できます。



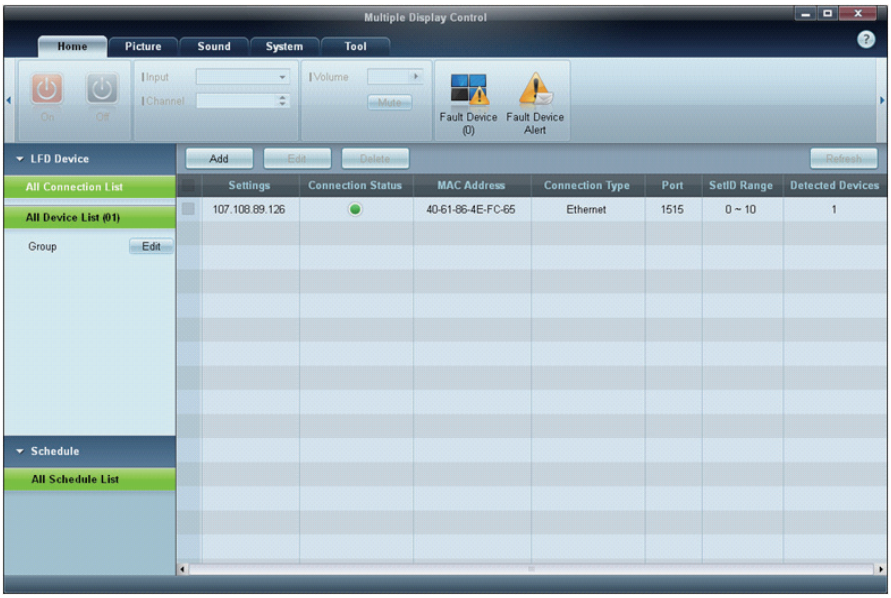
3.6.5 コマンドの再試行

この機能は、LFD からの応答がないか応答が破損している場合に MDC コマンドを再試行する最大数を指定するのに使用します。再試行カウント値は、MDC オプション ウィンドウから設定できます。再試行カウント値は 1～10 の間の値とし、デフォルト値は 1 になります。



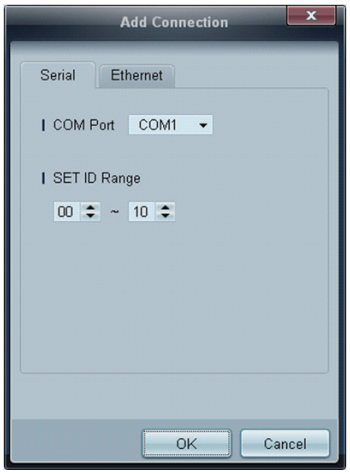
3.6.6 MDC を開始する

1 プログラムを起動するには、**スタート** > →プログラム > → **Samsung** → **MDC Unified** をクリックします。

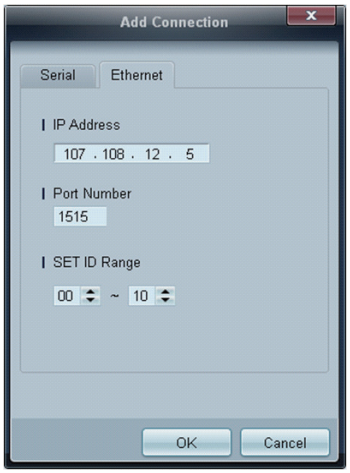


2 **Add**をクリックしてディスプレイ装置を追加します。

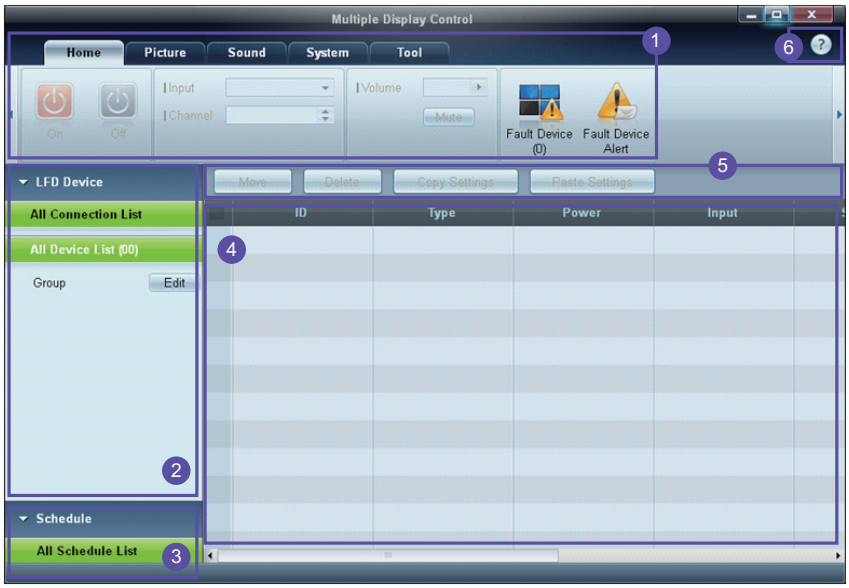
- 接続が RS232C を介して確立されている場合は、**Serial**に移動して**COM Port**を指定します。



- 接続がEthernetを介して接続されている場合は、ディスプレイ装置に関して入力した IP を入力します。



3.6.7 メイン画面のレイアウト



1 メニュー バー	ディスプレイ装置のステータスまたはプログラムのプロパティを変更します。
2 デバイス分類項目	接続されているデバイス装置またはデバイス グループをリスト表示します。
3 スケジュール分類項目	ディスプレイ装置のスケジュールをリスト表示します。
4 セット リスト	調整するディスプレイ装置を選択します。
5 セット リストの変更	セットを追加、編集、再グループ化、または削除します。
6 ヘルプ トピック	プログラムのヘルプ トピックを表示します。

3.6.8 メニュー

選択したデバイスの電源のオンまたはオフ、入力ソースまたは音量の変更ができます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、Homeタブを選択します。

1 Home

項目を選択して対応する設定を変更します。

電源

- **On** : 選択したディスプレイの電源をオンにします。
- **Off** : 選択したディスプレイの電源をオフにします。

Input

- 入力ソース :入力ソースを変更します。

  - 使用できる入力ソースは接続されたディスプレイ装置のモデルによって異なります。
  - 入力ソースは電源がオンになっているディスプレイに対してのみ変更できます。

- **Channel** : チャンネルを変更します。

  - TV チャンネルは上下の矢印キーで変更できます。
  - チャンネルは、入力ソースがTVになっている場合にのみ変更できます。
  - すでに登録されているチャンネルのみ選択できます。

2 Volume

音量の変更またはミュートは電源がオンになっているディスプレイに対してのみ行えます。

Volume

- 音量はスライド バーを使って 0～100 の範囲で変更できます。
  選択したディスプレイの音量を調整します。

入力

- 選択したディスプレイのMuteを有効または無効にします。
  Muteがオンになっているときにに**Volume**を調整すると、**Mute**は自動的に無効となります。

3 Alert

- **Fault Device**

- このメニューには、ファン エラー、温度エラー、明るさセンサー エラー、またはランプ エラーが発生しているディスプレイ装置のリストが表示されます。

  ディスプレイ装置をリストから選択します。**Repair**ボタンが有効になります。更新ボタンをクリックしてディスプレイ装置のエラー ステータスを更新します。復旧したディスプレイ装置は、**Fault Device List**から除かれます。

Fault Device Alert

- エラーが検出されたディスプレイ装置は、電子メールで報告されます。

  必要なフィールドすべてに記入します。**Test**ボタンおよび**OK**ボタンが有効になります。**Sender**情報を確認して、**Recipient**を少なくともひとつ入力してください。

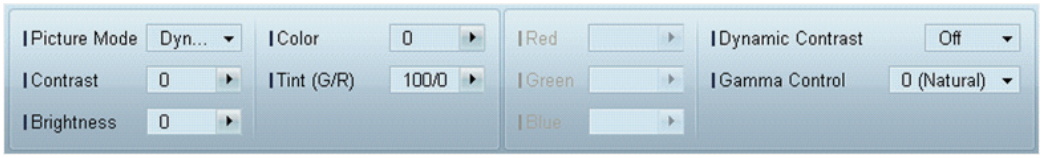
3.6.9 画面調整

画面設定（コントラスト、明るさ等）を調整できます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、Pictureタブを選択します。

カスタム

項目を選択して対応する画面設定を変更します。



- 入力ソースがPCになっているときは、ColorおよびTintは使用できません。
- 入力ソースがVideoになっているときは、Red、Green、BlueおよびPC Screen Adjustmentは使用できません。
- PC SourceとVideo Sourceの両方が選択されているときは、Color、Tint、Color Tone、Color Temp、Red、Green、Blue、およびPC Screen Adjustmentは使用できません。

Contrast

- 選択したディスプレイ装置のコントラストを調整します。

Brightness

- 選択したディスプレイ装置の明るさを調整します。

Color

- 選択したディスプレイ装置の色度を調整します。

Tint (G/R)

- 選択したディスプレイ装置の色合いを調整します。

Color Tone

- 選択したディスプレイ装置の背景色を調整します。

Color Temp

- 選択したディスプレイ装置の色温度を変更します。

  Color ToneがOffに設定されているときには、このオプションが有効になります。

Red

- 選択したディスプレイ装置の赤色の強度をカスタマイズします。

Green

- 選択したディスプレイ装置の緑色の強度をカスタマイズします。

Blue

- 選択したディスプレイ装置の青色の強度をカスタマイズします。

オプション

Dynamic Contrast

選択したディスプレイ装置のDynamic Contrastを調整します。

Gamma Control

選択したディスプレイのガンマ値を変更します。

Auto Motion Plus

このオプションは動きの多いイメージの閲覧に使用します。

- Off : Auto Motion Plus機能を無効にします。
- Clear : Auto Motion Plusのレベルを「クリア」に設定します。このモードは色彩の鮮やかなイメージの閲覧に適します。
- Standard : Auto Motion Plusのレベルを「標準」に設定します。
- Smooth : Auto Motion Plusのレベルを「スムース」に設定します。このモードはイメージのスムースな表示に適しています。
- Custom : 画面の残像またはちらつきのレベルをカスタマイズします。
- Demo : Auto Motion Plusの技術デモを表示します。モードを変更した場合の結果をウィンドウの左側にプレビュー表示できます。

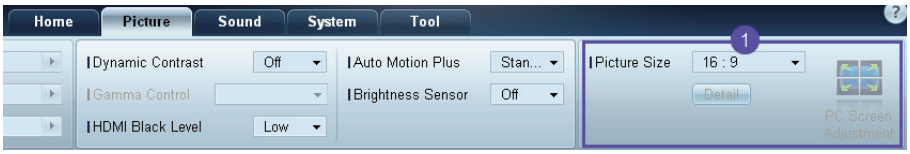
Brightness Sensor

選択したディスプレイ装置のBrightness Sensorを有効または無効にします。

Brightness Sensorは、周囲の光の強さを検出して画面の明るさを自動的に調整します。

Brightness Sensorは製品のモデルによっては利用できないことがあります。

サイズ



Picture Size

選択したディスプレイ装置の画面サイズを調整します。

詳細な設定をサポートしないモードにPicture Sizeが設定されてるときは、Detail項目は無効になります。

–/+ ボタンでZoomを調整できます。

画面のポジションは、上下左右の方向ボタンで調整できます。

Detail

選択した画面サイズの詳細を確認できます。

PC Screen Adjustment

周波数調整または微調整には、CoarseまたはFineの –/+ ボタンを使用できます。

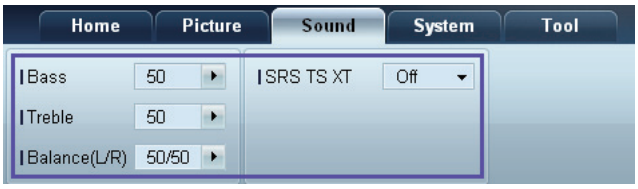
画面のポジションを調整するには、Positionの下にある 4 つのイメージのどれかをクリックします。

周波数を自動調整または微調整、もしくは画面のポジションを変更するには、Auto Adjustmentをクリックします。

3.6.10 音声調整

音声設定を変更できます。

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、**Sound**タブを選択します。



選択したセットで**Bass**または**Treble**項目がサポートされていない場合は、その項目は無効になります。

Bass

選択したディスプレイの低音を調整します。

Treble

選択したディスプレイの高音を調整します。

Balance (L/R)

選択したディスプレイ装置の左右のスピーカーの音量を調整します。

SRS TS XT

選択したディスプレイ装置の**SRS TS XT**を有効または無効にします。

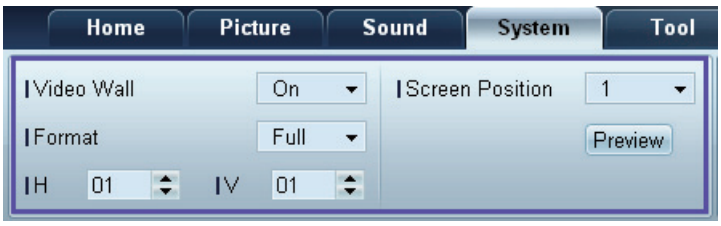
3.6.11 システムの設定

セットのリストからディスプレイ装置を選んで、Systemタブを選択します。

Video Wall

Video Wall機能は、映像全体の一部を表示するか、接続された複数のディスプレイ装置のそれぞれに同じ映像を繰り返し表示するのに使用します。

Video Wallは、各デバイスが同じグループ内にある場合にのみ有効となります。

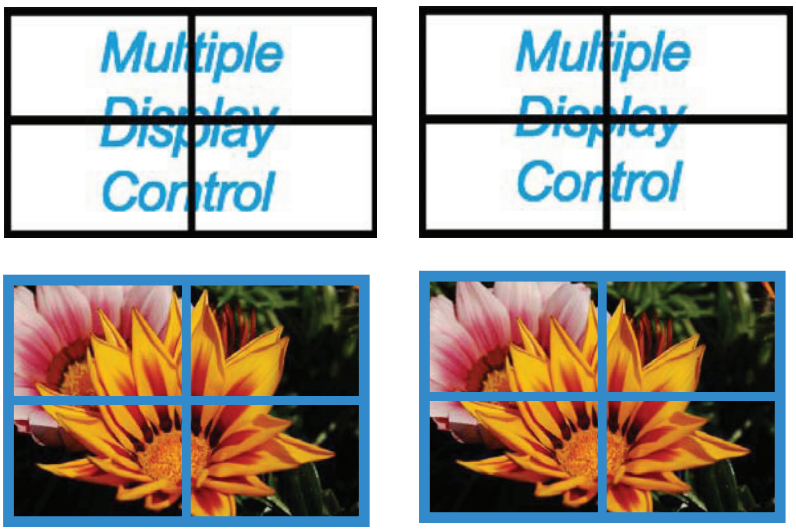


Video Wall

Video Wallを有効または無効にします。

Format

分割画面の表示方式を選択します。



Full　　Natural

H

水平方向に配置されたディスプレイ装置の数を選択します。

1 列に最大 15 個のディスプレイを配置できます。

H に 15 を割り当てた場合、V には最大 6 まで割り当てできます。

V

垂直方向に配置されたディスプレイ装置の数を選択します。

1 列に最大 15 個のディスプレイを配置できます。

H に 15 を割り当てた場合、V には最大 6 まで割り当てできます。

Screen Position

ディスプレイのレイアウトを表示（画面ディバイダで設定）または必要に応じて変更します。

Video Wallがオンに設定されているときには、**Screen Position**と**Preview**が有効になります。

複数のセットが選択されている場合、H と V の設定が選択したセットのレイアウトに一致するときにだけ**Preview**が有効となることに注意してください。

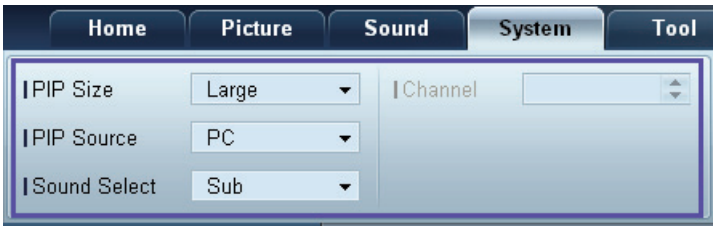
Positionを変更するには、セットを選択して新しいポジションにドラッグします。

画面ディバイダ設定の範囲はモデルによって異なります。

PIP

PIPの調整に必要な基本情報がメニュー画面に表示されます。

- **Video Wall**が**ON**になると、**PIP**は無効となります。
- **PIP**が**ON**になると、**Picture Size**は無効となることに注意してください。



PIP Size

現在のディスプレイの**PIP Size**を表示します。

PIP Source

PIP 入力ソースを選択します。

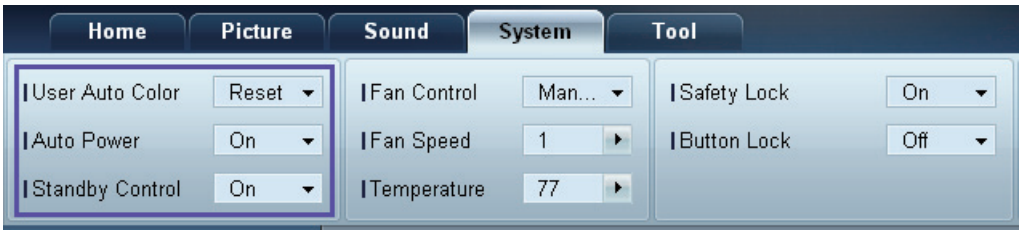
Sound Select

プライマリまたはセカンダリ画面のどちらか一方のサウンドを選択して有効にします。

Channel

PIP Sourceが**TV**のときは、チャンネルを変更できます。

全般



User Auto Color

画面の色を自動的に調整します。

PCモードでのみ使用できます。

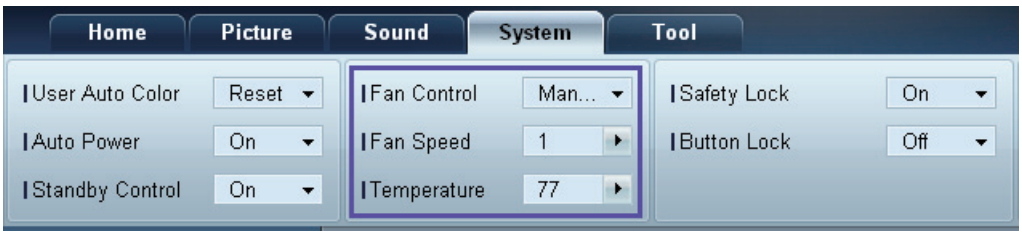
Auto Power

製品の電源が自動的にオンになるように設定します。

Standby Control

入力ソースが検出されなかったときは、スタンバイ モードで起動するように設定します。

ファンと温度



製品保護のためファン速度と内部温度の検出に必要な設定を行います。

Fan Control

ファン速度の設定方法を選択します。

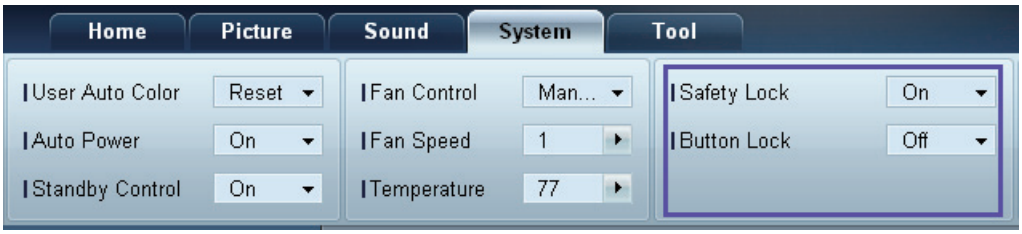
Fan Speed

ファン速度を設定します。

Temperature

温度の範囲を指定して内部温度を検出します。

セキュリティ



Safety Lock

オンスクリーン メニューをロックします。

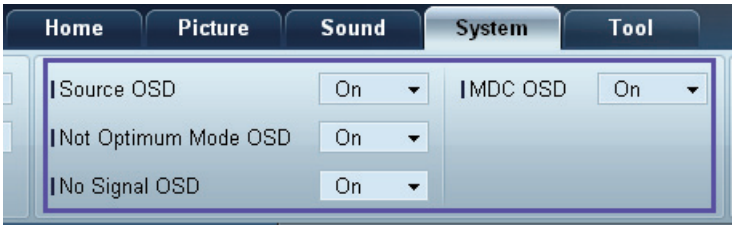
ロックを解除するには、**Safety Lock**を**Off**に設定します。

Button Lock

ディスプレイ装置のボタンをロックします。

ボタンのロックを解除するには、**Button Lock**を**Off**に設定します。

OSD ディスプレイ



Source OSD

Sourceが変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

Not Optimum Mode OSD

非互換モードが変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

No Signal OSD

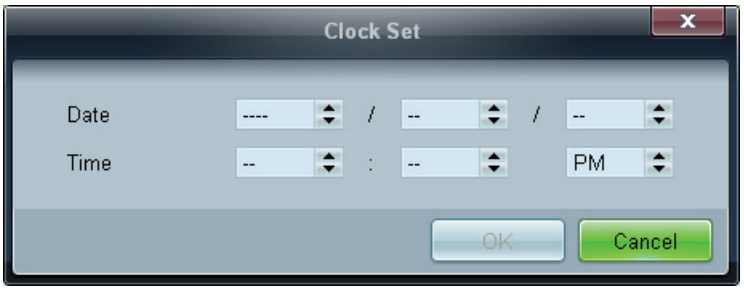
入力信号がない場合に、メッセージを表示するかどうかを選択します。

MDC OSD

MDC によって設定が変更されたときに、メッセージを表示するかどうかを選択します。

現在時刻

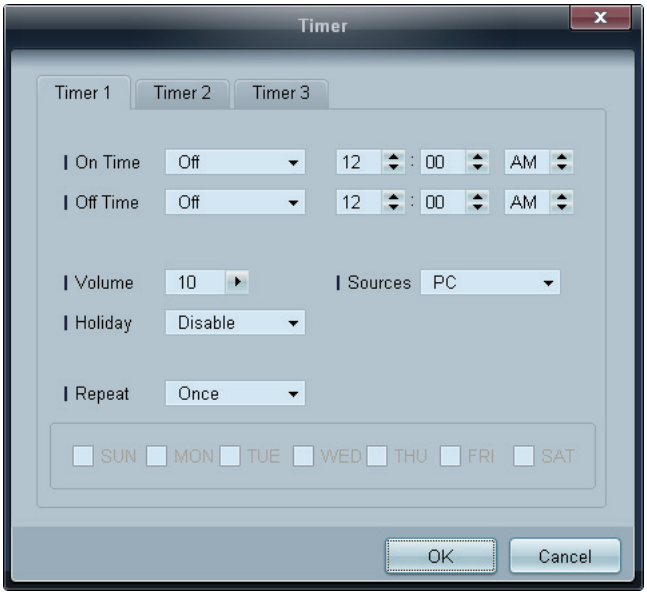
Clock Set



選択したディスプレイ装置の現在時刻を PC の設定時刻に合わせて変更します。

ディスプレイ装置に時刻が設定されていない場合は、ヌル値が表示されます。

Timer



- **On Time** : 選択したディスプレイ装置の電源をオンにする時刻を設定します。
- **Off Time** : 選択したディスプレイ装置の電源をオフにする時刻を設定します。
- **Volume** : **On Time**によりディスプレイ装置の電源がオンになったときの音量を指定します。
- **Source** : **On Time**によってディスプレイ装置の電源をオンにしたときの入力ソースを指定します。
- **Holiday** : **Holiday Management**設定を**Timer**に適用できます。
- **Repeat** : 選択した**Timer**を繰り返す周期を指定します。

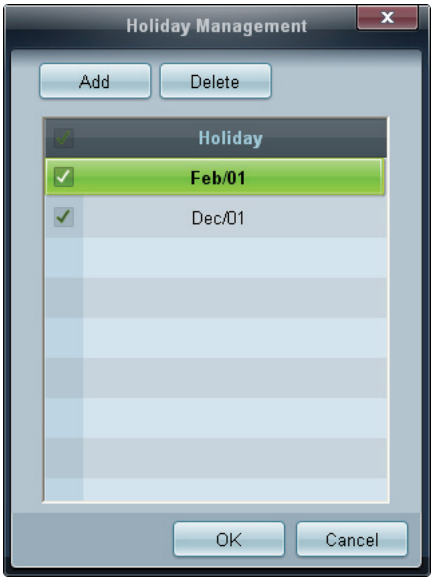
- Once : タイマーを 1 回だけ有効にします。
- EveryDay : タイマーを毎日有効にします。
- Mon~Fri : タイマーを月～金曜日に有効にします。
- Mon~Sat : タイマーを土曜日と日曜日に有効にします。
- Manual : 曜日をカスタマイズします。

Repeatの下にある曜日を選択するためのチェックボックスは、Manualが選択されている場合にのみ有効となります。

Holiday Management

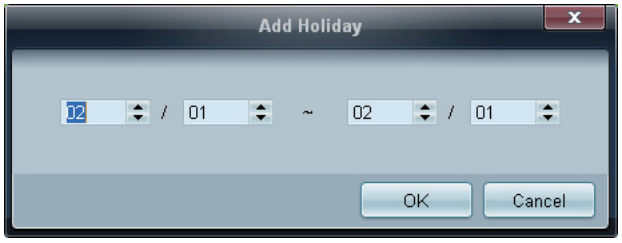
Holiday Managementにより、Timerで電源がオンになるように設定したデバイスが特定の日付にオンにならないようにできます。

Holiday Management機能は、Timer設定メニューで有効または無効にできます。



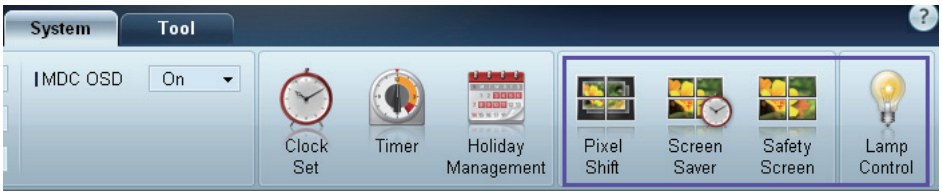
- ADD : 祝日を指定できます:

  Holiday Managementウィンドウで Addボタンをクリックします。

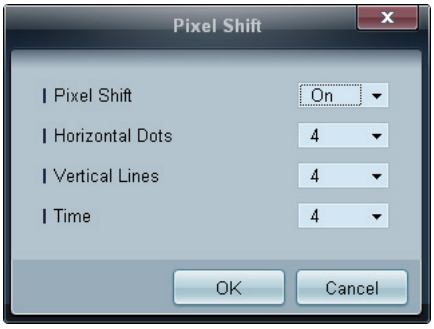


- Delete : 祝日を削除します。対応するチェックボックスにチェックマークを入れて、このボタンをクリックします。
- 祝日のリスト:これまでに追加した祝日のリストを表示します。

画面の焼き付き防止

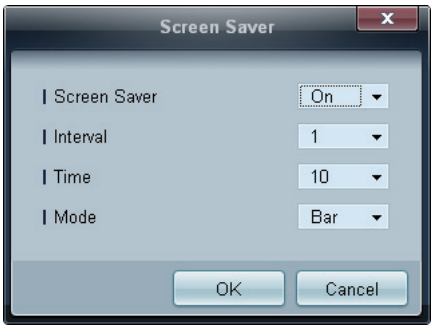


Pixel Shift



画面の残像防止のため指定時刻にわずかに画面を動かします。

Screen Saver



この機能は選択されたディスプレイ装置の画面が長時間使われずに放置された場合に、画面の残像が発生するのを防止します。

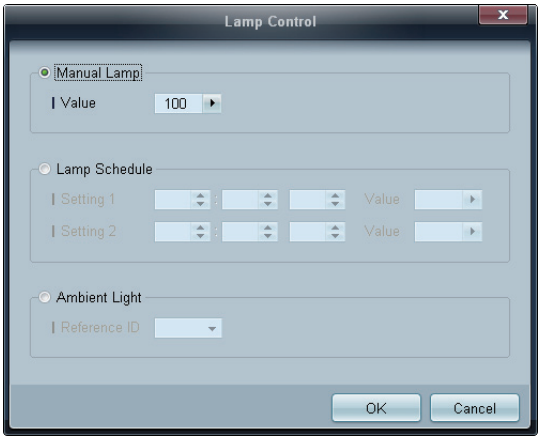
- **Interval** : **Screen Saver**を起動する間隔を指定します。
- **Mode**: **Time**設定は**Mode**ごとに変えられます。

Safety Screen

Safety Screen機能はディスプレイ装置の画面に静止画像が長時間表示された場合に、画面の残像が発生するのを防止します。

Lamp Control

Lamp Controlは、バックライトを調整して消費電力を抑えるのに使用されます。



選択したディスプレイ装置のバックライトを指定した時刻に自動的に調整します。

Manual Lamp Controlが調整されると、Auto Lamp Controlは自動的にOffに切り替わります。

選択したディスプレイのバックライトを手動で調整します。

Auto Lamp Controlが調整されると、Manual Lamp Controlは自動的にOffに切り替わります。

- Ambient Light : Ambient Lightは周囲の光の強さを検出して、同一のシリアル チェーンに接続されたすべての LFD について画面の明るさを自動的に調整します。

3.6.12 ツールの設定

1 セキュリティ

Panel Control

ディスプレイ装置の画面をオンまたはオフにします。

Remote Control

リモート コントロールを有効または無効にします。

❷ リセット

Reset Picture

画面設定をリセットします。

Reset Sound

サウンド設定をリセットします。

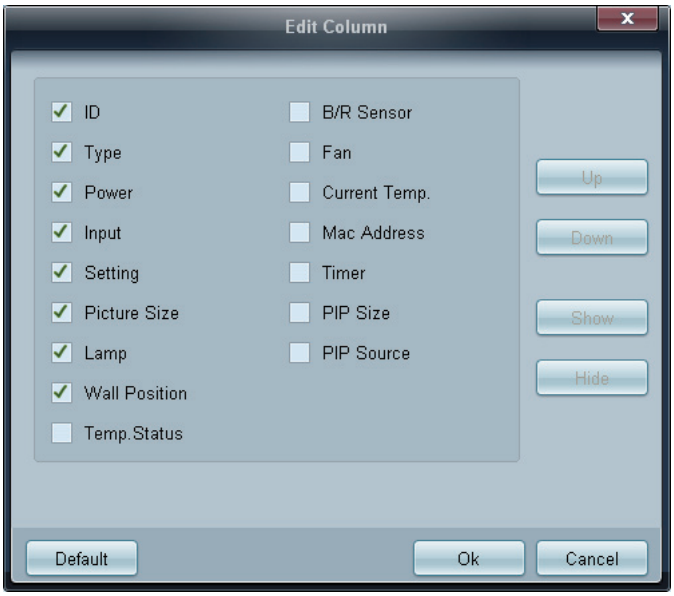
Reset System

システム設定をリセットします。

Reset All

画面、サウンド、およびシステム設定を同時にリセットします。

❸ Edit Column



セットのリストに表示する項目を選択します。

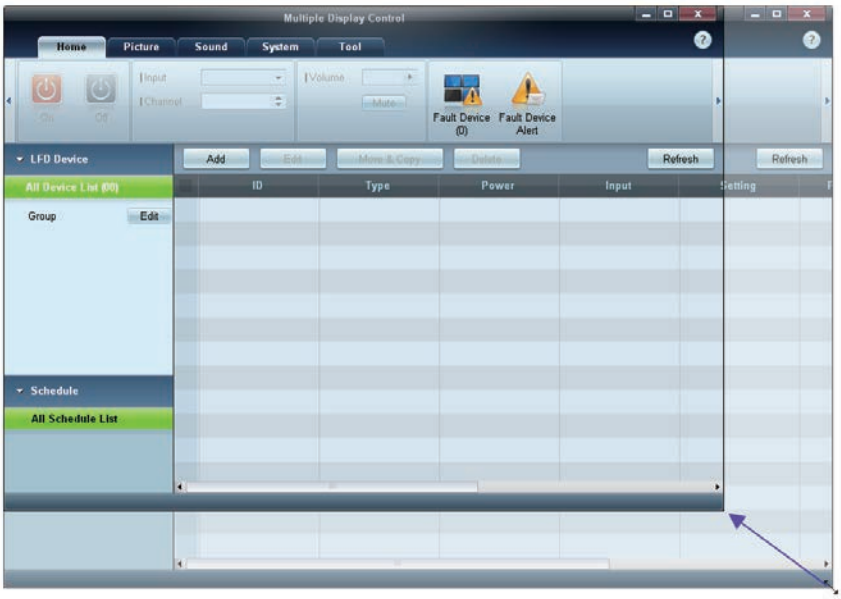
❹ Information

プログラム情報を表示します。

3.6.13 その他の機能

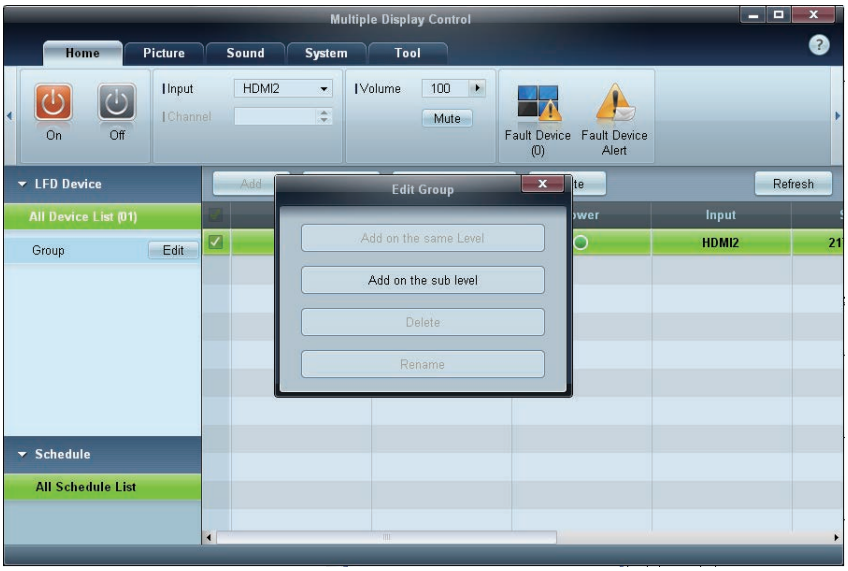
ウィンドウのリサイズ

プログラム ウィンドウの角にマウスのポインターを置きます。矢印が表示されます。矢印を動かしてプログラム ウィンドウのサイズをカスタマイズします。



グループの管理

グループの作成



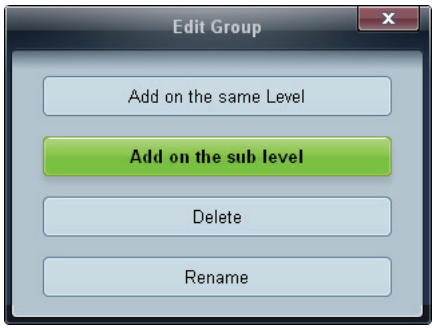
グループを作成してセットのリストをグループ単位で管理します。

重複するグループ名は使用できません。

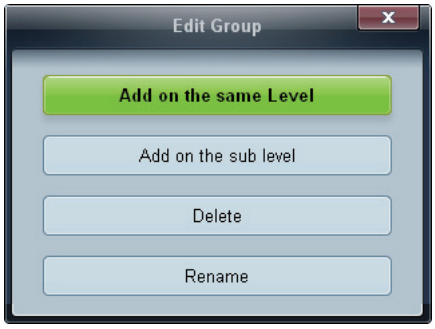
1 プログラム ウィンドウの左側にあるディスプレイ装置リストのセクションを右クリックして Group>Editを選択します。

2 表示されるEdit Groupウィンドウで、Add on the sub levelまたはAdd on the same levelをクリックします。

- Add on the sub level: 選択したグループの下にサブグループを作成します。



- Add on the same level: 選択したグループと同じレベルにグループを作成します。



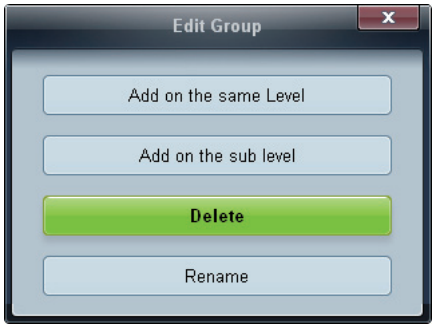
Add on the same levelボタンは、少なくとも 1 つのグループが作成されている場合に有効となります。

3 グループ名を入力します。

グループの削除

1 グループ名を選択して、Editをクリックします。

2 表示されるEdit Groupウィンドウで、Deleteをクリックします。

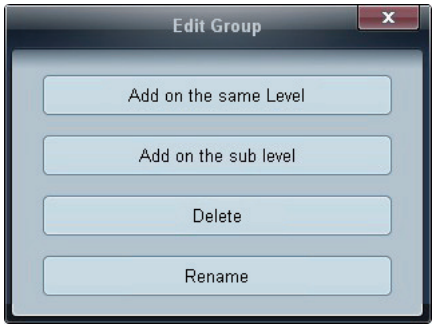


3 Yesをクリックします。グループが削除されます。

グループのリネーム

1 グループ名を選択して、**Edit**をクリックします。

2 表示される**Edit Group**ウィンドウで、**Rename**をクリックします。



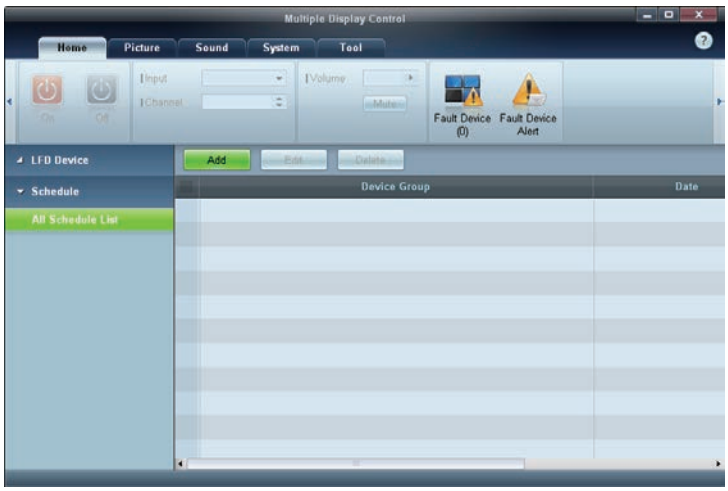
3 古いグループ名の中にカーソルが現れるので、新しいグループ名を入力します。

スケジュールの管理

スケジュールの作成

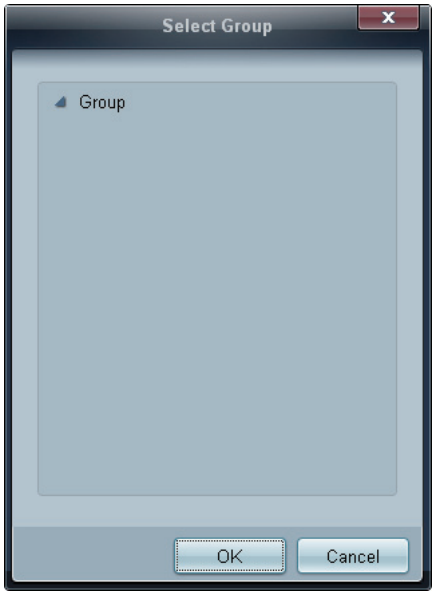
グループ単位でスケジュールを作成して登録します。

1 プログラム ウィンドウの左側にあるスケジュールのセクションの**All Schedule List**をクリックします。中央の**Add**ボタンが有効になります。



2 Addボタンをクリックします。Add Scheduleウィンドウが表示されます。

3 Device Group項目の下にあるAddをクリックして、スケジュールを追加するグループを選択します。



4 Date&Time/Actionを選択してOKをクリックします。スケジュールが追加され、セット リスト ウィンドウにスケジュールのリストが表示されます。

- Device Group : グループを選択します。
- Date&Time
  - Instant Execution : 直ちにスケジュールを実行します。
  - Timer : スケジュールを実行する日付、時刻、および間隔を設定します。
- Action : 指定の時刻および間隔で起動する機能を選択します。

スケジュールの変更

スケジュールを変更するには、スケジュールを選択してEditをクリックします。

スケジュールの削除

スケジュールを削除するには、スケジュールを選択してDeleteをクリックします。

3.6.14 トラブルシューティング ガイド

問題		解決方法
制御したいディスプレイがシステム情報チャートに表示されません。	1.	RS232C ケーブルの接続を確認します (ケーブルが適切なシリアル ポートに正しく接続されていることを確認します)。
	2.	IDが重複する別のディスプレイが接続されていないことを確認します。IDの重複したディスプレイを接続すると、データの衝突によってディスプレイが表示されない原因となることがあります。
	3.	ディスプレイのIDが 0～99 の範囲にあることを確認します (ディスプレイのメニューで ID を変更します)。 0～99 の範囲の ID をサポートするディスプレイでは、IDは 0～99 の範囲で設定しなければなりません。
制御したいディスプレイが他の制御情報グリッドに表示されない。	ディスプレイの電源がオンになっていることを確認してください。(システム情報チャートの電源ステータスを見ます)	
	ディスプレイに接続された入力信号を選択してください。	
以下のメッセージが繰り返し表示されます。 	制御しようとするディスプレイが接続されていることを確認してください。	
On TimeまたはOff Timeが設定されているのに、別の時刻にディスプレイが交互にオンまたはオフになります。	PC の時刻を調整して、接続されたディスプレイとの間で同期してください。	
リモコンが機能しない。	リモコンは、RS-232C ケーブルが外されている場合、またはRemote Control機能がDisableのときにプログラムが正常に閉じられなかった場合に機能しなくなることがあります。これを解決するには、プログラムを再度実行してRemote ControlをEnableに設定します。	

このプログラムは、PC とディスプレイとの通信の問題、または付近にある電子機器から放出される電磁波によって誤作動する場合があります。

複数のディスプレイを使用しているときにディスプレイのプロパティを表示する方法

1. ディスプレイが選択されていないとき:デフォルト値が表示されます。
2. 1 台のディスプレイが選択されているとき:選択したディスプレイの設定が表示されます。
3. 2 台のディスプレイが (たとえばID 1、ID 3 の順で) 選択されたとき:ID 1 の設定が表示され、続いてID 3 の設定が表示されます。
4. All+Selectチェックボックスがチェックされてすべてのディスプレイが選択されたとき:デフォルトの設定が表示されます。

4 画面調整

映像（明るさ、色温度など）を設定します。

映像 メニュー オプションのレイアウトは、製品によって異なる場合があります。

4.1 映像モード

MENU → 映像 → 映像モード → ENTER

製品が使用される環境に適切な映像モード（映像モード）を選択します。現在の入力ソースによって、異なる映像モードオプションが表示されます。

4.1.1 入力ソースが PC、DVI または DP の場合

- 情報: このモードは疲れ目を軽減するため、一般の人々に情報を表示するのに適しています。
- 広告:このモードは、ビデオ コンテンツや屋内/屋外広告の表示に適しています。

4.1.2 入力ソースが AV、コンポーネントまたは HDMI の場合

- 動的:このモードは、周囲の光が明るいときに適しています。
- 標準:このモードは全般的に、どの環境にも適しています。
- ナチュラル:目への負担を軽減します。
- 動画:このモードでは疲れ目が軽減されます。

4.2 バックライト / コントラスト / 明るさ / シャープネス / 色 / 色合い

MENU → 映像 → ENTER

本製品では画質調整のためのオプションがいくつか提供されています。▲ボタンと▼ボタンを使用してオプションを選択し、[↵]を押します。矢印キーを使用してオプション値を調整したり、オプション設定を選択してください。完了後、[↵]を押します。

- バックライト、コントラスト、明るさ、シャープネス、色または 色合い を変更した場合、OSD は変更に合わせて調整されます。
- PC を接続する場合、バックライト、コントラスト、明るさ、およびシャープネスのみ変更可能です。
- 本製品の入力に接続されている各外部機器の設定を調整したり保存することができます。
- 映像の明るさを下げることにより、消費電力を抑えることができます。

4 画面調整

4.3 画面調整

MENU → 映像 → 画面調整 → ENTER

画面調整は、さまざまな画像サイズやアスペクト比のオプションを提供します。▲ボタンと ▼ボタンを使用してオプションを選択し、[↵]を押します。矢印キーを使用してサブメニューからオプションを選択し、[↵]を押してください。

現在の入力ソースによって、異なる**画面調整**オプションが表示されます。

4.3.1 画像サイズ

ケーブル ボックスまたは衛星放送受信機を使用している場合は、それら独自の画像サイズがあることがあります。そのような場合も、本製品の **16:9** モードを通常お使いになることを強くお勧めします。

- **16:9**: 16:9 ワイドモードに画像を設定します。
- **ズーム1**:低倍率で拡大するために使用します。上側と横側を切り取ります。
- **ズーム2**:高倍率で拡大するために使用します。
- **ワイド フィット**(国によって異なる):画像のアスペクト比を拡大して、画面全体に表示します。
- **スマート ビュー 1**:16:9 の画像を 50% 縮小します。
- **スマート ビュー 2**:16:9 の画像を 25% 縮小します。
- **4:3**: 基本 (4:3) モードに画像を設定します。

  長期にわたる 4:3 フォーマットのご使用はお避けください。画面の左右または上下に表示される境界線によって、残像 (画面の焼き付き) が起こる場合があり、これは保証外となります。

- **画面に合わせる**:HDMI (720p / 1080i / 1080p) 信号またはコンポーネント (1080i / 1080p) 信号が入力されたときに、切り取りなしで全体画像を表示します。
- **カスタム**: ユーザーの好みに合わせて解像度を変更します。

  - 本製品の入力に接続されている各外部機器の設定を調整したり保存することができます。
  - 入力ソースごとに設定可能な画像サイズが異なります。

入力ソース	画像サイズ
AV、コンポーネント (480i、480p)	16:9、ズーム 1、ズーム 2、4:3, カスタム
コンポーネント (1080i、1080p)	16:9、4:3、ワイド フィット、画面に合わせる, カスタム
HDMI (720p、1080i、1080p)	16:9, 4:3, ワイド フィット, 画面に合わせる, スマート ビュー 1, スマート ビュー 2, カスタム
HDMI(480i、480P)	16:9、4:3、ズーム1, ズーム2、スマート ビュー 1、スマート ビュー 2、カスタム
PC, DVI, DP, HDMI (PC が接続されている場合)	16:9、4:3

4.3.2 位置

位置 は、画像サイズ が ズーム1、ズーム2、ワイド フィット、画面に合わせる、または カスタム に設定されている場合にのみ使用できます。

ズーム 1、ズーム 2、またはワイド フィットを選択した後に 位置機能を使用するには、次の手順を行ってください。

1 ▼ボタンを押して位置を選択します。

2 [↵]ボタンを押します。

3 ▲ボタンまたは ▼ボタンを押して、画像を上下に移動させます。

4 [↵]ボタンを押します。

5 ▲ボタンと▼ボタンを順番に押して閉じるを選択してください。画像位置をリセットするには、リセットを押します。

HDMI (1080i/1080p) またはコンポーネント (1080i/1080p) もしくは カスタム で 画面に合わせる を選択した後、位置 機能を使用するには、次の手順を行ってください。

1 ▼ボタンを押して位置を選択します。

2 [↵]ボタンを押します。

3 ▲/▼/◀/▶ボタンを押して、画像を移動させます。

4 [↵]ボタンを押します。

5 ▲ボタンと▼ボタンを順番に押して閉じるを選択してください。

元の位置に画像表示を戻す場合は、位置画面でリセットを選択してください。画像が、デフォルトの位置に表示されるように設定されます。

4.3.3 PC 画面調整

PC モードでのみ使用することができます。

粗調整 / **微調整**:画像ノイズを除去または軽減します。微調整でノイズ除去ができない場合、**粗調整**機能を使用して周波数を可能な限り最適に調整し(**粗調整**)、再び微調整してください。ノイズが軽減された後は、画像を再調整して画面中央にくるようにします。

位置 PC の画面が中央揃えになっていない、または製品の画面内に収まらない場合に PC の画面位置を調整します。▲ボタンまたは ▼ボタンを押して、垂直位置を調整します。◀ボタンまたは ▶ボタンを押して、水平位置を調整します。

画像リセット:画像をデフォルト設定に戻します。

4.3.4 解像度の選択

グラフィック カードの解像度が以下のいずれかでも画像が正常に表示されない場合は、このメニューを使用して、製品の解像度として PC と同じ解像度を選択することにより、画質を最適化することができます。

利用できる解像度: **オフ**/1024 x 768/1280 x 768/1360 x 768/1366 x 768

解像度の選択オプションは、入力ソースが PC の場合にのみ有効になります。

4.4 自動調整

MENU → **映像** → **自動調整** → ENTER

周波数値や位置を調整し、自動的に設定を微調整します。

このオプションは入力信号が PC の場合に使用できます。

4.5 3D 機能を使う (UE46A & UE55A モデルのみ)

MENU → 映像 → 3D → ENTER

4.5.1 3D モード

この新機能によって 3D コンテンツを視聴することができます。本機能を使用するには、3D ビデオ視聴用のサムソン 3D アクティブ メガネを購入する必要があります。

4.5.2 3D 機能を使用して本製品で視聴する

3D 映像を視聴の際の健康上および安全上の重要事項3D 機能を使用する前に、以下の安全情報をお読みの上ご理解ください。

警告

- 3D 作品視聴の際に、めまい、吐き気、頭痛などの不快な症状を感じることがあります。このような症状を感じた場合、3D 作品の視聴を中止し、3D アクティブ メガネを外して休憩してください。
- 3D 映像を長時間視聴すると、眼精疲労が起きることがあります。疲れ目を感じた場合、3D 作品の視聴を中止し、3D アクティブ メガネを外して休憩してください。
- お子様が 3D 機能を使用する場合、必ず大人の方が付き添ってください。お子様が疲れ目、頭痛、めまい、または吐き気を訴えた場合は、3D 作品の視聴をやめさせて休憩を取らせてください。
- 3D アクティブ メガネを通常のメガネ、サングラス、保護メガネなど、本来の用途以外に使用しないでください。
- 歩きながら、または移動しながら 3D 機能または 3D アクティブ メガネを使用しないでください。移動しながら 3D 機能または 3D アクティブ メガネを使用すると、物にぶつかったり、つまずいたり、転倒によるケガの原因となります。

- **3D モード** 3D 入力フォーマットを選択します。

  - 3D 効果を十分感じるには、先に 3D アクティブ メガネを装着し、下表の 3D モードのなかから最適な 3D 効果が得られるものを選択してください。
  - 3D 映像を視聴する際には、3D アクティブ メガネをオンにします。

3D モード		ご使用の際の注意事項
	オフ	3D 機能をオフにします。
	3D → 2D	3D 映像を 2D 映像に切り替えます。
	横並び表示	2 つの映像を隣り合わせに表示します。
	上下表示	上下に映像を表示します。

3D モード		ご使用の際の注意事項
	水平交互表示	左目用・右目用の映像を水平方向で交互に表示します。
	垂直交互表示	左目用・右目用の映像を垂直方向で交互に表示します。
	格子表示	左目用・右目用の映像をピクセル単位で交互に表示します。
	フレーム シーケンシャル表示	左目用・右目用の映像をフレーム単位で交互に表示します。

- "2D → 3D" がサポートされていないファイル フォーマットもあります。
- "横並び表示" および "上下表示" は、HDMI または USB モード、あるいは PC 設定で HDMI / DVI ケーブルで接続されている場合において解像度が 720p、1080i、または 1080p のときに使用できます。
- "垂直交互表示"、"水平交互表示"、および "格子表示" は、解像度が PC に設定されており、PC が HDMI / DVI ケーブルで接続されている場合に使用できます。
- "フレーム シーケンシャル表示" では、解像度が PC に設定されているときに周波数 (60Hz のみ) を表示します。

- **3D 効果**: 最適な 3D 視聴のために、遠近や奥行きなどの 3D 効果を調整します。
  - **自動** : 3D 入力ソースに合わせて遠近や奥行きの設定を自動的に調整します。
  - **手動** : 遠近や奥行きの設定を手動で調整します。
- **左右の切り替え** (**左/右の画像** / **右/左の画像**) : 左の映像と右の映像を入れ替えます。
- **3D** → **2D** (**オフ** / **オン**) : 左目用の映像のみを表示します。

この機能は **3D モード**が "3D → 2D" またはオフのときには無効になります。

- **3D 自動表示** (**オフ** / **メッセージ通知** / **オン**) : **3D 自動表示**が**オン**になっている場合、以下の解像度のいずれかを使用する "横並び表示" フォーマットの HDMI 信号は自動的に 3D に切り替えられます。**3D 自動表示**を**メッセージ通知**に設定した場合、本製品が 3D 信号を受信するとポップアップ ウィンドウが表示されます。

- 3D 情報エラーによって 3D 機能に不具合が生じた場合、**3D 自動表示**を**オフ**に設定し、3D ボタンまたは対応するメニューを使用して手動で **3D 効果**を選択します。
- **USB** モードでは、解像度が 1280 x 720p、1920 x 1080i または 1920 x 1080p の場合にのみ本機能が利用可能になります。

- **3D 最適化** : 3D 効果の全般的な調整を行います。

対応解像度 (16:9 のみ)

解像度	周波数 (Hz)
1280 x 720p	25 / 50 Hz
1920 x 1080i	25 / 50 Hz
1920 x 1080p	25 / 50 Hz

HDMI PC モードに対応している解像度

HDMI PC モード用の解像度は、1920 x 1080 の入力に最適化されています。

入力の解像度が 1920 x 1080 以外の場合、3D 表示または全画面モードで正しく表示されないことがあります。

3D 映像を見るには

- 方法 1

  - 映像ソースのフォーマットによっては、利用できない 3D モードがあります。
  - 3D で視聴するには、3D アクティブ メガネを装着してメガネの電源ボタンを押してください。

  1. リモコンの MENU ボタンを押し、▲ボタンまたは▼ボタンを使用して**映像**を選択し、[↵]ボタンを押します。
  2. ▲ボタンまたは ▼ボタンを使用して**3D**を選択し、[↵]ボタンを押します。
  3. ▲ボタンまたは ▼ボタンを使用して **3D 効果**を選択し、[↵]ボタンを押します。
  4. リモコンの▲ボタンまたは ▼ボタンを使用して、視聴したい映像の **3D 効果**を選択します。

標準 HDMI 3D に対応しているフォーマットおよび動作仕様

下記は HDMI アソシエーションの推奨 3D フォーマットであり、サポートされております。

入力元信号フォーマット	標準 HDMI 1.4 3D
1920 x 1080p @ 24 Hz x 2	1920 x 2205p @ 24 Hz
1280 x 720p @ 50 / 60 Hz x 2	1280 x 1470p @ 50 / 60 Hz

24Hz の標準 HDMI 3D フォーマットにおいて、本製品は以下のように最適化されています。

- **ジャダ軽減** 表示モード : Motion Plus が**スムーズ**または **カスタム**に設定されている場合、揺れなくなめらかな映像を視聴できます。

3D 機能をお使いになる前に

- 入力ソースを変更すると、**3D 効果**は記録された設定値に自動設定されます。
- **映像**機能によっては、**3D** モードでは無効になるものがあります。
- **PIP** は、**3D** モードには対応していません。
- サムスンの旧 3D アクティブ メガネ (赤外線タイプ) やその他メーカーの 3D アクティブ メガネには対応していません。
- 本製品のはじめての電源投入時には、3D 表示が最適化されるまでに時間を要することがあります。
- 3D アクティブ メガネまたは本製品の近くでほかの 3D 製品や電子機器の電源が入っていると、3D アクティブ メガネが正常に動作しない場合があります。正常に動作しない場合、ほかの電子機器を 3D アクティブ メガネからできる限り遠くに離してください。
- ファイルによっては、2D-3D 変換機能に対応していないものもあります。

- 3D 映像を視聴する際は、最適な視聴距離と角度の範囲内で視聴してください。範囲外の場合、3D 効果が正常にご観賞できないことがあります。
- 最適な視聴距離は、画面の高さの 3 倍以上の距離です。ご視聴の際には、画面と同じ高さの目線で視聴されることをお勧めします。

4.6 詳細設定

MENU → 映像 → 詳細設定 → ENTER

すべての詳細設定は、標準モードと動画モードで提供されています。詳細設定をするには、上下の矢印キーを使用してオプションを選択し、を押してください。矢印キーを使用して値や設定を変更し、[]を押します。矢印キーを使用して値や設定を変更し、を押します。

PC モードでは、変更できるのはガンマとホワイト バランスのみになります。

4.6.1 色の暗さ（黒）

調整レベルをを選択して画面の奥行きを調整します。

- オフ / 暗 / 暗く / 最も暗く

4.6.2 ダイナミック コントラスト

画面のコントラストを調整します。

- **オフ** / **低** / **中** / **高**

4.6.3 シャドウの詳細

暗画像の輝度を上げます。

4.6.4 ガンマ

原色の強さを調整します。

4.6.5 エキスパート向けパターン

エキスパート向けパターン機能を使用して画像を調整します。OSD メニューが閉じたり、映像メニュー以外のメニューが開かれた場合、本製品は調整内容を保存して**エキスパート向けパターン**画面を閉じます。

- **オフ**

  エキスパート向けパターン機能をオフにします。
- **パターン1**

  このテスト画面で表示設定の効果をモノクロ諧調で確認します。
- **パターン2**

  このテスト画面で表示設定の効果をカラー表示で確認します。

- **パターン1** または**パターン2** を選択した後、詳細設定を調整してお好みの効果を適用することができます。
- **エキスパート向けパターン**が起動している間は、音声は出力されません。
- コンポーネント、HDMI 対応モデルでのみ有効です。

4.6.6 RGB のみモード

色調や彩度を微調整するために、**赤**、**緑**、および**青** 色を表示します。

- **オフ** / **赤** / **緑** / **青**

4.6.7 色空間

画像構成に利用可能な色の範囲と種類（色空間）を調整します。

- **自動** / **ネイティブ** / **カスタム**

色、**赤**、**緑**、**青**、および**リセット**を調整するには、**色空間** を**カスタム**に設定してください。

4.6.8 ホワイト バランス

色温度を調整して、より自然な画像にします。

- **Rオフセット** / **Gオフセット** / **Bオフセット**:各色 (赤、緑、赤) の暗さを調整します。
- **Rゲイン** / **Gゲイン** / **Bゲイン**:各色 (赤、緑、赤) の明るさを調整します。
- **リセット**: **ホワイト バランス**をデフォルトの設定に戻します。

4.6.9 10p ホワイト バランス (オフ / オン):

赤、緑、青の明るさを調整することで、10 ポイント 間隔でホワイト バランスを制御します。

- **間隔**:調整する間隔を選択します。
- **赤**赤のレベルを調整します。
- **緑**緑のレベルを調整します。
- **青**青のレベルを調整します。
- **リセット**:**10p ホワイト バランス**をデフォルトの設定に戻します。

- **映像モード**が**動画**に設定されているとき、および外部入力が全入力に設定されている場合に使用できます。
- 外部機器によっては、本機能に対応していないものがあります。

4.6.10 鮮明

肌色を鮮明に強調します。

4.6.11 輪郭強調 (オン / オフ)

物体の境界を強調します。

4.6.12 動画画面の明るさ調整 (オン / オフ)

動画表示中に画面の明るさを下げて消費電力を抑えます。

4.6.13 LED Motion Plus (オン / オフ)

急な動きの多い映像からぼやけや揺れを除去し、より鮮明な映像を表示します。

4.7 映像オプション

MENU → 映像 → 映像オプション → ENTER

上下の矢印キーを使用してオプションを選択し、[]を押してください。矢印キーを使用して設定を変更し、[]を押します。

PC を接続する場合、変更できるのは色調のみです。

4.7.1 色調

- オフ / 寒色系 / 標準 / 暖色系1 / 暖色系2

- 暖色系1 または 暖色系2 は、映像モードが動的の場合には無効になります。
- 本製品の入力に接続されている各外部機器の設定を調整したり保存することができます。

4.7.2 Color Temp.

色温度 (赤 / 緑 / 青) を調整します。(範囲: 3000K-15000K)

この機能は、色調 が オフ に設定されている場合にのみ有効になります。

4.7.3 デジタル ノイズ フィルタ

本製品の受信放送電波が弱い場合、デジタル ノイズ フィルタ機能を起動して画面上の雑音やゴースト発生を軽減することができます。

- オフ / 低 / 中 / 高 / 自動

電波が弱い場合、本製品の画像表示が良くなるまですべてのオプションをお試しください。

4.7.4 MPEG ノイズ フィルタ

MPEG のノイズを低減して画質を向上します。

- **オフ** / **低** / **中** / **高** / **自動**

4.7.5 HDMI 階調レベル

階調レベルを選択することによって画面の奥行きを調整できます。

- **標準** / **低**

HDMI モードでのみ使用できます。

4.7.6 フィルムモード

自動的にすべてのソースからの映像信号を検知して処理し、最適な画質に調整するように本製品を設定します。

- **オフ** / **自動1** / **自動2**

AV、コンポーネント (480i / 1080i) および HDMI (480i / 1080i) で使用できます。

4.7.7 Motion Plus

急な動きの多い映像からぼやけや揺れを除去し、より鮮明な映像を表示します。

- メニュー名は国によって異なる場合があります。
- 本機能は、**ME55A**, **UE46A** および **UE55A** モデルでのみ利用可能です。

この機能は、動きの速い映像を視聴するために使用することができます。

- **オフ**: Motion Plusをオフにします。
- **クリア** : Motion Plusを**クリア**モードに設定します (鮮明な動画を視聴することができます)。
- **標準**: Motion Plusを**標準**モードに設定します。
- **スムーズ** : Motion Plusを**スムーズ** モードに設定します (自然な動きの映像を視聴することができます)。
- **カスタム** : 残像や揺れを低減するために使用します。
- **デモ**: Motion Plusの効果を確認できます (Motion Plusが**オン**に設定されていると、画面の左半分に映像が表示されます)。
- **不鮮明さの軽減** : 残像を低減するために使用します。

  Motion Plusが **カスタム** に設定されている場合にのみサポートされます。
- **ジャダ軽減** : 揺れを低減するために使用します。

  Motion Plusが **カスタム** に設定されている場合にのみサポートされます。

- リセット: Motion Plus設定をデフォルト値に復元します。

  - 本オプションによって、画面上の色が変わることがあります。
  - PIP がオンに設定されている時には使用することができません。

4.8 映像のリセット

MENU → 映像 → 映像のリセット → ENTER

現在の映像モードをデフォルトの設定に戻します。

5 音声調整

製品の音声 (**サウンド**) を設定します。

5.1 サウンド モード

MENU → **サウンド** → **サウンド モード** → ENTER

上下の矢印キーを使用してオプションを選択し、[] を押してください。

- **標準**: 標準サウンド モードを選択します。
- **音楽**: 音声よりも音楽が強調されます。
- **動画**:動画に最適な音声を使用します。
- **音声を明瞭にする**:音声がその他の音よりも強調されます。
- **アンプ**:高周波音の強さを上げて、聴覚障害者にも聞き取りやすい音声を提供します。

スピーカーの選択 が **外部** に設定されている場合、**サウンド モード**は無効になります。

5 音声調整

5.2 サウンド効果

MENU → サウンド → サウンド効果 → ENTER

- スピーカーの選択 が 外部 に設定されている場合、サウンド効果は無効になります。
- サウンド モードが標準 に設定されている時にのみ使用することができます。

- SRS TruSurround HD (オフ / オン)

  この機能は、HRTF (頭部伝達関数) 技術を使用し、2 つのスピーカーを通じて仮想 5.1ch サラウンド サウンドを提供します。

- SRS TruDialog (オフ / オン)

  この機能は、BGM や効果音よりも音声を強くして、会話を聞きやすくします。

- SRS CS Headphone (オフ / オン)

  ヘッドホンで仮想 5.1ch サラウンド サウンドを聞くことができます。

- イコライザ

  イコライザは、複数のスライダを表示します。上下の矢印キーを使用してスライダを選択します。左右の矢印キーを使用してスライダの値を変更します。リセット をイコライザするには、リセットを選択して [↵] を押し、はいを選択して [↵] を押します。イコライザを閉じるには、閉じるを選択し、[↵] を押します。

  イコライザ は標準サウンド モードのみで使用可能です。

  - バランス 左/右:左右のスピーカー間のバランスを調整します。
  - 100Hz / 300Hz / 1kHz / 3kHz / 10kHz (帯域幅の調整):特定の帯域幅の周波数のレベルを調整します。
  - リセット:イコライザをデフォルト設定に戻します。

5.3 3D オーディオ (UE46A & UE55A モデルのみ)

MENU → サウンド → 3D オーディオ → ENTER

本機能は、ME55A, UE46およびUE55Aモデルのみ利用かのうです。

5.3.1 3D オーディオ (オフ / 低 / 中 / 高)

3D 音響技術によって音声の奥行きを制御し、3D 映像の立体的効果に対応する体感型音響が実現されています。

- 3D 映像を視聴しているときにのみ使用できます。

5 音声調整

5.4 スピーカーの設定

MENU → サウンド → スピーカーの設定 → ENTER

- スピーカーの選択 (外部 / 内部)

  外部受信機を通じて放送や映画のサウンド トラックを聞いているときに、本製品のスピーカーとオーディオ受信機に取り付けられているスピーカーとの復号速度差によって生じる反響が聞こえる場合があります。このような症状が起きたときには、本製品の設定を外部に変更してください。

  - スピーカーの選択 を外部に設定した場合、本製品のスピーカーはオフになっています。この設定では外部スピーカーからのみ音声が聞こえます。外部スピーカーが接続されているときにスピーカーの選択 が内部に設定されていると、音声が外部スピーカーのみから聞こえるようになります。
  - 映像信号がない場合、本製品のスピーカーと外部スピーカーは両方とも消音状態になります。

- 自動音量調節 (オフ / 標準 / 夜間)

  標準設定では、各チャンネルの音量レベルが均一になるため、チャンネルを変更しても音量レベルは変わりません。

  夜間 設定では、各チャンネルの音量レベルを均一にして下げるため、各チャンネルの音量が静かになります。夜間 設定は、夜間など音量を下げてご利用になりたいときに便利です。

  接続されている入力機器の音量調節を使用するには、自動音量調節 をオフに設定してください。自動音量調節 が標準または 夜間 に設定されていると、接続されている入力機器の音量調節機能への変更が適用されない場合があります。

5.5 サウンド リセット

MENU → サウンド → サウンド リセット → ENTER

すべての音声設定を工場出荷時の設定に戻します。サウンド リセット を選択して ENTER[↵] を押し、ポップアップ画面ではいを選択して ENTER[↵] をもう一度押します。

6 メディア

6.1 MagicInfo Lite

MENU → メディア → MagicInfo Lite → ENTER[↵]

リモコンの MagicInfo Lite ボタンを押します。

6.1.1 MagicInfo Lite プレイヤー ガイド

MagicInfo Lite プレイヤーを使って、コンテンツ (画像、動画、文書ファイル) をお好きな時間に再生することができます。

内部メモリまたは USB メモリに保存されたコンテンツを再生できます。ネットワークに接続すると、MagicInfo Lite サーバーを通してコンテンツを再生することも可能です。

MagicInfo Lite サーバーの使い方についての詳細は、MagicInfo Lite サーバーのユーザー マニュアルをご参照ください。

6.2 ビデオ

MENU → メディア → ビデオ → ENTER[↵]

USB デバイスを接続する

1 製品の電源をオンにします。

2 写真や音楽、動画ファイルが含まれている USB デバイスを、本製品の裏側または側面パネルにある USB ポートに接続します。

3 USB デバイスが本製品に接続されると、**デバイスが接続されました** 画面が表示されます。接続されているデバイスを選択して [↵] を押します。

6.2.1 動画を再生する

1 ◀/▶/▲/▼ ボタンを押してファイル リストの中から目的の動画を選択します。

2 [↵] ボタンまたは [▶] (再生) ボタンを押します。

- ファイル名が再生時間とともに上に表示されます。
- 動画の再生時間の情報がない場合、再生時間とプログレス バーが表示されません。
- 動画再生中に、◀ ボタンや ▶ ボタンを使用して検索することができます。
- 再生中に、リモコンの下部にある [◀◀] (巻き戻し)、[▶▶] (早送り)、一時停止、停止、および再生ボタンを使用することができます。
- 動画を終了するには、**RETURN** ボタンを押してください。
- USB デバイスのコンテンツを再生中に **MENU** ボタンを押すと、再生が停止し以前の入力モードに復帰します。

対応している動画字幕形式 (言語字幕など)

名前	ファイル拡張子	形式
MPEG-4 Timed Text	.ttxt	XML
SAMI	smi	HTML
SubRip	.srt	文字列基準
SubViewer	.sub	文字列基準
Micro DVD	.sub または .txt	文字列基準

対応している動画形式

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
*.avi *.mkv	AVI MKV	DivX 3.11 / 4.x / 5.1 / 6.0	1920x1080	6 ~ 30	8	MP3 / AC3/ LPCM / ADPCM / DTS コア
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
		Motion JPEG	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.asf	ASF	DivX 3.11 / 4.x / 5.1 / 6.0	1920x1080	6 ~ 30	8	MP3 / AC3 / LPCM / ADPCM / WMA
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
		Motion JPEG	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.wmv	ASF	Window Media Video v9	1920x1080	6 ~ 30	25	WMA
*.mp4	MP4	H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	MP3 / ADPCM / AAC
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.3gp	3GPP	H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	ADPCM / AAC / HE-AAC
		HD MPEG-4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.vro	VRO VOB	MPEG1	352x288	24 / 25 / 30	30	AC3 / MPEG / LPCM
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	
*.mpg *.mpeg	PS	MPEG1	352x288	24 / 25 / 30	30	AC3 / MPEG / LPCM / AAC
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	
		H.264	1920x1080	6 ~ 30	25	
*.ts *.tp *.trp	TS	MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	AC3 / AAC /MP3 / DD+ / HE-AAC
		H.264	1920x1080	6 ~ 30	25	
		VC1	1920x1080	6 ~ 30	25	

- コンテンツまたはコンテナにエラーがある場合、動画コンテンツは再生できないか、再生できても正常に再生されません。

- 上表に記載の対応 fps を超える標準ビット レート / フレーム レートで再生されるコンテンツの場合、音声または動画の再生ができないことがあります。
- インデックス テーブルにエラーがある場合、シーク (ジャンプ) 機能が使用できません。
- ネットワーク接続を通じて動画を再生中にファイルのカクつきが生じる場合があります。
- 1 ファイル内に複数コンテンツが含まれている場合、動画コンテンツを再生することができません。
- ネットワーク接続を通じて動画を再生する場合、動画がなめらかに再生されないことがあります。
- 動画のビット レートが 10Mbps を超える場合、メニューが表示されるまでに時間がかかることがあります。
- USB / デジタル カメラ デバイスによっては、プレイヤーに対応していないものがあります。

ビデオ デコーダ	オーディオ デコーダ
H.264、レベル 4.1 まで対応 H.264 FMO / ASO / RS, VC1 SP / MP / AP L4 および AVCHD は非対応。 MPEG4 SP、ASP の動作条件 • 1280 x 720 以下:最大 60 フレーム • 1280 x 720 以上:最大 30 フレーム GMC 2 以上には非対応。	WMA 7、8、9、STD まで対応 WMA 9 PRO は 2 チャンネル以上のマルチチャンネルやロスなし音声には非対応。 WMA サンプリング レート 22050Hz mono には非対応。 RealAudio 10 ロスなし には非対応。

連続再生機能を使う (再生再開)

動画を再生中に閉じると、次回再生時には停止した時点から動画を再生することができます。

再開機能は複数ユーザーではご使用できません。(最後に使用したユーザーが再生を停止した時点のみを記憶しています。)

1 ◀ または ▶ ボタンを押して途中停止した再開対象の動画ファイルを選択します。

2 [▶] (再生) または [↵] ボタンを押します。

3 コントロール パネルの再開アイコンを押して再生を再開します。停止した箇所から動画が再開されます。

再開は、停止した再開対象の動画がある場合にのみご使用できます。

シーンの検索機能を使う

シーンの検索は、動画の再生中に動画を 5 つのチャプターに分けます。分割後、選択したチャプターから再生することができます。

インデックス情報が壊れていたりサポートされていない場合は、**シーンの検索**機能をお使いになれません。

1 ファイル リストから再生する動画ファイルを選択します。

2 [▶] (再生) または [↵] ボタンを押します。

3 TOOLS ボタンを押し、◀ または ▶ ボタンを押して**シーンの検索**を選択します。ポップアップ画面が表示されます。

4 ◀ または ▶ ボタンを押して視聴したいチャプターを選択します。選択したチャプターから動画が再生されます。

6.3 写真

MENU → メディア → 写真 → ENTER[↵]

USB デバイスを接続する

1 製品の電源をオンにします。

2 写真や音楽、動画ファイルが含まれている USB デバイスを、本製品の裏側または側面パネルにある USB ポートに接続します。

3 USB デバイスが本製品に接続されると、**デバイスが接続されました** 画面が表示されます。接続されているデバイスを選択して [↵] を押します。

6.3.1 写真（または スライド ショー）を見る

1 ◀/▶/▲/▼ ボタンを押してファイル リストの中から目的のファイルを選択します。

2 [↵]ボタンを押します。

- 手動で 1 ファイルずつ見るには、左右の矢印ボタンを押してください。
- スライドショーを開始するには、選択したファイルが表示されたときに [▶] (再生) ボタンを押してください。
- スライドショー再生中は、ファイル リスト内のすべてのファイルが選択したファイルから順番に表示されます。

- ファイル リストの [▶] (再生) ボタンを押すと、スライドショーがすぐに開始されます。
- **スライド ショー** 再生中は、**TOOLS** ボタンを押すと**スライド ショー速度**、**BGM 設定**、**ズーム**、**回転**などの追加機能を使用することができます。
- USB デバイスまたは PC 上に音楽ファイルが保存されている場合、**ツール**メニューの **BGM 設定** を**オン**に設定して再生する音楽ファイルを選択すると、スライドショーに BGM を追加することができます。
- **BGM 設定** は BGM が完全に読み込まれるまで変更することはできません。
- スライドショー再生中に、リモコンの下部にある一時停止、停止、および再生ボタンを使用することができます。
- 停止または戻るボタンを押すとスライドショーが停止し、写真のメイン メニューが再び表示されます。
- USB デバイスのコンテンツを再生中に **MENU** ボタンを押すと、再生が停止し以前の入力モードに復帰します。

6.4 音楽

MENU → メディア → 音楽 → ENTER[↵]

USB デバイスを接続する

1. 製品の電源をオンにします。
2. 写真や音楽、動画ファイルが含まれている USB デバイスを、本製品の裏側または側面パネルにある USB ポートに接続します。
3. USB デバイスが本製品に接続されると、**デバイスが接続されました** 画面が表示されます。接続されているデバイスを選択して [↵] を押します。

6.4.1 音楽を再生する

1. ◀/▶/▲/▼ ボタンを押してファイル リストの中から目的の音楽ファイルを選択します。
2. [↵] ボタンまたは [▶] (再生) ボタンを押します。
   - 音楽再生中に [◀◀] (巻き戻し) および [▶▶] (早送り) ボタンを使用して検索することができます。

- MP3 ファイルを再生したときに音声に異常がある場合、音声メニューのイコライザで調整してください。(過変調 MP3 ファイルの場合、音声再生異常が生じることがあります。)
- USB デバイスのコンテンツを再生中に MENU ボタンを押すと、再生が停止し以前の入力モードに復帰します。

マイ再生リストを作成する

1. **音楽**画面で ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して**編集モード**を選択し、[↵] ボタンを押します。
   - チェック ボックスが各ファイルの左側に表示されます。
2. ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して追加したいトラックを選択し、[↵] ボタンを押します。
   - チェック ボックス内にチェックが表示されます。
3. ステップ 2 を繰り返して追加するトラックを選択します。
   - 現在のページに表示されているすべてのファイルを選択する場合、ページのトップにある**すべて選択**を選択して [↵] を押してください。
4. ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して**マイ再生リストに追加**を選択します。
   - **再生リストをクリア**を選択すると**マイ再生リスト**がデフォルトの再生リストに戻り、追加したトラックがすべて削除されますのでご注意ください。
5. [↵]ボタンを押します。"**選択したアイテムをマイ再生リストに追加しました。**" というメッセージが表示されます。
6. 新規に作成された再生リストまたは更新された再生リストは、**音楽**のメインページにあります。

マイ再生リストのトラックを再生する

マイ再生リストフォルダを選択すると自動的に再生リストのトラックが再生されます。▲ または ▼ ボタンを押すと、再生リスト内のほかの音楽ファイルを再生することができます。

マイ再生リストからファイルを削除する場合、削除するファイルのとなりにあるごみ箱アイコンを方向ボタンで選択し、[↵] を押してください。ファイルが**マイ再生リスト**から削除されます。

選択した音楽ファイルを再生する

1. **音楽**画面で ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して画面右端にある**編集モード**を選択し、[↵] ボタンを押します。
2. ◀/▶/▲/▼ ボタンを押してファイル リストの中から目的の音楽ファイルを選択し、[↵] ボタンを押します。
   - 選択したファイルの左側に ✓ マークが表示されます。
3. ステップ 2 を繰り返して追加するトラックを選択します。
   - 現在のページに表示されているすべてのファイルを選択する場合、ページのトップにある**すべて選択**を選択してください。
   - 選択を取り消すには、[↵] ボタンをもう一度押してください。
4. ◀/▶/▲/▼ ボタンを押して画面下側にある**再生**を選択し、[↵] を押します。選択した音楽ファイルが再生されます。

6.5 ビデオ / 写真 / 音楽 – 追加機能

6.5.1 ファイル リストを並べ替え

ファイル リスト内のファイルを並べ替えるには、◀/▶/▲/▼ ボタンを使用して画面右上の (**並べ替え**) アイコンを選択します。選択した後、[] ボタンを押してください。各種メディアに対して適用される並び替え項目は下表のとおりです。

並び替え項目	ご使用の際の注意事項	ビデオ	写真	音楽
フォルダ ビュー	フォルダ全体を表示します。フォルダを選択するとファイル名とサムネイルが表示されます。	✓	✓	✓
タイトル	記号、数字、アルファベット、特殊文字の順番でファイル名を並び替え、表示します。	✓	✓	✓
日付の遅い順	日付の新しい順番にファイルを並び替えて表示します。	✓	✓	
日付の早い順	日付の古い順番にファイルを並び替えて表示します。	✓	✓	
月ごと	月ごとに写真ファイルを並び替えて表示します。		✓	
アーティスト	アーティストごとに音楽ファイルをアルファベット順に並び替えます。			✓
アルバム	アルバムごとに音楽ファイルをアルファベット順に並び替えます。			✓
ジャンル	ジャンルごとに音楽ファイルを並び替えます。			✓

6.5.2 ビデオ/写真/音楽の再生オプション メニュー

ビデオまたは写真ファイルの再生中に TOOLS ボタンを押すと、オプション メニューが表示されます。

使用できるオプションと各オプションが対応するメディアの一覧を以下に示します。

オプション名	ご使用の際の注意事項	ビデオ	写真	音楽
一覧	ファイル リストに戻ります。	✓	✓	✓
再生 / 一時停止	開始または停止します。または、リモコンの ▶(再生) または ❚❚(一時停止) ボタンを使用することもできます。	✓		✓
前へ / 次へ	前または次の写真ファイルに移動します。		✓	
シャッフル	ミュージックを連続にまたはシャッフルして再生します。			✓
再開	停止した個所から動画を再開します。	✓		
シーンの検索	再生中にシーンの検索機能を使うことにより、選択したシーンから動画を表示または開始できます。	✓		
タイトルで検索	別のタイトルに直接移動できます。	✓		
時刻で検索	◀と▶ボタンを使って動画を 1 分間隔でサーチできます。	✓		
字幕	字幕を表示します。複数の言語による字幕が含まれている場合には、言語の選択ができます。	✓		
繰り返しモード	動画およびミュージック ファイルを繰り返し再生します。	✓		✓
画像サイズ	画像サイズを好みに応じて調整できます。	✓		
映像モード	映像モードを変更できます。	✓	✓	
サウンド モード	サウンド モードを変更できます。	✓	✓	✓
オーディオ言語	サポートされている言語のひとつを選んでビデオを視聴できます。この機能は複数のオーディオ形式をサポートするストリーム形式ファイルの再生時のみ有効となります。	✓		
字幕設定	字幕設定を表示します。字幕に関するオプションを設定できます。	✓		

オプション名	ご使用の際の注意事項	ビデオ	写真	音楽
スライド ショーの開始 / スライド ショーの停止	スライド ショーを開始または停止します。または、リモコンの ▶ または II ボタンを使用することもできます。		✓	
スライド ショー速度	スライド ショーの表示速度を選択できます。または、リモコンの ◀◀ または ▶▶ ボタンを使用することもできます。		✓	
スライド ショー効果	様々なスライド ショー効果を選択できます。		✓	
BGM オン / オフ	BGM を開始または停止します。		✓	
BGM 設定	写真ファイルまたはスライド ショーを表示する際の BGM を選択および設定できます。		✓	
ズーム	全画面表示モードで映像を拡大します。		✓	
回転	映像を回転させます。		✓	

- デバイス名を選択した状態で INFO ボタンを押すと、そのデバイスの情報が表示されます。
- ファイルを選択した状態で INFO ボタンを押すと、そのファイルの情報が表示されます。

6.6 入力ソース

MENU → メディア → 入力ソース → ENTER[↵]

入力ソース で入力信号を選択して、入力信号デバイス名を変更することができます。

6.6.1 入力ソース

本製品に接続された入力信号デバイスの画面を表示させることができます。外部入力から入力信号を選択して、選択した入力信号デバイスの画面を表示します。

リモコンの SOURCE ボタンを使用して入力ソースを変更することもできます。

変換したい入力信号デバイスに誤った入力信号を選択すると、画面に正しく表示されない場合があります。

6.6.2 名前の編集

MENU → メディア → 入力ソース → TOOLS → 名前の編集 → ENTER[↵]

接続している入力信号デバイスの名前を変更することができます。

- 入力信号デバイスの名前を 名前の編集 で指定しておかないと、画面に正しく表示されないことがあります。最適な画質を得るため、名前の編集 で入力信号デバイスの名前を変更しておくことをお勧めします。

  リストには、次の入力信号デバイスが含まれます。一覧に表示される入力信号デバイスは、選択した入力信号によって異なります。

  - VCR / DVD / ケーブル STB / 衛星放送向け STB / PVR STB / AV 受信機 / ゲーム / カムコーダ / PC / DVI PC / DVI デバイス / TV / IPTV / Blu-ray / HD DVD / DMA

映像 メニュー内の利用可能な設定は、名前の編集 で設定した現在の入力信号および設定内容によって異なります。

- HDMI ケーブルを使って PC を HDMI IN ポートに接続するときは、名前の編集で PC モードに設定します。
- HDMI-DVI 変換ケーブルを使って PC を HDMI IN ポートに接続するときは、名前の編集で DVI PC モードに設定します。
- HDMI-DVI 変換ケーブルを使って AV 装置を HDMI IN ポートに接続するときは、名前の編集で DVI デバイスモードに設定します。

6.6.3 情報

MENU → メディア → 入力ソース → TOOLS → 情報 → ENTER[↵]

選択した外部装置に関する詳細情報を表示します。

6.6.4 更新

MENU → メディア → 入力ソース → TOOLS → 更新 → ENTER[↵]

入力ソースに外部装置が表示されない場合は、TOOLS ボタンを押して更新を選択してください。接続中の装置を検索します。

6 メディア

6.7 AllShare

MENU → メディア → AllShare → ENTER[↵]

AllShare により、ネットワークを通じて製品と Samsung 互換携帯電話 / 装置が接続されます。製品からネットワークを通じて携帯電話その他の装置 (PC など) を制御して、それらに保存されているビデオ、写真、音楽などのメディア コンテンツを再生できます。

- 詳細については、www.samsung.com を参照するか、または Samsung コール センターまでお問い合わせください。携帯デバイスに追加ソフトウェアのインストールが必要な場合があります。詳しくは各装置のユーザー ガイドを参照してください。
- Samsung 製品を Samsung 製以外の DLNA サーバーに接続すると、ビデオ再生中に互換性問題が発生することがあります。
- AllShare を使って Samsung 製品をネットワークに接続することにより、Samsung 独自の以下の機能を使用できます。
  - 多様なビデオ フォーマットの再生 (DivX、MP4、3GPP、AVI、ASF、MKV など)
  - ビデオ縮小表示機能
  - ブックマーク機能 (前回中断個所からのビデオ再生の再開)
  - 自動チャプタリング (シーン ナビゲーション)
  - デジタル コンテンツ管理
  - 様々な字幕フォーマットに対応 (SRT、SMI、SUB、TXT、TTXT)
  - ファイル名による検索
  - その他多数
- Samsung が提供する本来の DLNA 機能を使えるようにするため、製品に付属の AllShare ソフトウェアをご使用になることをお奨めします。

AllShare 設定 メニューの詳細については、138ページ を参照してください。

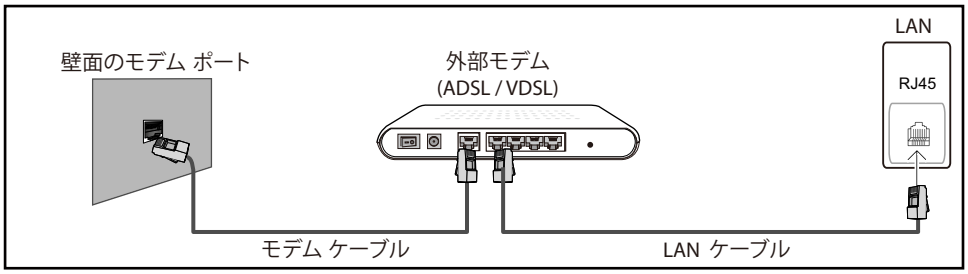
7 ネットワーク

7.1 ネットワーク設定

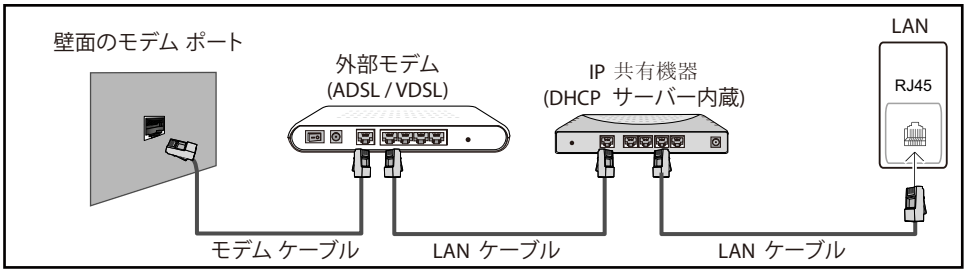
7.1.1 有線ネットワークに接続する

ケーブル経由で本製品を LAN に接続する方法として、以下の 3 つの方法があります。

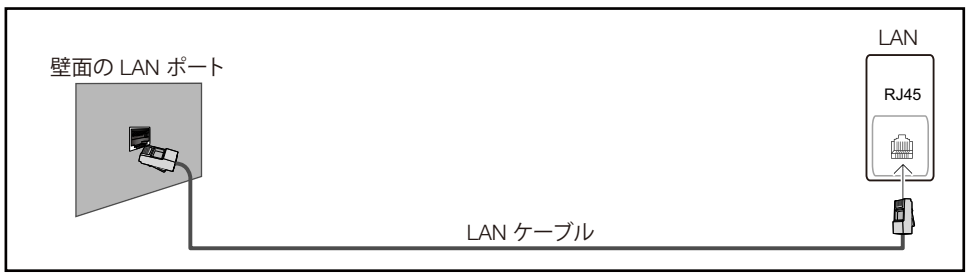
- LAN ケーブルを使用して本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムとを接続し、本製品を LAN に接続します。下図を参照してください。



- 本製品の背面にある LAN ポートと外部モデムに接続されている IP 共有機とを接続し、本製品を LAN に接続します。接続には LAN ケーブルをご使用ください。下図を参照してください。



- ご使用のネットワーク構成によっては、LAN ケーブルを使用して直接本製品の背面にある LAN ポートと壁にあるネットワーク接続用の差し込み口とを接続し、本製品を LAN に接続することができます。下図を参照してください。壁にあるネットワーク接続用の差し込み口は、ご自宅のモデムまたはルーターに接続されています。



- 動的ネットワークをご使用の場合は、DHCP (動的ホスト設定プロトコル) に対応している ADSL モデムやルーターを使用してください。DHCP に対応しているモデムやルーターをご使用の場合、本製品がインターネットに接続するために必要な IP アドレス、サブネット マスク、ゲート

ウェイ、および DNS 値は自動的に取得されるため、手動で入力する必要がありません。ホームネットワークのほとんどは動的ネットワークです。

ネットワークによっては固定 IP アドレスを必要とするものもあります。固定 IP アドレスを必要とする場合、ネットワーク接続をセットアップする際に、本製品のケーブル設定画面から IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、および DNS 値を手動で入力する必要があります。IP アドレス、サブネット マスク、ゲートウェイ、および DNS 値は、ご契約のインターネット サービス プロバイダ (ISP) にお問い合わせの上、入手してください。Windows コンピュータをご使用の場合、コンピュータからこれらの設定値を入手することもできます。

ご使用のネットワークが固定 IP アドレスを必要とする場合、DHCP 対応の ADSL モデムを使用することも可能です。DHCP 対応の ADSL モデムでは固定 IP アドレスもご使用になれます。

7.1.2 有線ネットワーク設定

MENU → ネットワーク →ネットワーク設定 → ENTER

AllShare など種々のインターネット サービスおよびソフトウェア アップグレードで使用するネットワーク接続を設定します。

自動ネットワーク設定

DHCP をサポートするネットワークに製品を接続するときは、自動ネットワーク設定を使用します。製品のケーブル ネットワーク接続を自動で設定するには、次の手順を行ってください。

自動セットアップの方法

1. ネットワーク設定画面に移動します。
2. 有線を選択し、[↵]を押して、次に[↵]をもう一度押します。
3. ネットワーク テスト画面が表示されるので、ネットワーク接続を確認します。接続が確立していれば、「インターネットは正常に接続されています。」というメッセージが表示されます。

- 接続プロセスが失敗するときは、LAN ポートの接続を確認してください。

- 自動プロセスでネットワーク接続値を検出できない場合、または接続を手動で設定したい場合は、次の手動ネットワーク設定のセクションに進んでください。

手動ネットワーク設定

静的 IP アドレスを必要とするネットワークに製品を接続するときは、手動ネットワーク設定を使用します。

ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

1. 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。
2. ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。
3. ダイアログが表示されるので、サポート タブをクリックします。
4. サポート タブで詳細ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

手動セットアップの方法

製品のケーブル ネットワーク接続を手動で設定するには、次の手順を行ってください。

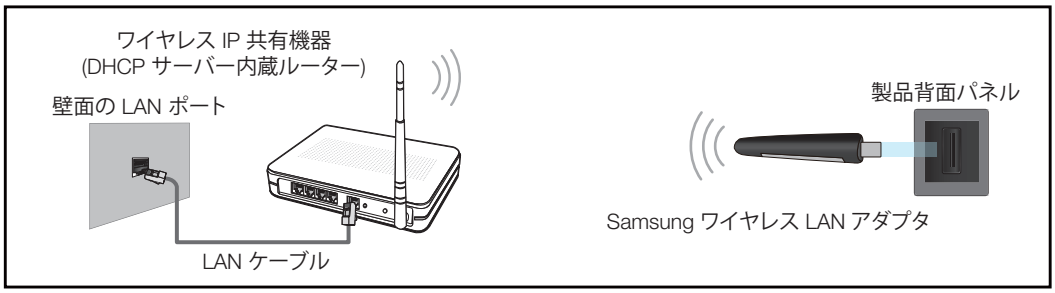
1. **ネットワーク設定**画面に移動します。
2. **有線**を選択し、[↵]を押して、次に[↵]をもう一度押します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。
3. [↵] を押します。検証プロセスが停止します。ネットワーク接続画面で**IP 設定**を選択します。**IP 設定**画面が表示されます。
4. 上部にあるフィールドを選択して[↵]を押し、次に **IP モード**を**手動**に設定します。
5. リモコンの▼ボタンを押して IP アドレス入力フィールドし、次に[↵]を押します。
6. リモコンの数字キーを使用して最初の入力フィールドに**IP アドレス**の最初の部分 (105 など) を入力します。右矢印ボタンを押して次のフィールドに移動します。
7. **IP アドレス**の次の部分を入力します。右矢印ボタンを押して次のフィールドに移動します。
8. **IP アドレス**のすべてのフィールドに対してこの入力プロセスを繰り返します。

   入力する数字を間違えたときは、正しい数字を入力し直します。また、上下の矢印キーを押す度に数値が 1 ずつ変わります。

9. **IP アドレス**を入力したら、[↵]を押します。
10. 下矢印キーを押して**サブネット マスク** フィールドに移動し、[↵]を押します。
11. **サブネット マスク**、**ゲートウェイ**、および**DNS サーバー**についても、この入力プロセスを繰り返します。
12. 入力したら、ページ下部の **OK** を選択して、次に [↵] を押します。ネットワーク テスト画面が表示され、検証プロセスが開始されます。接続が確立していれば、「インターネットに接続しています」というメッセージが表示されます。

7.1.3 ワイヤレス ネットワークに接続する

本製品をワイヤレス ネットワークに接続するには、ワイヤレス ルーターかモデム、および Samsung ワイヤレス LAN アダプタ (WIS09ABGN、WIS09ABGN2、または WIS10ABGN - 別売り) が必要です。本製品の背面パネルまたは側面パネルにある USB ポートにアダプタを接続します。下図を参照してください。



別売りの Samsung 製のワイヤレス LAN アダプタは、指定販売店、オンライン ショップ、および Samsungparts.com でお求めいただけます。Samsung 製ワイヤレス LAN アダプタは IEEE 802.11a/b/g/n の通信プロトコルに準拠しています。Samsung では、IEEE 802.11n のご使用をお勧めしています。ネットワーク接続を通じて動画を再生する場合、動画がなめらかに再生されないことがあります。

- ワイヤレス ネットワークをご利用になる際には、必ず "Samsung ワイヤレス LAN アダプタ" (WIS09ABGN、WIS09ABGN2、または WIS10ABGN) をお使いください。
- Samsung ワイヤレス LAN アダプタと USB 延長ケーブルは別売りです。指定販売店、オンライン ショップ、および Samsungparts.com でお求めください。
- ワイヤレス ネットワークを使用するには、本製品をワイヤレス IP 共有機 (ルーターまたはモデム) に接続する必要があります。DHCP 対応のワイヤレス IP 共有機をご使用の場合、DHCP または固定の IP アドレスを利用して本製品をワイヤレス ネットワークに接続することができます。
- 未使用のチャンネルをワイヤレス IP 共有機に割り当ててください。ワイヤレス IP 共有機に割り当てたチャンネルが別の周辺機器によって使用されている場合、競合による通信障害が生じます。
- 本製品が対応しているワイヤレス ネットワークのセキュリティ プロトコルは以下のとおりです。
  - 認証方式:WEP、WPAPSK、WPA2PSK
  - 暗号化方式:WEP、TKIP、AES
- Pure High-throughput (Greenfield) 802.11n モードを選択し、お使いのアクセス ポイント ルーターまたはワイヤレス ルーターの暗号化方式が WEP、TKIP または TKIP AES (WPS2Mixed) に設定されている場合でも、Samsung 製品は最新 Wi-Fi 認証規格に準拠した接続には対応していません。
- ご使用のワイヤレス ルーターが WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応している場合、PBC (プッシュボタン) または PIN (個人暗証番号) を利用してネットワークに接続することができます。どちらの接続方式を利用しても、WPS は自動的に SSID と WPA キーを設定します。
- ご使用のルーター、モデム、または機器が認証されていない場合、"Samsung ワイヤレス LAN アダプタ" を介して本製品に接続できないことがあります。

- Samsung ワイヤレス LAN アダプタを接続する前に、本製品の電源がオンになっていることを確認してください。
- 接続方法:ワイヤレス ネットワーク接続をセットアップするには、以下の 5 つの方法があります。
  - 自動設定 (自動ネットワーク検索機能を使う)
  - 手動設定
  - アドホック
  - WPS(PBC)
  - One Foot Connection
- USB ハブや本製品に付属の USB 延長ケーブル以外のケーブルを使用して本製品と Samsung ワイヤレス LAN アダプタを接続した場合、本製品が Samsung ワイヤレス LAN アダプタを認識しないことがあります。

7.1.4 無線ネットワーク設定

自動ネットワーク設定

ほとんどのワイヤレス ネットワークはネットワークにアクセスする装置を必要とするセキュリティ システムを選択肢として備え、アクセス キーまたはセキュリティ キーと呼ばれる暗号化セキュリティ コードを伝送します。このセキュリティ キーはパス フレーズに基づいていて、ワイヤレス ネットワークのセキュリティ設定の際に、一般に単語または一連の文字および特定の長さの数字を入力するように要求されます。この方法のネットワーク接続設定を使用し、かつワイヤレス ネットワークにセキュリティ キーが用いられている場合には、自動または手動設定プロセス中にパスフレーズを入力する必要があります。

自動セットアップの方法

1. ネットワーク設定画面に移動します。
2. ワイヤレス (一般)を選択し、[↵]を押して、次に[↵]をもう一度押してください。
3. ネットワーク機能により、使用可能なワイヤレス ネットワークが検索されます。検索が完了すると、使用可能なネットワークの一覧が表示されます。
4. この一覧の中から、▲または▼ボタンを使ってネットワークを選択し、次に[↵]ボタンを 2 回押します。

   ワイヤレス ルーターをステルス (不可視) に設定している場合は、ネットワークの追加を選択し、正確なネットワーク名 (SSID)とセキュリティ キーを入力して接続を確立する必要があります。

5. セキュリティ キー入力画面が表示されるのでステップ 6 に進むか、またはセキュリティのないワイヤレス ルーターを選んだ場合にはステップ 8 に進んでください。
6. ルーターにセキュリティがある場合は、セキュリティ キー (セキュリティ キーまたは PIN) を入力します。

   - セキュリティ キー (セキュリティ キーまたは PIN) の入力には、リモコンの◀/▶/▲/▼ボタンを使って数字 / 文字を選択します。[↵] ボタンを押すと文字が入力されます。

- リモコンの数字ボタンを押すことでも数字を入力できます。

7 入力したら、右矢印ボタンを使ってカーソルを**次へ**に移動させ、[↵] を押します。

8 ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。接続が確立していれば、「インターネットに接続しています」というメッセージが表示されます。

- ネットワークが**セキュリティ キー**（**セキュリティ キー**または **PIN**）を受け付けない場合は、**再試行**を選択するか、**IP 設定**を選んで設定を手動で入力してください。
- 接続の設定を手動で行いたい場合は、**IP 設定**を選択してください。次に「手動セットアップの方法」のセクションに進んでください。

手動ネットワーク設定

静的 IP アドレスを必要とするネットワークに製品を接続する場合、または自動接続プロセスに失敗した場合は、手動**ネットワーク設定**を使用します。

ネットワーク接続値の取得

ほとんどの Windows コンピュータでネットワーク接続値を見るには、次の手順を行います。

1 画面の右下にあるネットワーク アイコンを右クリックします。

2 ポップアップ メニューが表示されるので、ステータスをクリックします。

3 ダイアログが表示されるので、サポート タブをクリックします。

4 サポート タブで詳細ボタンをクリックします。ネットワーク接続値が表示されます。

手動セットアップの方法

製品のケーブル ネットワーク接続を手動で設定するには、次の手順を行ってください。

1 **ネットワーク設定**画面に移動します。

2 **ワイヤレス（一般）**を選択し、[↵]を押して、次に[↵]をもう一度押してください。

3 **ネットワーク**機能により、使用可能なワイヤレス ネットワークが検索されます。検索が完了すると、使用可能なネットワークの一覧が表示されます。

4 この一覧の中から、▲または▼ボタンを使ってネットワークを選択し、次に[↵]ボタンを 2 回押します。

ワイヤレス ルーターをステルス（不可視）に設定している場合は、**ネットワークの追加**を選択し、正確な**ネットワーク名（SSID）**と**セキュリティ キー**を入力して接続を確立する必要があります。

5 セキュリティ キー入力画面が表示されるのでステップ 6 に進むか、またはセキュリティのないワイヤレス ルーターを選んだ場合にはステップ 8 に進んでください。

6 **セキュリティ キー**（**セキュリティ キー**または **PIN**）を入力します。

- **セキュリティ キー**（**セキュリティ キー**または **PIN**）の入力には、リモコンの◀/▶/▲/▼ボタンを使って数字 / 文字を選択します。[↵]ボタンを押すと文字が入力されます。
- リモコンの数字ボタンを押すことでも数字を入力できます。

- パスフレーズは、ルーターまたはモデムのセットアップに使用した設定画面のどれかひとつで見つかるはずです。

7 入力したら、▶ボタンを使ってカーソルを**次へ**に移動させ、[↵]を押します。

8 ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。キャンセルするときは、[↵]を押します。ネットワーク接続画面で **IP 設定**を選択します。**IP 設定**画面が表示されます。

9 上部にあるフィールドを選択して[↵]を押し、次に **IP モード**を**手動**に設定します。

10 リモコンの▼ボタンを押して **IP アドレス**入力フィールドに移動し、次に[↵]を押します。

11 リモコンの数字キーを使用して最初の入力フィールドに**IP アドレス**の最初の部分（105 など）を入力します。▶ボタンを押して次のフィールドに移動します。

12 **IP アドレス**の次の部分を入力します。▶ボタンを押して次のフィールドに移動します。

13 **IP アドレス**のすべてのフィールドに対してこの入力プロセスを繰り返します。

入力する数字を間違えたときは、正しい数字を入力し直します。また、▲または▼ボタンを押す度に数値が 1 ずつ変わります。

14 **IP アドレス**を入力したら、[↵]を押します。

15 ▼ボタンを押して**サブネット マスク**フィールドに移動し、[↵]を押します。

16 **サブネット マスク**、**ゲートウェイ**、および**DNS サーバー**についても、この入力プロセスを繰り返します。

17 入力したら、ページ下部の **OK** を選択して、次に [↵] を押します。ネットワーク接続画面が表示され、検証プロセスが開始されます。接続が確立していれば、「インターネットに接続しています」というメッセージが表示されます。

7.1.5 WPS(PBC)

WPS(PBC) による設定方法

ルーターに WPS(PBC) ボタンがある場合は、次の手順を行います。

1 **ネットワーク設定**画面に移動します。

2 WPS(PBC) を選択し、[↵]を押して、次に[↵]をもう一度押します。

3 ルーターの WPS(PBC) ボタンを 2 分以内に押します。製品が自動的に必要なすべてのネットワーク設定値を収集しネットワークへの接続を行います。

4 ネットワーク接続画面が表示され、ネットワーク設定が完了します。

7.1.6 One Foot Connection

One Foot Connection 機能は、Samsung 製品と Samsung 製ワイヤレス ルーターとを自動的に接続するものです。お持ちのワイヤレス ルーターが One Foot Connection に対応していない場合は、他の方法を使って接続を行う必要があります。

デバイスが One Foot Connection をサポートしているかどうかは、www.samsung.com でご確認いただけます。

One Foot Connection による設定方法方法

1. Samsung 製ワイヤレス ルーターと製品をオンにします。
2. ネットワーク設定画面に移動します。
3. One Foot Connection を選択し、[↵]を押して、次に[↵]をもう一度押します。
4. Place the wireless router in parallel with and no farther away than 25cm(about 9 3/4 inches) of Samsung Wireless Adapter.

   One Foot Connection が製品とルーターとを接続できなかったときは、失敗を通知するポップアップ画面が表示されます。One Foot Connection をもう一度試してみる場合は、ワイヤレス ルーターをリセットしてステップ 1 から繰り返してください。このとき他の設定方法を選ぶことも可能です。

5. ネットワーク接続画面が表示され、ネットワーク設定が完了します。
6. ワイヤレス ルーターを望ましい場所に置きます。

   ワイヤレス ルーターの設定を変更した場合、または新しいワイヤレス ルーターを導入した場合は、もう一度 One Foot Connection の手順をステップ 1 から実施してください。

プライオリティ QOS

このプライオリティ QOS 機能は Samsung 製ワイヤレス ルーターに固有の機能です。

Samsung 製ワイヤレス ルーターにはラップトップ PC、携帯電話、BD プレイヤーなど多くの装置を接続できますが、Samsung 製品を Samsung 製ワイヤレス ルーターに接続した場合、Samsung 製ワイヤレス ルーターでは Samsung 製品の接続を優先します。

これにより、最高品質のストリーミング コンテンツと最大速度によるスループットが確保されます。

- プライオリティ QOS は製品に優先的に帯域幅を与え高速化します。(プライオリティ QOS は任意選択機能であり、オン / オフの切り替えが可能です)
- Samsung 製品には優先接続権が与えられるため、バッファ処理を待つことなく HD コンテンツをお楽しみいただけます。

接続速度はネットワーク環境により変化することがあります。

7.1.7 アドホック ネットワーク設定

アドホック接続をサポートする携帯デバイスと製品とをワイヤレス ルーターまたは AP なしに接続できます。携帯デバイスと接続すると、デバイス内のファイルを使用したり、AllShare 機能やマルチメディア機能を使用してインターネットに接続することができます。

アドホックによる設定方法

1. ネットワーク設定画面に移動します。
2. ワイヤレス (一般) を選択し、[↵]を押して、次に [↵]をもう一度押します。
3. アドホックを選択します。“アドホック サービスでは、携帯電話や PC などの Wi-Fi 互換デバイスとの直接接続がサポートされます。その他のネットワーク サービスは制限されることがあります。ネットワーク接続を変更しますか?” というメッセージが表示されます。
4. OK を選択して、[↵]を押します。製品が携帯デバイスの検索を行います。
5. 携帯デバイスの検索が完了したら、生成されたネットワーク名 (SSID) とセキュリティ キーを接続したいデバイスに入力してネットワークに接続します。

- ネットワークが正常に機能しない場合は、ネットワーク名 (SSID) とセキュリティ キーを再確認してください。不正確なセキュリティ キーは故障の原因となることがあります。
- 接続されたデバイスは、ネットワーク設定リストに表示されます。次に接続するときには、このリストの中から目的のデバイスを探すことができます。

7 ネットワーク

7.2 ネットワーク ステータス

MENU → ネットワーク → ネットワーク ステータス → ENTER

現在のネットワークおよびインターネットの状態を確認できます。

7.3 AllShare 設定

MENU → ネットワーク → AllShare 設定 → ENTER

メディア (**オン** / **オフ**):メディア機能を有効または無効にします。メディア機能をオンにすると、DLNA DMC をサポートする携帯電話その他のデバイスを使用してメディア コンテンツの再生を制御できるようになります。

7.3.1 メディア

本製品の**メディア**機能を使うように設定されている携帯電話または接続デバイスのリストを表示します。

メディア機能は、DLNA DMC をサポートする全てのデバイスで使用できます。

- **許可されました** / **拒否されました**:デバイスを許可/遮断します。
- **削除**:デバイスをリストから削除します。

この機能では、リストからデバイスの名前が削除されるだけです。デバイスをオンにしたり製品への接続を試みると、削除したデバイスがリストに再度表示されることがあります。

メディア機能の使用

携帯電話からメディア コンテンツ (ビデオ、写真、音楽) が送信されることを知らせる警告ウィンドウが装置に表示されます。警告ウィンドウの表示から 3 秒後に自動的にコンテンツが再生されます。警告ウィンドウの表示中に RETURN または EXIT ボタンを押すと、メディア コンテンツは再生されません。

- デバイスがメディア機能を通じて最初に製品にアクセスした場合には、警告ポップアップウィンドウが表示されます。[↵]ボタンを押して**許可**を選択します。これにより、携帯電話が自由に製品にアクセスして**メディア**機能を使用し、コンテンツを再生できるようになります。
- 携帯電話からのメディア コンテンツの転送をオフにするには、**AllShare 設定**で**メディア**を**オフ**に設定します。
- 製品の解像度およびフォーマットによってはコンテンツを再生できないことがあります。
- メディア コンテンツの種類によっては[↵]および◀/▶ボタンが機能しない場合があります。
- 携帯デバイスを使用してメディアの再生を制御できます。詳しくは各携帯デバイスのユーザーガイドを参照してください。

7 ネットワーク

7.4 MagicInfo Lite 設定

MENU → ネットワーク → MagicInfo Lite 設定 → ENTER[↵]

1 サーバー

- MagicInfo Liteサーバー IP の設定
  - サーバー IP アドレスとポート番号を入力します。
  - ポート番号には 7001 を使用します。

    ポート番号に 7001 を使用してサーバーに接続できない場合は、サーバー管理者に正しい番号を問い合わせてポート番号を変更してください。
- FTP モード
  - FTP の動作モードを選択します:アクティブまたはパッシブ
- デフォルトのストレージ
  - サーバーから送られるスケジュールまたはコンテンツを保存するデフォルトの記憶装置を指定します。
  - デフォルトの記憶スペースを USB に設定している場合、USB 装置を接続していないとスケジュールは実行されません。
  - 内部メモリの空きが少なくなると、サーバーに注意メッセージが送信されます。

2 ストレージ

- 内部メモリ現在使用している容量を表示、またはすべてのコンテンツを削除します。
- USB:現在使用している容量を表示します。

3 スライドショー

- イメージ ビューア時間:ローカル スケジュールまたは自動再生機能で再生する画像の表示時間を設定します。
- PPT ビューア時間:ローカル スケジュールまたは自動再生機能で再生するドキュメントファイルのページごとの表示時間を設定します。
- 画像効果:画像遷移効果を設定します。
  - フェード 1、フェード 2、ブラインド、スパイラル、チェッカー、リニア、ストリップ、ワイプ、ランダム、なし

4 スケジュール名

- ローカル スケジュールを作成する際のスケジュール タイトルの形式を選択します:
  - YYYYMMDD、YYYYDDMM、またはDDMMYYYY

5 USB メモリを安全に取り外します。

- USB メモリを安全に取り外します。

6 情報

- デバイス名:サーバーに認識されているデバイスの名前を表示します。
- シリアル番号:デバイスの固有識別番号を表示します。

- **ソフトウェア バージョン**:デバイスのソフトウェア バージョンを表示します。

MagicInfo Lite Player ガイド メニューの詳細については、115ページを参照してください。

8 システム

8.1 マルチコントロール

MENU → システム → マルチコントロール → ENTER

製品に個別の ID を割り当てます。

8.1.1 マルチコントロール の構成設定

- **MDC 接続**

  MDC 信号を受信するための MDC との接続方法を選択します。

  - **RS232C MDC**

    RS232C ステレオケーブルを通じて MDC と接続します。

  - **RJ45 MDC**

    RJ45 ケーブルを通じて MDC と接続します。

- **ID 設定**

  セットに ID を割り当てます。(範囲: 0~99)

  ▲ または ▼ を押して番号を選択し、[↵] を押します。

- **ID 入力**

  入力信号を受ける入力ケーブルに接続された製品の ID 番号を入力します。

  リモコンの数字ボタンを使用して番号を入力します。

  MDC メニューの詳細については、65ページ を参照してください。

8.2 現在時刻

MENU → システム → 現在時刻 → ENTER

現在時刻設定 または スリープ タイマー を設定することができます。タイマー 機能を使用すると、指定された時刻に製品を自動的にオンまたはオフにするように設定することができます。

8.2.1 現在時刻設定

製品の様々なタイマー機能で使用される時計を設定します。

- 長期電電コード抜いた場合は、時計を再度設定する必要があります。
- パソコンの時計表示の誤差について 電源電圧の変動や周囲温度の急激な変化が加わるため腕時計並みの精度は得られません。

時計の設定変更

- 現在時刻設定

  日付と現在時刻を設定します。

  現在時刻設定を選択します。日付または現在時刻を選択して、次に[]を押します。数字ボタンを使って数字を入力するか、または上下の矢印ボタンを押してください。左右の矢印キーを押すと、次の入力フィールドに移動します。完了したら、[]を押してください。クロック設定を終了するには、閉じるを選択して、次に []を押します。

  - 日付と現在時刻はリモコンの数字ボタンを使って直接設定できます。

8.2.2 スリープ タイマー

前もってセットした時間を過ぎると自動的に製品をオフにします。(30 分 / 60 分 / 90 分 / 120 分 / 150 分 /180 分).

上下矢印キーで時間を選択し、次に[]を押します。スリープ タイマーをキャンセルするには、オフを選択します。

8.2.3 オンタイマー

オンタイマーを設定すると、選択した日時に自動的に製品がオンになります。

- オンタイマー オンタイマーは 3 つまで設定できます。(オンタイマー 1、オンタイマー 2、オンタイマー 3)

  オンタイマーは 3 つまで設定できます。

- **設定**:**オフ**、**1 回**、**毎日**、**月～金**、**月～土**、**土～日**、または**手動**を選択します。**手動**を選択した場合は、製品をオンにする**オンタイマー**の日付が選択できます。

  選択された日付はチェックマークで示されます。

- **オンタイマー時間**:時刻 (時および分) を設定します。数字の入力には、数字ボタンか上下の矢印ボタンを使用します。左右の矢印キーで入力フィールドを変更します。
- **音量**:音量レベルを設定します。左右の矢印ボタンで音量レベルを変更します。
- **入力ソース**:入力元を選択します。
- **音楽** / **写真** (**入力ソース** が **USB** に設定されている場合): 製品をオンにしたとき自動再生する音楽または写真ファイルがある USB デバイス内のフォルダを選択します。

  - USB デバイスに音楽ファイルがない場合、または音楽ファイルを含むフォルダを選択しなかった場合、タイマー機能は正常に動作しません。
  - USB デバイスに写真ファイルが 1 つしかない場合、スライド ショーは再生されません。
  - フォルダ名が長すぎる場合、そのフォルダは選択できません。各 USB デバイスには専用のフォルダが割り当てられます。同じタイプの 2 つ以上の USB デバイスが使用されている場合、各 USB デバイスには異なる名前が割り当てられることに注意してください。
  - **オンタイマー**を使用する際には、USB メモリ スティックとマルチ カード リーダーをお使いになることをお奨めします。一部のメーカー製の内蔵バッテリーを持つ USB デバイス、MP3 プレイヤー、または PMP との組み合わせでは、認識に時間がかかるため**オンタイマー**機能が働かないことがあります。

8.2.4 オフタイマー

オフタイマーは 3 つまで設定できます。(**オフタイマー 1**、**オフタイマー 2**、**オフタイマー 3**)

オフタイマーは、クロックの設定を済ませてから使用してください。

- **設定**:**オフ**、**1 回**、**毎日**、**月～金**、**月～土**、**土～日**、または**手動**を選択します。**手動**を選択した場合は、製品をオフにする**オフタイマー**の日付を選択できます。

  選択された日付はチェックマークで示されます。

- **オフタイマー時間**:時刻 (時および分) を設定します。数字の入力には、数字ボタンか上下の矢印ボタンを使用します。左右の矢印キーで入力フィールドを変更します。

8.2.5 休日の管理

休日として指定されている期間、**タイマー** は無効になります。

休日の管理の設定

- **追加**:休日として追加したい期間を指定します。
  - ▲/▼ ボタンを使用して追加する休日の開始日と終了日を選択し、**保存**ボタンをクリックします。
    - **開始日**:休日の開始日を設定します。
    - **終了日**:休日の終了日を設定します。

- 削除:休日のリストからすべての項目を削除します。
  削除 を選択します。すべての休日を削除しますか? というメッセージが表示されます。
  はい を選択します。すべての休日が削除されます。

- 適用:国民の休日には起動しないようにオンタイマーとオフタイマーを設定します。
  - ENTER[↵]を押して、起動しないオンタイマーとオフタイマーの設定を選択します。
  - 選択したオンタイマーとオフタイマーは起動されません。

年末に始まって翌年の年始に終了する休日を作成するには、以下に示すように日付を設定する必要があります。

- 例) 12/30 - 12/31, 01/01 - 01/10

8.3 メニュー言語

MENU → システム → メニュー言語 → ENTER↵

メニューの言語を設定します。

言語設定への変更は、画面のメニュー表示のみに対して適用されます。ご使用の PC のその他の機能には適用されません。

8.4 エコ ソリューション

MENU → システム → エコ ソリューション → ENTER↵

8.4.1 省電力

省電力 機能で電力を節約します。

省電力モードが有効になっている場合、電力を節約するため、製品の電力製品が制御されます。

- オフ / 低 / 中 / 高 / ピクチャー オフ

8.4.2 エコ センサー (オン / オフ)

省電力の効果を高めるため、ピクチャー設定は室内の照度に自動的に合わせられます。

ピクチャーメニューでバックライトを調整すると、エコ センサーはオフに設定されます。

- バックライト (最小輝度):エコ センサーがオンのときは、最小画面輝度を手動で調節できます。

  エコ センサーがオンのときは、周囲の光量に合わせてディスプレイの輝度を (わずかに暗くまたはわずかに明るく) 変更できます。画面の最小輝度はバックライト (最小輝度)機能で制御します。

8.4.3 無信号電源オフ

不必要な電力消費を避けるため、信号を受信しなくなってから製品をオフにするまでの時間を設定できます。

- オフ / 15 分 / 30 分 / 60 分

- 接続している PC が省電力モードの時は無効となります。

8.4.4 Auto Power Off (オン / オフ)

過熱防止のためリモコンまたは製品フロント パネルのボタンが 4 時間押されずにいると、製品が自動的にオフになります。

8.5 セキュリティ

MENU → システム → セキュリティ → ENTER

セキュリティ機能にアクセスする度に、PIN 画面が表示されます。デフォルトの PIN 番号は “0-0-0-0” です。PIN 画面が閉じると、セキュリティ メニューが表示されます。

8.5.1 安全ロック (オフ / オン)

お子様など許可されていないユーザーが不適切な番組を視聴しないように、チャンネルをロックします。

リモコンの LOCK ボタンを除く製品およびリモコンのすべてのメニューとボタンは、**安全ロック**機能によってロックできます。メニューおよびボタンのロックを解除するには、LOCK ボタンを押してパスワードを入力します (デフォルト パスワード:0 – 0 – 0 – 0)。

8.5.2 ボタン ロック (オフ / オン)

このメニューは、製品のボタンをロックしたい場合に有用です。**ボタン ロック**を**オン**に設定すると、製品の制御はリモコンでのみ可能になります。

8.5.3 PIN の変更

PIN の変更画面が表示されます。PIN として 4 桁の数字を選び、**新規 PIN の入力**に入力します。同じ 4 桁の数字を**新規 PIN の確認**に再度入力します。確認画面が消えたら、**閉じる**ボタンを押してください。新しい PIN が製品に記憶されます。

8.6 PIP

MENU → システム → PIP → ENTER

- PIP（ピクチャー インピクチャー）を 、 に設定している場合は、画像サイズを変更できませんん。
- PIP サウンドについては、サウンドの選択を参照してください。
- PIP モードでの閲覧中に製品をオフにすると、PIP 機能はオフにリセットされます。製品をオンにして PIP モードで閲覧するには、PIP を再びオンにする必要があります。
- メイン画面をゲームやカラオケの表示に使用すると、PIP 画面内の画像が少し不自然に見えることがあります。

- PIP 設定

  外部ビデオ ソースの画像はメイン画面に、製品からの画像は PIP サブピクチャー画面に表示されます。

メイン画像	サブ画像
PC	AV
AV	PC、HDMI、DVI、DP、MagicInfo(HDMI)
HDMI、DVI、DP、MagicInfo(HDMI)	AV

  - PIP（オフ / オン）:PIP 機能を有効または無効にします。
  - サイズ（, , , , ）:サブピクチャーのサイズを選択します。
  - 位置（、、、）:サブピクチャーの位置を選択します。

    , , モードでは、位置は選択できません。
  - サウンドの選択（メイン / サブ）:メイン画像とサブ画像のどちらの音声を聴くかを選択できます。

8.7 自動保護起動時間

MENU → システム → 自動保護起動時間 → ENTER

事前に定義した時間だけ静止画像が画面に表示されると、画像の焼き付きを防ぐためスクリーンセーバーが起動します。

- オフ / 2 時間 / 4 時間 / 8 時間 / 10 時間

8.8 画像焼き付き保護

MENU → システム → 画像焼き付き保護 → ENTER

画面の焼き付きの可能性を低めるため、本製品には画素シフト画面焼き付き防止技術が導入されています。画素シフトによって画面上の画像はわずかに移動します。画素シフト時間設定で画像の移動間隔を分単位で調整できます。

8.8.1 画素シフト

画面の残像を防止するため、この機能を使って LCD 状のピクセルを水平または垂直方向に動かすことができます。

使用できる Pixel Shift 設定と最適な設定

	使用できる設定	AV/コンポーネント/HDMI/PC の最適設定
水平	0～4 (ピクセル)	4
垂直	0～4 (ピクセル)	4
時間 (分)	1～4 分	4 分

- 画素シフト値は、製品サイズ (インチ) およびモードによって変わることがあります。
- このオプションは、画面に合わせるモードでは使用できません。

- 水平 : 画面を水平方向に何ピクセル移動させるかを設定します。
- 垂直 : 画面を垂直方向に何ピクセル移動させるかを設定します。
- 設定時間 : 水平または垂直移動を実行する間隔をそれぞれ設定します。

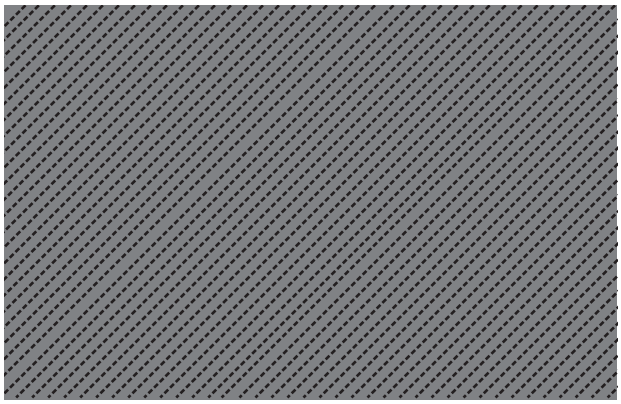
8.8.2 タイマー

画像焼き付き保護のタイマーを設定できます。

ユーザーが残像をすべて消去する動作を指示すると、設定された時間だけ動作が実施され、その後、自動的に終了します。

- **モード**:**画面保護** タイプを変更できます。
- **周期**:この機能を使ってタイマーにセットした各モードの実行周期を設定します。
- **設定時間**:設定した時間内における実行時刻を指定します。

8.8.3 ピクセル



この機能により、画面上の多くのピクセルが移動し、残像を防止します。

8.8.4 サイドグレー

画面背景のグレーの明るさを選択します。

- **オフ** / **明るさ** / **暗**

8.9 画像分割

MENU → システム → 画面分割 → ENTER

画像分割のために接続された複数のディスプレイのレイアウトをカスタマイズします。さらに、全体の映像の一部を表示するか、または接続された複数のディスプレイそれぞれに同じ映像をリピートします。複数の画像を表示するには、MDC ヘルプまたは MagicInfo ユーザー ガイドを参照してください。モデルによっては、MagicInfo 機能をサポートしないものがあります。

- 水平方向および垂直方向に 5 台以上のディスプレイが接続されている場合には、コントラストや色強度の劣化によって映像が暗くならないよう XGA (1024 x 768) レベル以上の入力を使用することが推奨されます。
- **画像分割** が **オン** に設定された状態で 3D コンテンツを再生するには、マルチ HD プレイヤー (MHP) が必要です。

8.9.1 画像分割

画像分割 を有効または無効にすることができます。画像分割を行う場合、**オン** を選択します。

8.9.2 フォーマット

複数のディスプレイに画像を表示するフォーマットを選択します。

- **フルモード**: 全画面で画像を表示します。
- **ナチュラルモード** :拡大や縮小なしで、画像をオリジナルの解像度で表示します。

画面の位置オプションは、**画像分割**が**オン**に設定されているときにのみ有効になります。

8.9.3 水平

この機能は、指定された水平方向のディスプレイの数に応じて、スクリーンを自動的に分割します。水平方向に配置されたディスプレイ数を入力します。水平方向の画面は、入力された数字に従って自動的に分割されます。水平配置では最大 15 台のディスプレイを割り当てることができます。

- 画面は最大、(水平と垂直を掛けあわせて) 100 個にまで分割できます。たとえば、水平配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを垂直配置に割り当てることができます。逆に、垂直配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを水平配置に割り当てることができます。
- **画面の位置**オプションは、**画像分割**が**オン**に設定されているときにのみ有効になります。

8.9.4 垂直

この機能は、指定された垂直方向のディスプレイの数に応じて、スクリーンを自動的に分割します。垂直方向に配置されたディスプレイ数を入力します。垂直方向の画面は、入力された数字に従って自動的に分割されます。垂直配置では最大 15 台のディスプレイを割り当てることができます。

- 画面は最大、(水平と垂直を掛けあわせて) 100 個にまで分割できます。たとえば、水平配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを垂直配置に割り当てることができます。逆に、垂直配置が 15 に設定されている場合、最大 6 台のディスプレイを水平配置に割り当てることができます。
- **画面の位置**オプションは、**画像分割**が**オン**に設定されているときにのみ有効になります。

8.9.5 画面の位置

画面の位置 機能を使用すると、番号で特定されるディスプレイを移動することで、画面分割の配置をカスタマイズすることができます。

画面の位置)を選択すると、水平または垂直で指定されているディスプレイ (番号とともに) の配置が表示されます。配置をカスタマイズするには、リモコンの方向キーで番号 (ディスプレイ) を移動し、[↵] を押します。

- **画面の位置** では最大 100 台のディスプレイを割り当てることができます。
- **画面の位置**オプションは、**画像分割**が**オン**に設定されているときにのみ有効になります。
- **画面の位置**ウィンドウは、**水平**および**垂直**が設定されているときのみ表示されます。

8.10 入力自動切り替え設定

MENU → システム → 入力信号自動切換設定 → ENTER

- **ソース自動切り替え** が **オン** の状態でディスプレイをオンにしたとき、前に選択していたビデオ入力信号がない場合には、ディスプレイは自動的に別のアクティブなビデオ入力信号を探します。
- **入力自動切り替え**

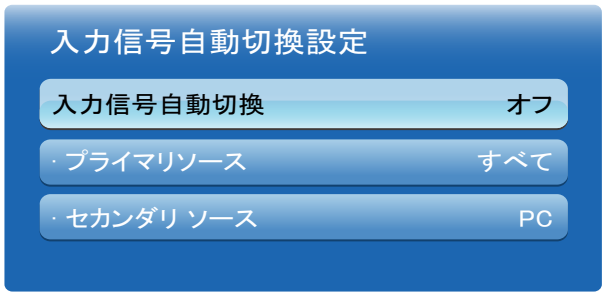
  入力自動切り替え が **オン** のときには、ディスプレイのビデオ信号が自動的にアクティブなビデオを検索します。

  現在の入力信号が認識できない場合には、**プライマリ ソース** 選択が有効になります。

  セカンダリ ソース 選択は、使用できるプライマリのビデオ信号がない場合に有効になります。

  プライマリおよびセカンダリソースが両方とも認識されない場合は、有効な入力の検索が 2 回実行されます。いずれの検索でも、最初にプライマリ ソース、次にセカンダリ 入力が確認されます。両方の検索に失敗した場合は、ディスプレイが最初のビデオ 入力に戻り、信号がないことを示すメッセージが表示されます。

  プライマリ 入力 選択が **すべて** に設定されているときは、ディスプレイはすべてのビデオ入力信号を 2 回連続して検索してアクティブなビデオ信号を探し、ビデオが見つからない場合には最初のビデオ信号に戻ります。



▲/▼ を押して希望のオプションを選択し、[↵] を押します。

- **プライマリ ソース**

  自動入力信号に **プライマリ ソース** 指定します。
- **セカンダリ ソース**

  自動入力信号に **セカンダリ ソース** を指定します。

8.11 全般

MENU → システム → 全般 → ENTER

8.11.1 省電力（最大）

電力消費を抑えるため、事前に指定した時間を超えて PC がアイドル状態となったとき製品をオフにします。

8.11.2 ゲーム モード

PlayStation™ や Xbox™ などのゲーム機を接続する場合は、ゲーム モードを選択するとよりリアルなゲーム体験が楽しめます。

- ゲーム モードに関する事前注意と制限事項
  - ゲーム機の接続を切って他の外部デバイスを接続するときは、システムメニューでゲーム モードをオフに設定してください。
  - ゲーム モード中に製品メニューを表示すると、画面にわずかな揺れが生じます。
- 入力ソースは PC に設定されているときは、ゲーム モードは使用できません。
- ゲーム機を接続してから、ゲーム モードをオンに設定します。画質の低下が感じられることがあります。
- ゲーム モードがオンの場合:
  - 映像モードは標準、サウンド モードは動画に設定されます。

8.11.3 BD Wise

BD Wise をサポートする Samsung 製 DVD、blu-ray、およびホームシアター製品に最適な画質を提供します。BD Wise をオンにすると、映像モードが自動的に最適な解像度に変更されます。

BD Wise をサポートする Samsung 製品を HDMI ケーブルを通じて製品に接続している場合に使用できます。

8.11.4 自動電源設定

このオプションを有効にすると、電源ケーブルが接続されると製品が自動的にオンになります。

8.11.5 スタンバイ制御

入力信号を受信したときに適用する画面スタンバイ モードを設定することができます。

- **自動**

  外部入力デバイスがディスプレイに接続されていても、入力信号が検出されない場合は省電力モードになります。

  信号デバイスが接続されていないときには 信号がありません というメッセージが表示されます。

- **オン**

  入力信号が検出されない場合は省電力モードになります。

- **オフ**

  入力信号が検出されないときには 信号がありません というメッセージが表示されます。

  - スタンバイ制御は、外部入力 が PC または DVI に設定されているときのみ有効になります。
  - 外部入力デバイスが接続されているのに 信号がありません と表示される場合、ケーブル接続を確認してください。外部入力デバイスの接続についての詳細は 60 ページを参照してください。

8.11.6 ランプ スケジュール

MDC モード中の指定時刻にユーザー設定値に調節されるように、ランプ値を有効にします。

8.11.7 OSD ディスプレイ

画面のメニュー項目を表示または非表示にします。

- ソース OSD / OSD 信号なし / MDC OSD

8.11.8 電源オン調整

電源ボタンが押された後、画面をオンにするウォームアップ時間を設定することができます。(範囲: 0 -50 秒)

ウォームアップ時間が非常に短いと、過電圧のため製品が破損する場合があります。

8.11.9 温度制御

- **温度制御**

  この機能では、製品の内部温度が検出されます。許容される温度範囲を指定することができます。

  デフォルトの温度は 77 ˚Cに設定されています。

  この製品の推奨される動作温度は、75～80 ˚C (室温 40 ˚C の場合) です。

  現在の温度が指定された温度制限を上回ると、画面が暗くなります。温度が上昇し続けると、過熱を防ぐため製品の電源がオフになります。

8.11.10 デバイス名

デバイス名を入力または選択します。この名前はネットワークを通じてネットワーク リモート コントロールに表示できます。

8.12 Anynet+(HDMI-CEC)

MENU → システム → Anynet+(HDMI-CEC) → ENTER

8.12.1 Anynet+(HDMI-CEC)

Anynet+ とは

Anynet+ は、Anynet+ をサポートする接続された Samsung 製デバイスをお持ちの Samsung 製品用リモコンで制御できるようにする機能です。Anynet+ システムは、Anynet+ 機能を備える Samsung 製デバイスでのみ使用できます。お持ちの Samsung 製デバイスを見て Anynet+ ロゴがあれば、この機能を備えています。

- Anynet+ デバイスは製品のリモコンでのみ制御可能で、製品のボタンでは制御できません。
- いくつかの状況では、製品のリモコンが機能しないことがあります。そのような場合は、Anynet+ デバイスを再選択してください。
- 他社製品との組み合わせでは、Anynet+ 機能は動作しません。
- Anynet+ 外部デバイスとの接続方法については、デバイスのユーザー マニュアルを参照してください。また、Anynet+ デバイスの接続には HDMI ケーブルを使用してください。HDMI ケーブルによっては、Anynet+ 機能をサポートしないことがあります。
- Anynet+ は、Anynet+ をサポートする AV デバイスがスタンバイまたはオン状態のとき機能します。
- Anynet+ は合計で 12 台までの AV デバイスをサポートします。ただし、同時に接続できる同じタイプのデバイスは 3 台までです。
- また、Anynet+ ホームシアターは 1 台しか接続できません。Anynet+ ホームシアターを接続するには、HDMI ケーブルを使ってホームシアターを製品に接続します。

Anynet+メニュー

Anynet+ メニューは、製品に接続されている Anynet+ デバイスの種類と状態によって変化します。

Anynet+ メニュー	説明
PC の視聴	Anynet+ モードから PC モードに変更します。
デバイス リスト	Anynet+ デバイスのリストを表示します。
(デバイス名) MENU	接続されたデバイスのメニューをメニュー表示します。例えば、DVD プレイヤーが接続されていれば、DVD プレイヤーのディスク メニューが表示されます。

Anynet+ メニュー	説明
(デバイス名) ツール	接続されたデバイスのツール メニューを表示します。例えば、DVD プレイヤーが接続されていれば、DVD プレイヤーのツール メニューが表示されます。 このメニューは、デバイスによっては使用できないことがあります。
(device_name) タイトル メニュー	接続されたデバイス内のディスクのメニューを表示します。例えば、DVD プレイヤーが接続されていれば、DVD プレイヤー内の動画のタイトル メニューが表示されます。 このメニューは、デバイスによっては使用できないことがあります。

8.12.2 自動オフ

製品をオフにすると、Anynet+ デバイスも自動的にオフになるように設定します。

Anynet+ 機能を使用するには、リモコンのアクティブ ソースを製品に設定しておく必要があります。自動オフをはいに設定すると、製品がオフになると接続されている外部デバイスもオフになります。外部デバイスが記録を行っている場合は、オフになることもそうならないこともあります。

Anynet+ デバイスを切り替えます。

1. TOOLS ボタンを押して Anynet+ (HDMI-CEC) を選択し、次に[↵]を押します。
2. デバイス リストを選択し、次に[↵]ボタンを押します。

   目的のデバイスが見つからないときは、更新を選択してリストを更新してください。
3. デバイスを選択して、次に[↵]ボタンを押します。選択したデバイスに切り替えられます。

   デバイス リスト メニューは、システム メニューで Anynet+ (HDMI-CEC) をオンに設定した場合にのみ表示されます。

   - 選択したデバイスへの切り替えは、最大で 2 分程度かかることがあります。切り替えの進行中に切り替え動作をキャンセルすることはできません。
   - SOURCE ボタンを押して Anynet+ デバイスを選択し、次にその入力元を選択した場合、Anynet+ 機能は使用できません。デバイス リストを使って Anynet+ デバイスに切り替わったことを確認してください。

受信機 による聴取

内部 に代えて受信機 (ホームシアターなど) からサウンドを聴くことができます。

1. **受信機**を選択して**オン**に設定します。
2. **EXIT** ボタンを押して終了します。

- お持ちの受信機がオーディオのみをサポートしている場合は、その受信機はデバイス リストに表示されません。
- 受信機 (ホームシアターなど) をオンに設定すると、製品の光端子から出力されるサウンドを聴くことができます。入力元が DVD プレイヤーなどのデジタル コンポーネントで HDMI を使って接続している場合、受信機側からは 2 チャンネル サウンドしか聴くことができません。

Anynet+ のトラブルシューティング

問題	可能な解決方法
Anynet+ が機能しない。	• デバイスが Anynet+ デバイスかを確認してください。Anynet+ システムは Anynet+ デバイスのみをサポートします。 • 受信機 (ホームシアター) は 1 台しか接続できません。 • Anynet+ デバイスの電源コードが正しく接続されているか確認してください。 • Anynet+ デバイスのビデオ/オーディオ/HDMI ケーブルの接続を確認してください。 • Anynet+ 設定メニューで**Anynet+ (HDMI-CEC)**が**オン**に設定されているか確認してください。 • リモコンが Anynet+ に対応しているか確認してください。 • HDMI ケーブルを取り外していて再接続したときは、デバイスを再検索するか、製品をオフにして再びオンにしてください。 • 当該の Anynet デバイスの Anynet+ 機能がオンに設定されているか確認してください。
Anynet+ を開始するには	• Anynet+ デバイスが適切に接続されているか確認し、次に Anynet+ 設定メニューで **Anynet+ (HDMI-CEC)** が**オン**に設定されているか確認してください。 • **TOOLS** ボタンを押して Anynet+ メニューを表示し、目的のメニューを選択します。
Anynet+ を終了するには	• Anynet+ メニューから **PC の視聴** を選択します。 • 製品のリモコンの **SOURCE** ボタンを押して、Anynet+ デバイス以外のデバイスを選択します。

問題	可能な解決方法
「Anynet+ デバイスに接続しています...」というメッセージが画面に表示される。	• Anynet+ の設定中または表示モードへの切り替え中には、リモコンを使用できません。 • 製品が Anynet+ 設定を完了するか、Anynet+ への切り替えを終了してから、リモコンを使用してください。
接続したデバイスが表示されない。	• そのデバイスが Anynet+ 機能をサポートしているか確認してください。 • HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • Anynet+ 設定メニューで **Anynet+ (HDMI-CEC)** が**オン**に設定されているか確認してください。 • Anynet+ デバイスを再度検索してください。 • Anynet+ には HDMI 接続が必要です。デバイスと製品が HDMI ケーブルで接続されているか確認してください。 • HDMI ケーブルによっては、Anynet+ 機能をサポートしないことがあります。 • 電源異常または HDMI ケーブルの切断によって接続が途切れた場合は、デバイスのスキャンを繰り返してください。
受信機から製品のサウンドが出力されない。	• 製品と受信機を光ケーブルで接続してください。

8.12.3 受信機

受信機を通じてサウンドを再生します。

8 システム

8.13 DivX® Video On Demand

MENU → システム → DivX® Video On Demand → ENTER

製品に認可された登録コードを表示します。DivX ウェブサイトに接続してこのコードを使って登録すると、VOD 登録ファイルをダウンロードできるようになります。

DivX® VOD の詳細については、http://vod.divx.com を参照してください。

8.14 ネットワーク リモート コントロール

MENU → システム →ネットワーク リモート コントロール→ ENTER

Samsung 製携帯電話をオン/オフ、または製品に接続して制御する許可を与えます。

ワイヤレス リモート コントロールをサポートする Samsung 製携帯電話/デバイスを使用してください。詳しくは各デバイスのマニュアルを参照してください。

8.15 システムのリセット

MENU → システム →システムのリセット → ENTER

このオプションは、システムの現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。

8.16 すべてリセット

MENU → システム →すべてリセット → ENTER

このオプションは、ディスプレイに関するすべての現在の設定を工場出荷時の設定に戻します。

9 サポート

9.1 ソフトウェア更新

MENU → サポート → ソフトウェア更新 → ENTER

ソフトウェア更新メニューから製品のソフトウェアを最新バージョンに更新できます。

- 現在のバージョン:製品にすでにインストールされているソフトウェアのバージョンです。

更新が完了するまで電源をオフにしないように注意してください。ソフトウェア更新が完了すると製品はオフになり、また自動的にオンになります。ソフトウェアを更新すると、すべてのビデオおよびオーディオの設定はユーザー設定からデフォルトの設定に戻ります。更新後の再設定が簡単にできるように、ユーザーの設定をメモしておくことをお奨めします。

9.1.1 USB 経由

USB を使って更新するには、次の手順を行います。

1. www.samsung.com にアクセスします。
2. 最新の USB ソフトウェア更新実行アーカイブをコンピュータにダウンロードします。
3. 実行アーカイブを展開します。実行ファイルは同じ名前の単一のファイルに入れてください。
4. フォルダを USB フラッシュ ドライブにコピーします。
5. 製品をオンにして、次に製品の USB ポートに USB フラッシュ ドライブを差し込みます。
6. 製品メニューのサポート → ソフトウェア更新に移動します。
7. USB 経由を選択します。

   更新が完了するまで USB ドライブを抜かないよう注意してください。

9.1.2 代替ソフトウェア

代替ソフトウェアオプションでは、直ちにインストールするのではなく前もってダウンロードしておいたファイル、または製品がスタンバイ モード中にダウンロードしたファイルを使って更新を行うことができます。代替ソフトウェアを使って更新するには、次の手順を行います。

1. 更新ソフトウェアをすでにインストールしている場合には、ソフトウェアのバージョン数が代替ソフトウェアの右に表示されます。
2. 代替ソフトウェアを選択し、次に[]ボタンを押します。
3. 更新を行うかを確認するメッセージが表示されます。はい を選択します。製品が更新を開始します。
4. 更新が完了すると、製品は自動的にオフになり、その後でオンになります。

9.2 Samsung 連絡先

MENU → サポート → Samsung 連絡先 → ENTER

製品が正しく機能しない場合、またはソフトウェアを更新したい場合は、この情報をご確認ください。弊社コールセンターに関する情報ならびに製品およびソフトウェアのダウンロード方法をご覧いただけます。

10.1 MagicInfo Lite Player と互換性があるファイル形式

[MagicInfo Lite Player をご使用の前にお読みください]

- FAT16 および FAT32 を含む USB デバイス ファイル システムをサポートしています。(NTFS はサポートされていません。)
- 垂直および水平解像度が最大解像度を超えているファイルは再生できません。
  ファイルの垂直および水平解像度を確認してください。
- 音声データを含まないビデオはサポートされていません。ビデオ ファイルに音声データが含まれているか確認してください。
- サポートされているビデオおよびオーディオ コーデックの種類とバージョンを確認してください。
- サポートされているファイルのバージョンを確認してください。
  - Flash は、バージョン 10.1 以降をサポートしています
  - PowerPoint は、バージョン 97 から 2007 をサポートしています
- サイズが 2GB 以上のコンテンツを **ネットワーク スケジュール** に割り当てることはできません。

10.1.1 ビデオ / オーディオ

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	オーディオコーデック
*.avi *.mkv	AVI MKV	DivX 3.11 / 4.x / 5.1 / 6.0	1920x1080	6 ~ 30	8	MP3 / AC3/ LPCM / ADPCM / DTS コア
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
		Motion JPEG	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.asf	ASF	DivX 3.11 / 4.x / 5.1 / 6.0	1920x1080	6 ~ 30	8	MP3 / AC3 / LPCM / ADPCM / WMA
		H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
		Motion JPEG	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.wmv	ASF	Window Media Video v9	1920x1080	6 ~ 30	25	WMA

ファイル拡張子	コンテナ	ビデオ コーデック	解像度	フレームレート (fps)	ビットレート (Mbps)	オーディオ コーデック
*.mp4	MP4	H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	MP3 / ADPCM / AAC
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.3gp	3GPP	H.264 BP / MP / HP	1920x1080	6 ~ 30	25	ADPCM / AAC / HE-AAC
		MPEG4 SP / ASP	1920x1080	6 ~ 30	8	
*.vro	VRO VOB	MPEG1	352x288	24 / 25 / 30	30	AC3 / MPEG / LPCM
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	
*.mpg *.mpeg	PS	MPEG1	352x288	24 / 25 / 30	30	AC3 / MPEG / LPCM / AAC
		MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	
		H.264	1920x1080	6 ~ 30	25	
*.ts *.tp *.trp	TS	MPEG2	1920x1080	24 / 25 / 30	30	AC3 / AAC /MP3 / DD+ / HE-AAC
		H.264	1920x1080	6 ~ 30	25	
		VC1	1920x1080	6 ~ 30	25	

ビデオ

- 音声のないビデオはサポートされていません。
- 3D ビデオはサポートされていません。
- 解像度が上の表の解像度を超えているコンテンツはサポートされていません。
- ビットレートまたはフレームレートが上の表のレートを超えているビデオ コンテンツは再生中に映像が乱れることがあります。
- H.264 Level 4.1 以下をサポートしています。
- H.264 FMO / ASO / RS, VC1 SP / MP / AP L4 および AVCHD はサポートされていません。
- MPEG4 SP/ASP
  - 1280 x 720 以下:最大 60 フレーム / 1280 x 720 超:最大 30 フレーム
- GMC 2 以上はサポートされていません。

オーディオ

- ビデオのないオーディオ コンテンツはサポートされていません。

  (MP3 ファイルだけは画像 / PPT スライドショー用の BGM としてサポートされています。この機能は、ネットワーク スケジュール メニューを使用する場合にのみ利用できます。)
- ビットレートまたはフレームレートが上の表のレートを超えているオーディオ コンテンツは再生中に音声が乱れることがあります。
- WMA 7、8、9 STD 以下をサポートしています。
- WMA 9 PRO では、ロスレス オーディオおよび 2 チャンネルを超えているマルチチャンネル オーディオはサポートされていません。
- WMA サンプリング レート 22050Hz mono には非対応。

画像

- 互換性がある画像ファイル形式:Jpeg
- サポートされている最大解像度:15,360 x 8640
- サポートされる画像効果:8 種類 (フェード 1、フェード 2、ブラインド、スパイラル、チェッカー、リニア、ストリップ、ワイプ)

Flash

- Flash 10.1 をサポートしています。
- Flash アニメーション
  - 互換性があるファイル形式:SWF
- 解像度:1280 x 720
  - 注意
    - Windows オペレーティング システム上の Flash Player に相当するパフォーマンスを保証するものではありません
    - コンテンツ作成時に最適化が必要となります
- Flash ビデオ
  - 互換性があるファイル形式:FLV
  - ビデオ
    - コーデック:H.264 BP
    - 解像度:1920 x 1080
  - オーディオ
    - コーデック:H.264 BP
  - 注意
    - F4V のファイル形式はサポートされていません
    - Screen Video はサポートされていません

Power Point

- 互換性がある文書ファイル形式
  - 拡張子:ppt, pptx
  - バージョン:Office 97 ~ Office 2007
- サポートされていない機能
  - アニメーション効果
  - 3D オブジェクト (2D で表示されます)
  - ヘッダーおよびフッター (一部のサブ項目はサポートされていません)
  - Word Art
  - アライメント (グループ アライメント エラーが発生することがあります)
  - Office 2007 (SmartArt は完全にはサポートされていません。115 のサブ項目のうち 97 項目をサポートしています。)
  - オブジェクト挿入
  - 暗号化された文書ファイルの展開
  - 縦書き (一部のサブ項目はサポートされていません)
  - スライドのノートおよびハンドアウト

10.2 ネットワーク スケジュール

10.2.1 サーバーへの接続

MagicInfo Lite Server を使用するには、サーバー (Web) を通じてモニターの時刻を設定する必要があります。MagicInfo Lite Server を使用せず、ローカル スケジュールと AutoPlay のみを使用するには、リモコンを使用して時刻を設定する必要があります。

ネットワーク設定

MagicInfo Lite を実行するには、ネットワークに接続します。

ネットワーク設定 メニューの詳細については、129 ページ を参照してください。

サーバーの設定

MENU → ネットワーク → MagicInfo Lite 設定 → サーバーに移動します。次に、サーバー情報を入力します。(例:http://192.168.0.10:7001/MagicInfo/)

FTP モードおよびデフォルトの記憶スペースの設定

- デフォルトのストレージ:サーバーからダウンロードしたコンテンツを保存する場所を指定します。
  - 内部メモリ:コンテンツを製品の内部メモリに保存します。
  - USB メモリ:コンテンツを USB メモリに保存します。

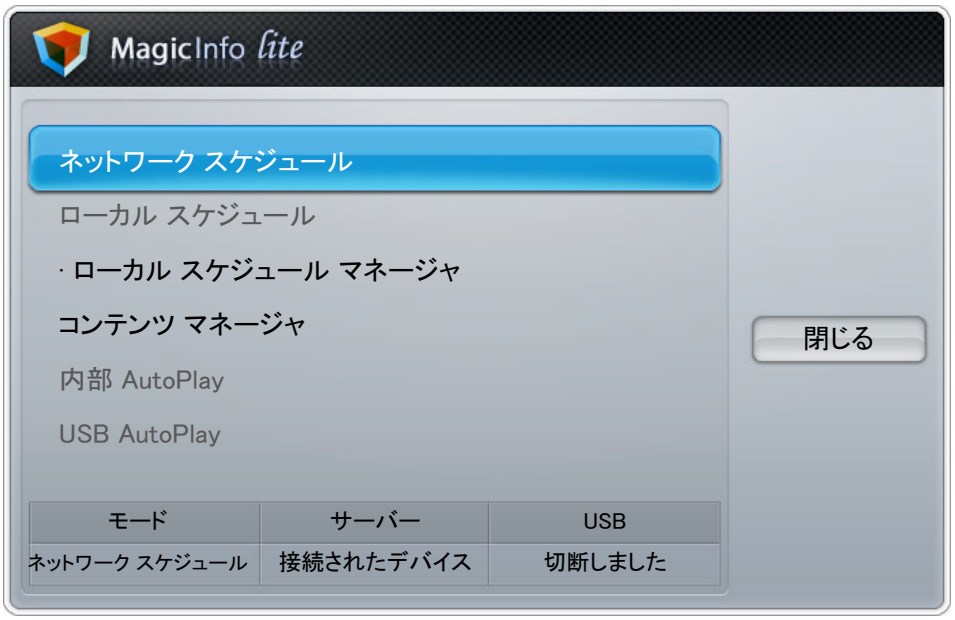
    USB メモリを接続せずにネットワーク スケジュールを実行すると、デフォルト コンテンツが実行されます。

10.2.2 MagicInfo Lite の設定

MENU[ ] → メディア → MagicInfo Lite → ENTER [ ]

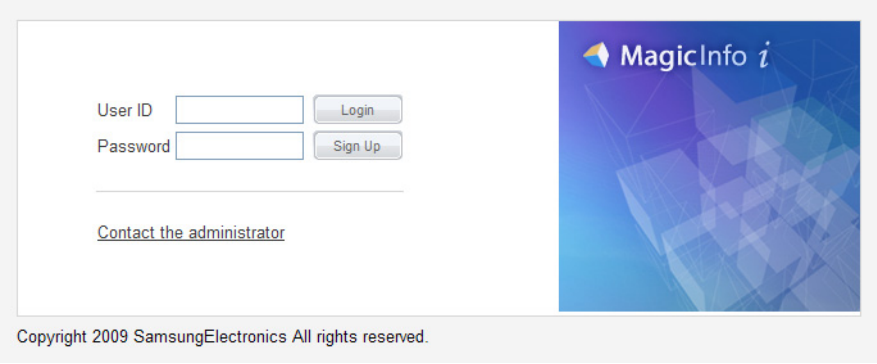
リモコンの MagicInfo Lite ボタンを押します。

サーバーと接続しているか (承認されているか) は、MagicInfo Lite メニュー画面で確認できます。ネットワーク スケジュールの実行中にサーバーとの接続を確認するには、リモコンの INFO を押します。



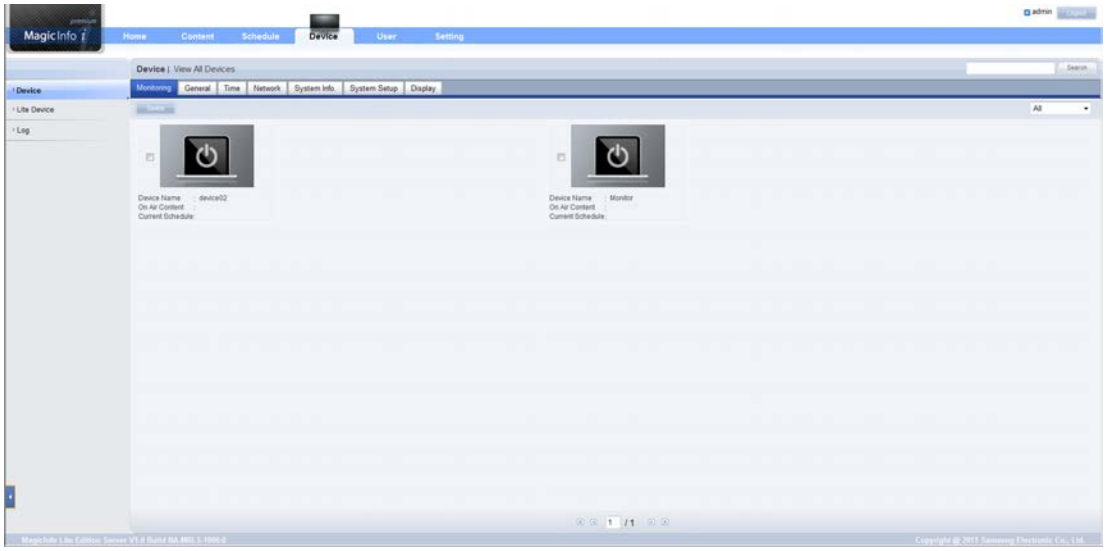
10.2.3 接続されている装置をサーバーから承認

1 デバイスに割り当てているサーバーにアクセスします。

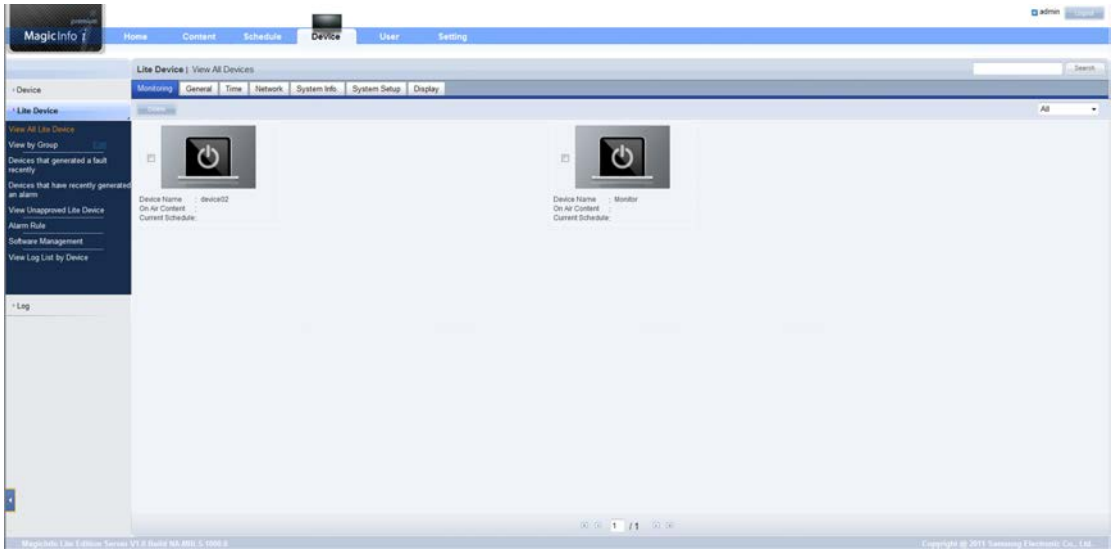


2 ID とパスワードを入力してログインします。

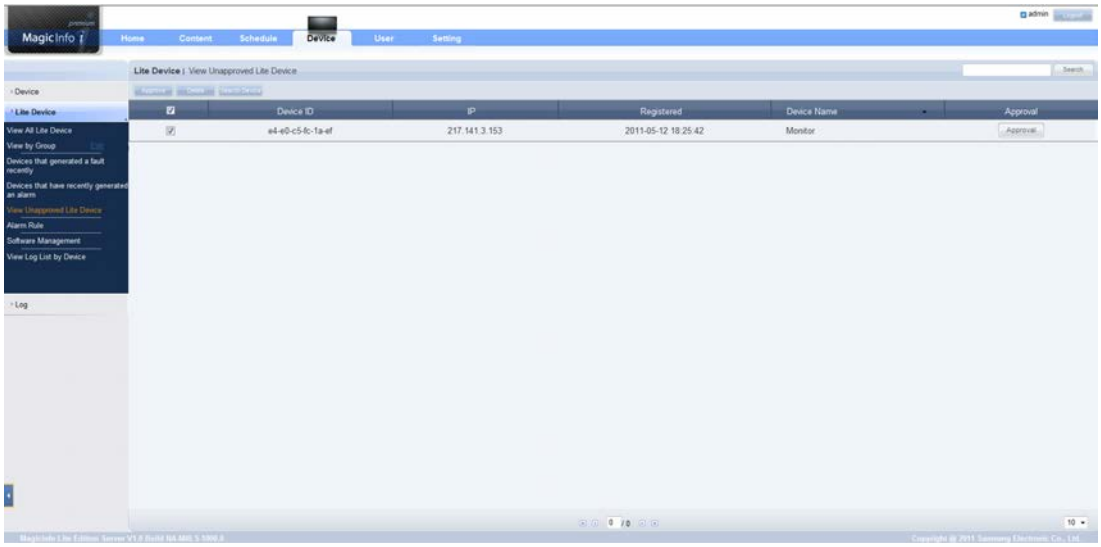
3 トップ メニュー バーから Connected を選択します。



4 左側のメニューから Lite Device を選択します。



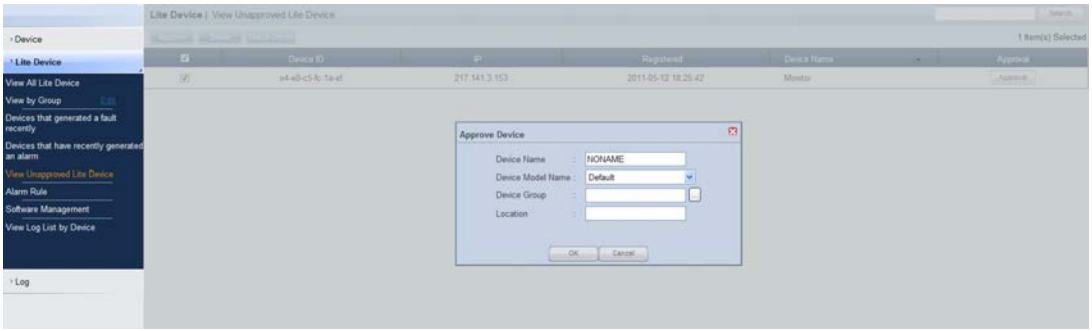
5 Lite Device のサブメニューから View Unapproved Lite Device を選択します。



6 未承認の Lite デバイスのリストからお持ちの装置の Approve ボタンを選択します。

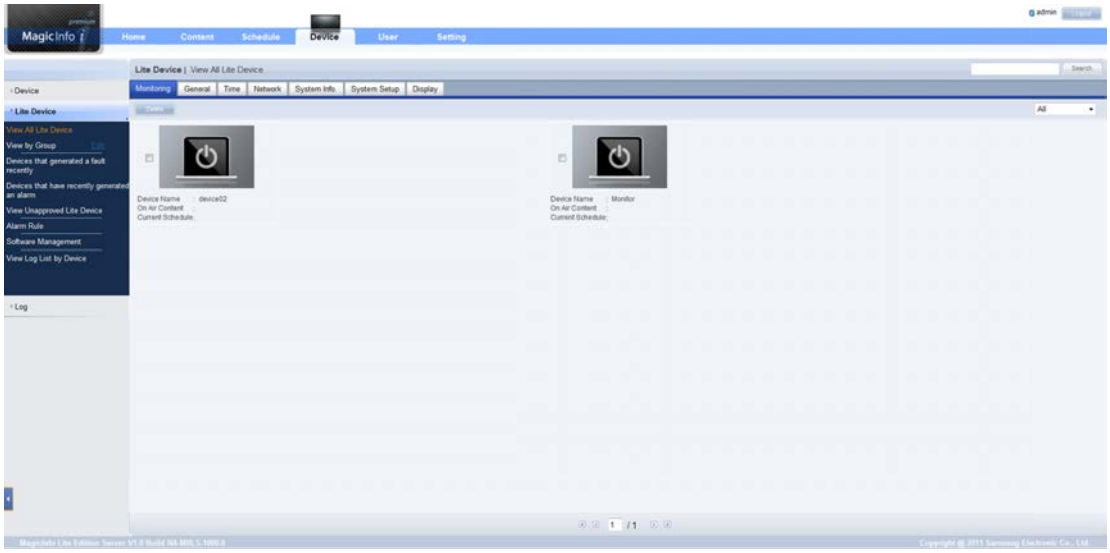
ネットワーク スケジュールの実行中に INFO ボタンを押すと、スケジュールの詳細が表示されます。詳細内のデバイス ID を見て正しいデバイスを選択しているかを確認します。

7 デバイスの承認に必要となる情報を入力します。



- Device Name:デバイス名を入力します。
- Device Model Name:デバイス モデルを選択します。
- Device Group:[...]を選択してグループを指定します。
- Location:デバイスの現在の場所を入力します。

8 View All Lite Device メニューを選択してデバイスが登録済みであるか確認します。



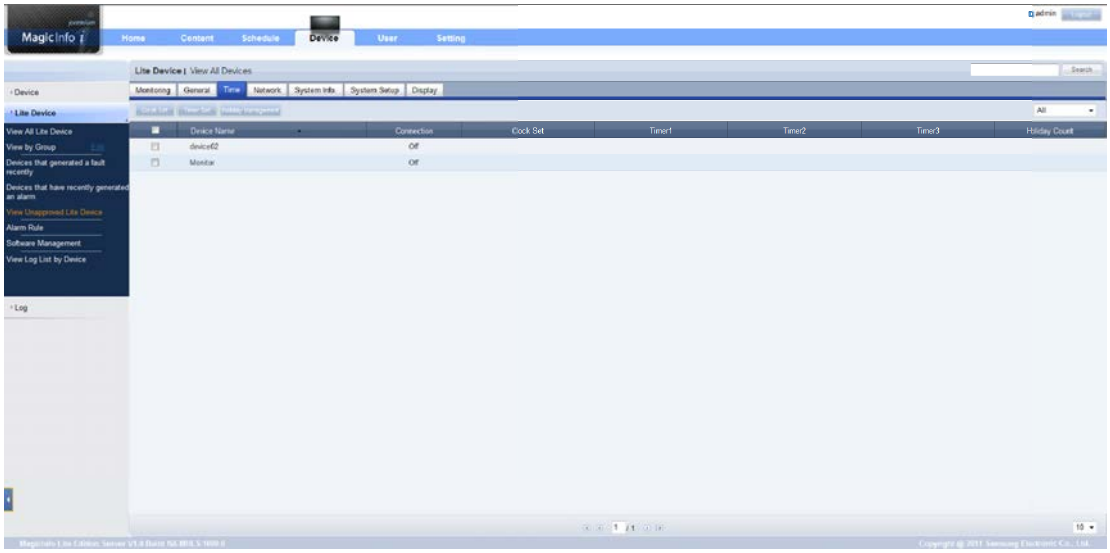
9 デバイスがサーバーによって承認されると、選択したグループの登録されたスケジュールがデバイスにダウンロードされます。ダウンロード後にスケジュールが実行されます。

- スケジュールの設定方法の詳細については、「MagicInfo サーバー ユーザー マニュアル」を参照してください。
- サーバーによって承認されたデバイスのリストからいずれかのデバイスが削除された場合、そのデバイスは再起動され、設定がリセットされます。

10.2.4 現在時刻の設定

デバイスに設定されている時刻がサーバーの現在時刻と異なっていると、スケジュールは実行されません。

1 Device → Time タブに移動します。



2 お持ちのデバイスを選択します。

3 Clock Set を選択して、時刻をサーバーと同期させます。

時刻の管理（スケジュール、休日の管理など）の詳細については、MagicInfo server user's manual を参照してください。

10.3 ローカル スケジュール

ローカル スケジュール マネージャによって作成されたスケジュールを実行します。

ローカル スケジュール マネージャ →に移動し、実行するコンテンツを選択します。

ローカル スケジュール マネージャによって作成されたスケジュールがない場合は、このメニューはご利用できません。

1 MagicInfo Lite メニュー画面の**ローカル スケジュール マネージャ**を選択します。

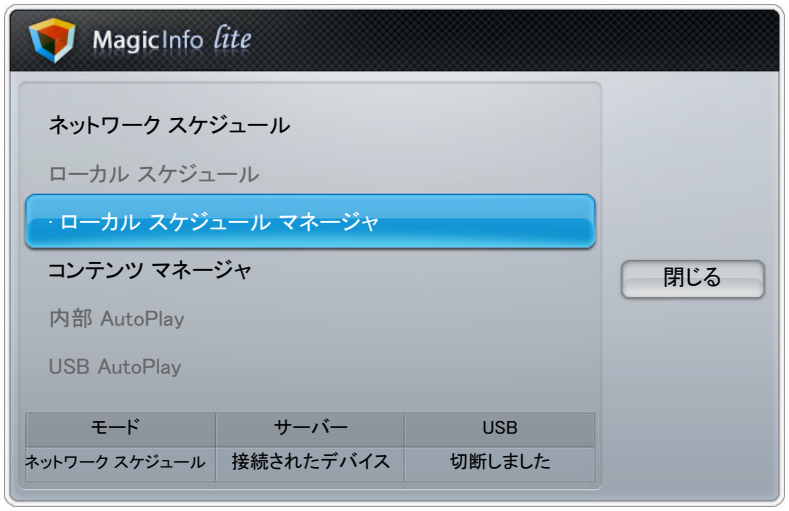
2 ローカル スケジュールによって作成したスケジュールを実行します。

10.4 ローカル スケジュール マネージャ

ローカル スケジュールの再生設定を行います。あらかじめ指定された再生順で、内部メモリまたはUSB メモリのコンテンツを選択して再生することも可能です。

10.4.1 ローカル スケジュールの登録

1 MagicInfo Lite メニュー画面の**ローカル スケジュール マネージャ**を選択します。



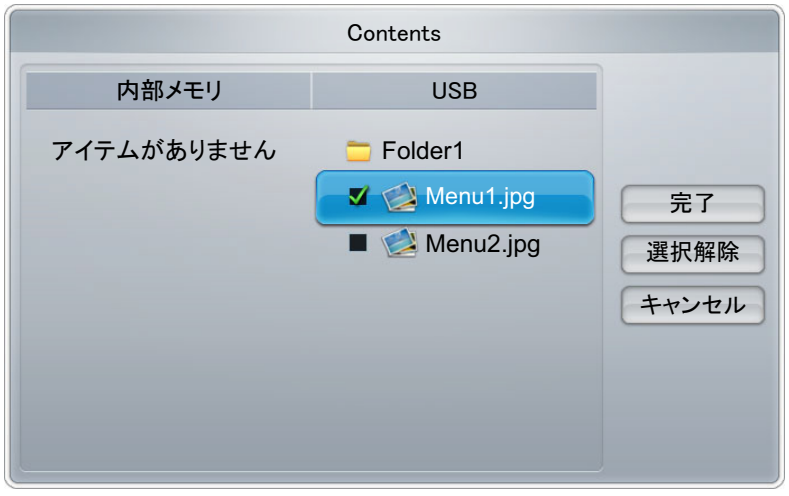
2 **ローカル スケジュール マネージャ**画面で**作成**を選択します。

3 **現在時刻**を選択して、コンテンツを再生する時刻を設定します。

開始した翌日に終了するスケジュールを作成するには、以下に示すように時刻を設定する必要があります。.

- 例) PM 09:00 – AM 12:00 / AM 12:00 – AM 06:00

4 **コンテンツ**を選択して、再生するコンテンツを設定します。



5 **保存**を選択します。

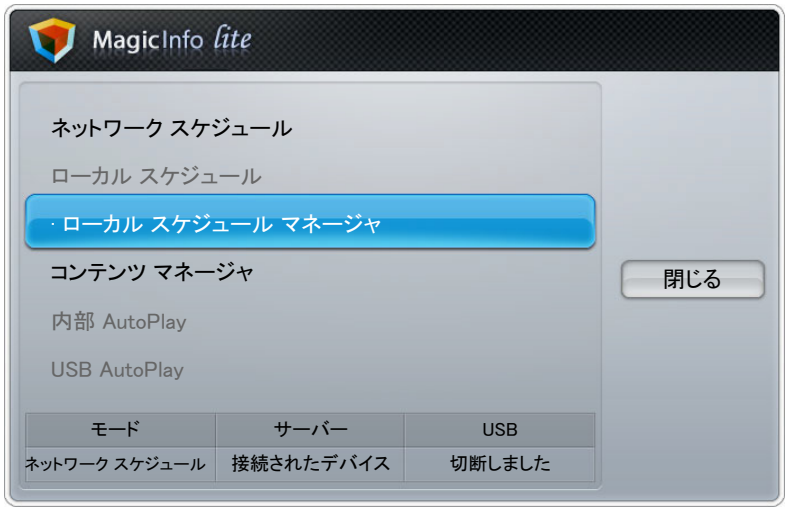
6 コンテンツを保存するメモリ領域を選択します。

7 スケジュールが**ローカル スケジュール マネージャ**に追加されているか確認してください。

10.4.2 ローカル スケジュールの変更

少なくとも 1 つのローカル スケジュールを登録してください。

1 MagicInfo Lite メニュー画面のローカル スケジュール マネージャを選択します。



2 変更するローカル スケジュールを選択します。

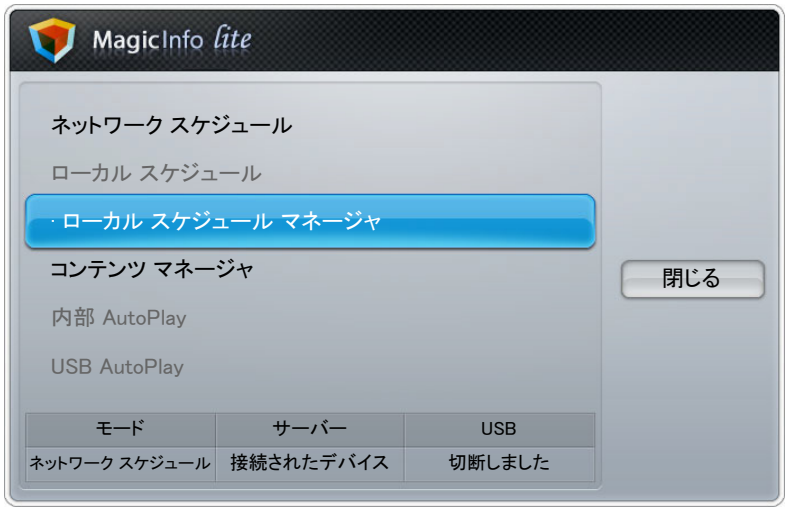
3 **編集**を選択します。

4 ローカル スケジュールの詳細を変更します。次に、**保存**を選択します。

10.4.3 ローカル スケジュールの削除

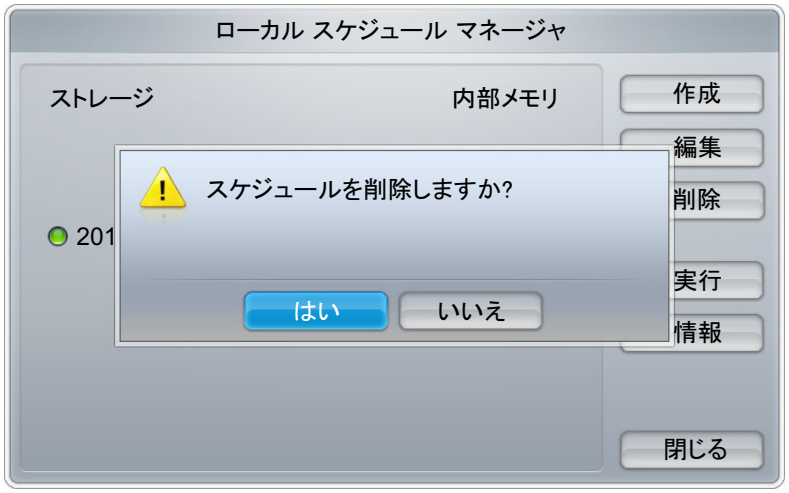
少なくとも 1 つの**ローカル スケジュール**を登録してください。

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面の**ローカル スケジュール マネージャ**を選択します。



2 削除するローカル スケジュールを選択します。

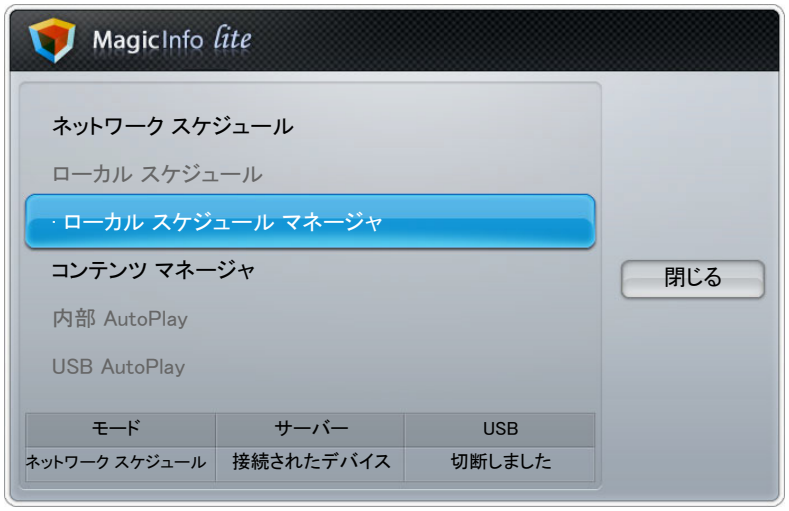
3 **削除** を選択します。



10.4.4 ローカル スケジュールの実行

少なくとも 1 つの**ローカル スケジュール**を登録してください。

1 **MagicInfo Lite** メニュー画面の**ローカル スケジュール マネージャ**を選択します。

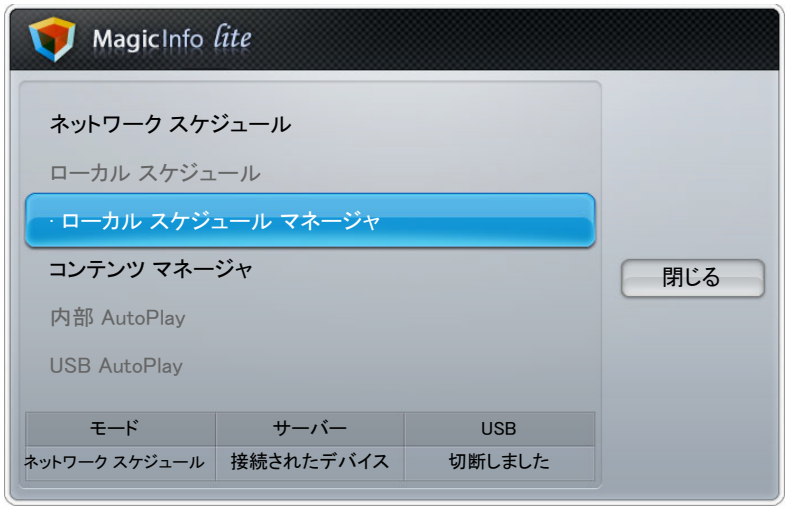


2 実行するローカル スケジュールを選択します。次に、**実行**を選択します。

10.4.5 ローカル スケジュールの停止

この機能はスケジュールの実行中のみ有効となります。**停止**を選択すると、実行モードが**ローカル スケジュール**から**ネットワーク スケジュール**に変わります。

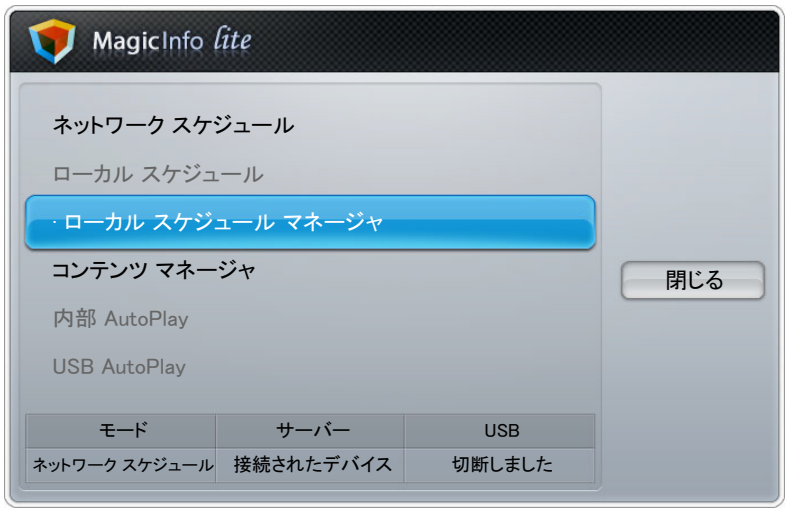
1 **MagicInfo Lite** メニュー画面の**ローカル スケジュール マネージャ**を選択します。



2 **停止**を選択します。

10.4.6 ローカル スケジュールの詳細の表示

1 MagicInfo Lite メニュー画面のローカル スケジュール マネージャを選択します。



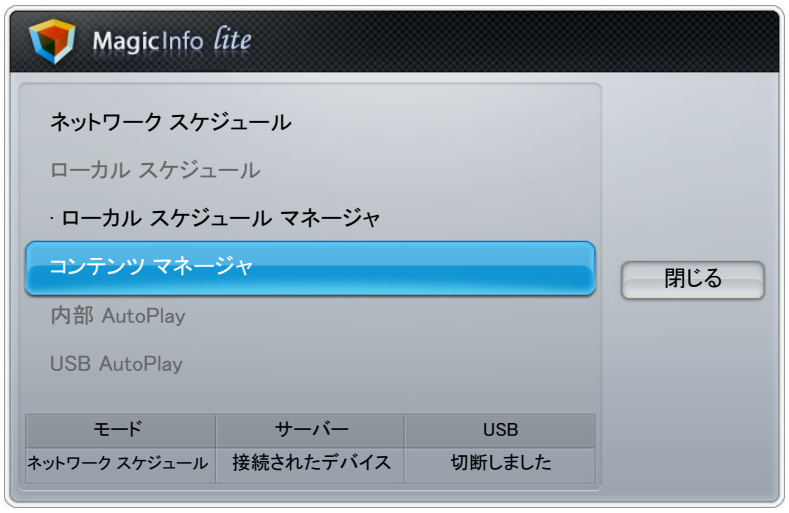
2 詳細を表示するローカル スケジュールを選択します。

3 スケジュールの詳細が表示されます。

10.5 Contents Manager

10.5.1 コンテンツのコピー

1 MagicInfo Lite メニュー画面のコンテンツ マネージャを選択します。



2 コピーするコンテンツを選択します。

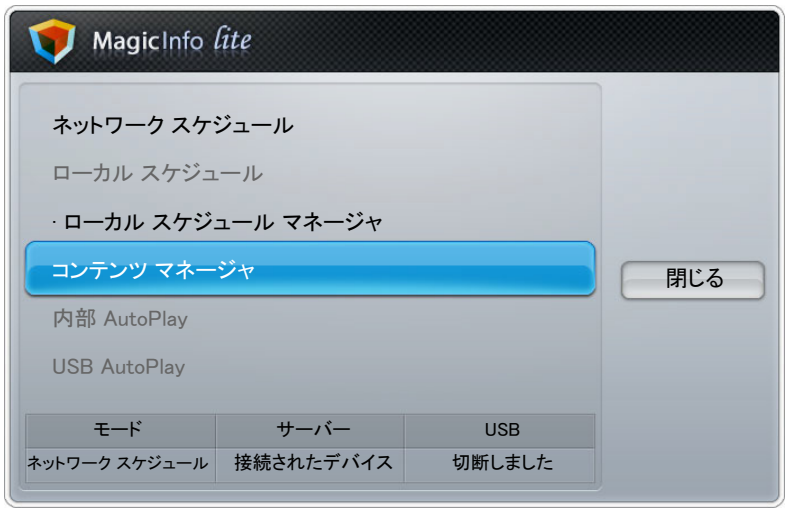
- 内部メモリのコンテンツを選択すると:内部メモリのコンテンツを USB メモリにコピーできます。
- USB のコンテンツを選択すると:USB メモリのコンテンツを内部メモリにコピーできます。

内部メモリと USB メモリのコンテンツを同時に選択するとコピーが無効になります。

3 コピーを選択します。

10.5.2 コンテンツの削除

1 MagicInfo Lite メニュー画面のコンテンツ マネージャを選択します。



2 削除するコンテンツを選択します。

- 内部メモリと USB メモリのコンテンツを同時に削除できます。

3 削除 を選択します。

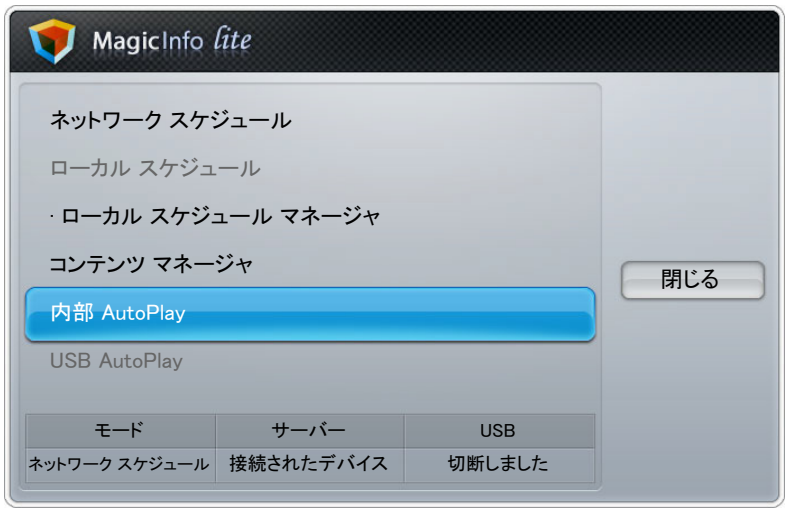
10.6 内部 AutoPlay

10.6.1 内部 AutoPlayの実行

少なくとも 1 つのコンテンツが**内部メモリ**に存在するようにします。

1 MagicInfo Lite メニュー画面の**内部 AutoPlay**を選択します。

- **内部メモリ**にコピーされたコンテンツをアルファベット順に再生します。



10.7 USB AutoPlay

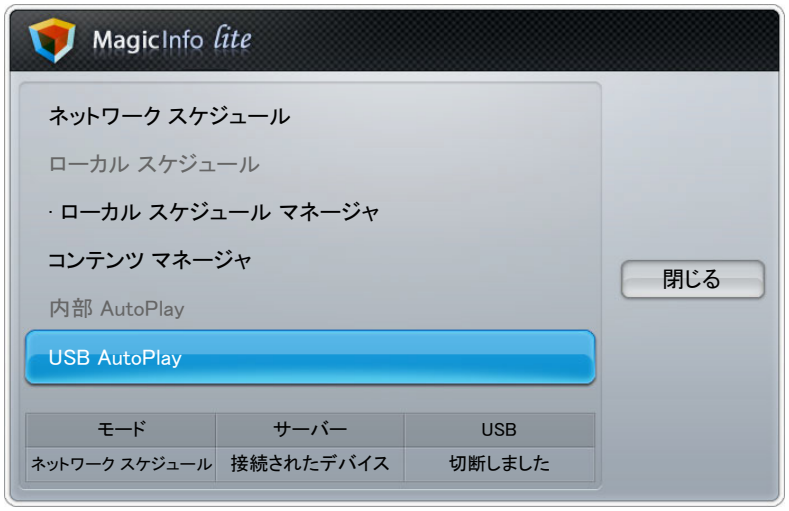
10.7.1 内部メモリでの自動再生の実行

USB デバイスを挿入します。"MagicInfoSlide" というフォルダ名で USB デバイスにフォルダを作成し、コンテンツをフォルダ内に入れてください。

1 MagicInfo Lite メニュー画面の **USB AutoPlay**を選択します。

- USB デバイスの MagicInfoSlide フォルダに入っているコンテンツがアルファベット順に再生されます。

- USB メモリが接続されており、**ネットワーク スケジュール**または**ローカル スケジュール**が起動されていると、**USB AutoPlay**が自動的に実行されます。



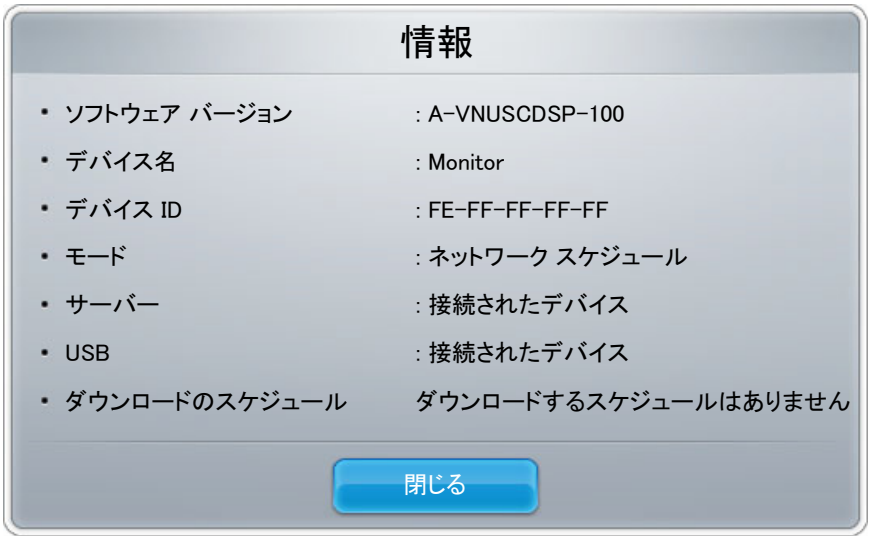
10.8 コンテンツ実行時

10.8.1 実行中のコンテンツの詳細を表示

リモコンの **INFO** ボタンを押します。

1. **ソフトウェア バージョン**:デバイスのソフトウェア バージョンを表示します。
2. **デバイス名**:サーバーに認識されているデバイスの名前を表示します。
3. **デバイス ID**:デバイスの固有識別番号を表示します。
4. **モード**:MagicInfo Lite Player の現在の動作モード (**ネットワーク スケジュール**、**ローカル スケジュール**、InternalAutoPlayまたは**USB AutoPlay**) を表示します。
5. **サーバー** :サーバーの接続状態 (**接続されたデバイス**、**切断しました**または Non-approval) を表示します。
6. **USB**:USB デバイスの接続状態を表示します。

7 **ダウンロードのスケジュール**:ネットワーク スケジュールのサーバーからのダウンロード進捗状況を表示します。



10.8.2 実行中のコンテンツの設定を変更

リモコンの TOOLS ボタンを押します。

リモコンの TOOLS ボタンを押すと、コンテンツ再生中にも**映像モード**や**サウンド モード**の設定を変更したり USB デバイスを安全に取り外すことができます (Safely Remove USB)。

- **映像モード**:再生中のコンテンツの画面設定をカスタマイズします。(**動的**,**標準**, **ナチュラル**, **動画**)
- **サウンド モード**:再生中のコンテンツの音声設定をカスタマイズします。(**標準**、**音楽**、**動画**、**音声を明瞭にする**、**アンプ**)
- Safely Remove USB

11 トラブルシューティング ガイド

11.1 サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に

11.1.1 製品のテスト

サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡いただく前に、以下の手順で製品のテストを行ってください。問題が解決しない場合には、サムスンお客様相談ダイヤルにご連絡ください。

製品のテスト機能を使用して、製品が正常に動作しているかどうかを確認します。

製品が正しく PC に接続されていて、電源 LED が点滅しているのに画面に何も映らない場合には、製品テストを実施します。

1. PC と製品の両方の電源をオフにします。
2. 製品からすべてのケーブルを外します。
3. 製品の電源をオンにします。
4. **信号がありません** と表示される場合には、製品は正常に動作しています。

   画面に何も映らないままのときには、PC システム、ビデオ コントローラおよびケーブルを確認します。

11.1.2 解像度と周波数の確認

"サポートされている解像度（「サポートされる解像度」を参照）を超えるモードが選択されている場合には、**最適なモードが選択されていません** と短く表示されます。

11.1.3 以下について確認します。

インストールの問題 (PC モード)	
画面がオンとオフを繰り返す。	製品と PC との間のケーブル接続を確認し、しっかりと接続されていることを確認します。 (″2.2PC の接続および使用″)
HDMI または HDMI-DVI ケーブルで製品と PC を接続しているときは、画面の四辺に空白部分が発生します。	画面に空白部分が発生するのは、製品側の問題ではありません。 PC またはグラフィック カードによって画面の空白部分が発生しています。問題を解決するには、グラフィック カードの HDMI または DVI 設定で画面サイズを調整します。 グラフィック カードの設定メニューに画面サイズを調整するオプションがない場合には、グラフィック カードのドライバを最新バージョンにアップデートします。 (画面設定の調整方法の詳細については、グラフィック カードまたはコンピュータのメーカーにお問い合わせください。)

画面の問題	
電源 LED が消灯している。画面がオンにならない。	電源コードが接続されていることを確認します。 (″2.2PC の接続および使用″)
″信号がありません が画面に表示される (「PC への接続」を参照)。	製品がケーブルで正しく接続されていることを確認します。 (″2.2PC の接続および使用″)
	電源がオンになっている製品に装置が接続されていることを確認します。
″最適なモードではありません と表示される。	このメッセージは、グラフィック カードからの信号が製品の最大の解像度および周波数を超えている場合に表示されます。
	標準の信号モード表を参照して、製品の仕様に従って最大の解像度および周波数を設定します。
画面の画像がゆがんで見える。	製品に接続しているケーブルを確認します。 (″2.2PC の接続および使用″)

画面の問題	
画面がはっきりしない。画面がぼやけてみえる。	**粗調整** および **微調整** を調整します。
	アクセサリ（ビデオの拡張ケーブルなど）を取り外して再度試してみます。
	解像度と周波数を推奨のレベルに設定します。
画面が安定せず震えて見える。	PC およびグラフィック カードの解像度と周波数が製品の対応する範囲に設定されていることを確認します。続いて、製品メニューの追加情報および標準信号モード表を必要に応じて参照して、画面の設定を変更します。
画面の画像の左側に影やゴーストがある。	
画面が明るすぎる。画面が暗すぎる。	**明るさ** と **コントラスト** を調整します。
画面の色が正しくない。	**画像サイズ** に移動して**カラー調整**設定を調整します。
画面の色に影があり、ゆがんで見える。	**画像サイズ** に移動して**カラー調整**設定を調整します。
白が正しく白色に見えない。	**映像**に移動して**カラー調整**設定を調整します。
画面に画像が表示されず、LED が 0.5～1 秒間隔で点滅する。	製品が省電力モードになっています。
	キーボードのキーを押すかマウスを動かすと、前の画面に戻ります。

音声の問題	
音声が出ない	オーディオ ケーブルの接続を確認するか、音量を調整します。 (″2.2PC の接続および使用″)
	音量をチェックします。
音量が小さすぎる。	音量を調整します。
	最大レベルにしても音量が小さい場合には、PC のサウンド カードまたはソフトウェア プログラムの音量を調整します。

リモコンの問題	
リモコンが機能しない。	電池が正しく入れられていることを確認します。
	電池が消耗していないかチェックします。
	停電していないか確認します。
	電源コードが接続されていることを確認します。
	近くで特殊な照明またはネオン サインが点灯していないか確認します。

入力信号装置お n 問題	
PC の起動時にビープ音が鳴る。	PC の起動時にビープ音が鳴る場合は、PC の点検修理を行ってください。

11.2 Q & A

質問	回答
周波数の変更方法は?	グラフィック カードで周波数を設定します。 • "Windows XP": **コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → 設定 → 詳細 → モニター** を選択し、続いて**モニター設定** で周波数を調整します。. • "Windows ME/2000": **コントロール パネル → 画面 → 設定 → 詳細 → モニター** を選択し、続いて**モニター設定** で周波数を調整します。 • "Windows Vista": **コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → 画面の設定 → 詳細設定 → モニター** を選択し、続いて**モニター設定** で周波数を調整します。 • "Windows 7": **コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 画面 → 解像度の調整 → 詳細設定 → モニター** を選択し、続いて**モニター設定** で周波数を調整します。
解像度の変更方法は?	• "Windows XP":**コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → 設定** で解像度を調整します。 • "Windows ME/2000":**コントロール パネル → 画面 → 設定** で解像度を調整します。 • "Windows Vista":**コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → 画面の設定** で解像度を調整します。 • "Windows 7":**コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 画面 → 解像度の調整** で解像度を調整します。
省電力モードの設定方法は?	• Windows XP:**コントロール パネル → デスクトップの表示とテーマ → 画面 → スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows ME/2000:**コントロール パネル → 画面 → スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows Vista:**コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。 • Windows 7 :**コントロール パネル → デスクトップと個人設定 → 個人設定 → スクリーン セーバーの設定** または PC の BIOS SETUP で省電力モードを設定します。

11 トラブルシューティング ガイド

調整の詳細な手順については、ご使用の PC またはグラフィック カードのユーザー マニュアルを参照してください。

12 仕様

12.1 一般情報

モデル名		ME40A / DE40A	ME46A / DE46A	ME55A / DE55A
パネル	サイズ	40 インチ (101 cm)	46 インチ (116 cm)	55 インチ (138 cm)
	表示範囲	885.6(H) x 498.15(V)	1018.08(H) x 572.67(V)	1209.6(H) x 680.4(V)
表示色		16.7万色		1.07B
寸法 (W x H x D) / 重量 (スタンドなし)		921.2 x 536.1 x 29.9 mm / 10.5 kg	1056.3 x 612.3 x 29.9 mm / 12.5 kg	1246.4 x 718.2 x 29.9 mm / 17.1 kg
VESA 取り付けインターフェイス		200 x 200 mm	400 x 400 mm	

モデル名		UE46A	UE55A
パネル	サイズ	46 インチ (117 cm)	55 インチ (138 cm)
	表示範囲	1025.98(H) x 580.57(V)	1209.6(H) x 680.4(V)
表示色		1.07B	
寸法 (W x H x D) / 重量 (スタンドなし)		1030.4 X 585.0 X 29.9 mm / 12 kg	1221.8 X 692.7 X 29.9 mm / 16 kg
VESA 取り付けインターフェイス		400 x 400 mm	

同期	水平周波数	30～81 KHz
	垂直周波数	48～75 Hz
解像度	最適解像度	1920 x 1080 @ 60Hz
	最大解像度	1920 x 1080 @ 60Hz
最大ピクセル クロック		148.5MHz (アナログ、デジタル)
信号コネクタ		D-sub、DVI、DP (ディスプレイ)、HDMI ポート
USB		ダウンストリーム 1 ポート
環境条件	動作時	温度: 0 °C ~ 40 °C (32 °F ~ 104 °F) 湿度:10～80 %、結露しないこと
	記録装置(梱包保存時)	温度: -20 °C ~ 60 °C (-4 °F ~ 140 °F) 湿度:5～95 %、結露しないこと

12 仕様

電源:この製品は 100～240V を使用します。標準の電圧は国によって異なりますので、製品背面のラベルを参照してください。

プラグ & プレイ:このモニターは、プラグ & プレイ互換システムにインストールして使用することができます。モニターと PC システムとの双方向のデータ交換により、モニターの設定を最適化します。モニターのインストールは自動的に行われます。ただし、必要に応じてインストール設定をカスタマイズすることができます。

この製品の製造上の特質によって、パネルに表示される映像の中に約 100 万個に 1 個の割合 (1ppm) でピクセルが通常よりも明るく、または暗く表示される場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。

VCCI-A
この装置は、 クラスA　情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

12.2 省電力

この製品の省電力機能は、製品が一定時間使用されていないときには画面をオフにして消費電力を小さくし、電源 LED の色を変更します。省電力モードでは電源はオフにはなりません。画面を再度オンにするには、キーボードのキーを押すかマウスを動かします。省電力モードは、製品が省電力機能のある PC に接続されているときにのみ機能します。

省電力	通常動作	省電力モード	電源オフ (本体ボタン オフ)
電源インジケーター	消灯	点滅	点灯
消費電力 (一般情報)	ME40A : 100 W	1 ワット未満	1 ワット未満
	ME46A : 140 W		
	ME55A : 160 W		
	UE46A : 140 W		
	UE55A : 160 W		
	DE40A : 120 W		
	DE46A : 150 W		
	DE55A : 180 W		

- 表示される消費電力のレベルは、動作条件または設定が変更されたタイミングによって異なります。
- SOG (Sync On Green) はサポートされません。
- 消費電力を 0 にするには、背面にあるスイッチをオフにして電源コードを外します。製品を長期間使用しない場合 (休暇中など) には、電源コードを外してください。

12.3 プリセット タイミング モード

- この製品は、パネルの特性に応じて最適な画質を得るために、各画面サイズについて 1 種類の解像度のみ設定することができます。指定以外の解像度を使用すると、画質が低下することがあります。これを避けるには、お使いの製品について指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。
- (PC に接続されている) CDT 製品を LCD 製品に交換した場合には、周波数を確認してください。LCD 製品が 85Hz をサポートしていない場合には、CDT 製品を使用して垂直周波数を 60Hz に変更してから LCD 製品に交換してください。

以下の規格の信号モードに含まれる信号が PC から送信されてきた場合には、画面は自動的に調整されます。PC から送信される信号が標準の信号モードに含まれるものではない場合、電源 LED が点灯していても画面には何も表示されません。この場合には、グラフィック カードのユーザー マニュアルを参照して、以下の表に従って設定を変更してください。

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
IBM、640 x 350	31.469	70.086	25.175	+/−
IBM、720 x 400	31.469	70.087	28.322	−/+
IBM、640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−
MAC、640 x 480	35.000	66.667	30.240	−/−
MAC、832 x 624	49.726	74.551	57.284	−/−
MAC、1152 x 870	68.681	75.062	100.000	−/−
VESA、640 x 480	31.469	59.940	25.175	−/−
VESA、640 x 480	37.861	72.809	31.500	−/−
VESA、640 x 480	37.500	75.000	31.500	−/−
VESA、800 x 600	35.156	56.250	36.000	+/+
VESA、800 x 600	37.879	60.317	40.000	+/+
VESA、800 x 600	48.077	72.188	50.000	+/+
VESA、800 x 600	46.875	75.000	49.500	+/+
VESA、848 x 480	31.020	60.000	33.750	+/+
VESA、1024 x 768	48.363	60.004	65.000	−/−
VESA、1024 x 768	56.476	70.069	75.000	−/−
VESA、1024 x 768	60.023	75.029	78.750	+/+
VESA、1152 x 864	67.500	75.000	108.000	+/+
VESA、1280 x 768	47.776	59.870	79.500	−/+
VESA、1280 x 960	60.000	60.000	108.000	+/+

解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	ピクセル クロック (MHz)	同期極性 (H/V)
VESA、1280 x 1024	63.981	60.020	108.000	+/+
VESA、1280 x 1024	79.976	75.025	135.000	+/+
VESA、1360 x 768	47.712	60.015	85.500	+/+
VESA,1920 x 1080	67.500	60.000	148.500	+/+
VESA,1920 x 1080	66.587	59.934	138.500	+/−

水平周波数

1 本の線を画面の左から右にスキャンするのに必要な時間を水平サイクルと呼びます。水平サイクルの逆数を水平周波数と呼びます。水平周波数は kHz 単位で測定します。

垂直周波数

本製品は、ひとつの画像を (蛍光灯のように) 1 秒間に何回も表示して、画面に映像を表示します。ひとつの画像が 1 秒間に繰り返し表示される回数を垂直周波数またはリフレッシュ レートと呼びます。垂直周波数は Hz 単位で測定します。

12.4 License

TheaterSound HD, SRS and symbol are trademarks of SRS Labs, Inc. TheaterSound HD technology is incorporated under license form SRS Lab, Inc.

Dolby Laboratories の許諾を受けて製造しています。「Dolby」および「向かい合うD」のシンボルは Dolby Laboratories の商標です。

Manufactured under license under U.S. Patent #'s: 5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,487,535 & other U.S. and worldwide patents issued & pending. DTS and the Symbol are registered trademarks. & DTS 2.0+ Digital Out and the DTS logos are trademarks of DTS, Inc. Product Includes software. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

DivX Certified® to play DivX® video up to HD 1080p, including premium content. DivX®, DivX Certified® and associated logos are trademarks of DivX, Inc. and are used under license.

ABOUT DIVX VIDEO: DivX® is a digital video format created by DivX, Inc. This is an official DivX Certified® device that plays DivX video. Visit www.divx.com for more information and software tools to convert your files into DivX video.

ABOUT DIVX VIDEO-ON-DEMAND: This DivX Certified® device must be registered in order to play purchased DivX Video-on-Demand (VOD) movies. To obtain your registration code, locate the DivX VOD section in your device setup menu. Go to vod.divx.com for more information on how to complete your registration.

Covered by one or more of the following U.S. patents : 7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

オープン ソース ライセンスに関する注意

オープン ソース ソフトウェアを使用している場合、製品メニューからオープン ソース ライセンスの内容を確認できます。オープン ソース ライセンスに関する注意は、英語でのみ記載されています。

お客様相談ダイヤル

東雲サービスセンター

0120-327-527

受付時間	平日（土日祭日を除く）9:00~17:00 ※
ホームページ	http://www.samsung.com/jp
住所	〒135-0062　東京都江東区東雲2-6-38
Fax	03-3527-5533

※ 予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

最適画質および残像の焼き付き防止

最適画質

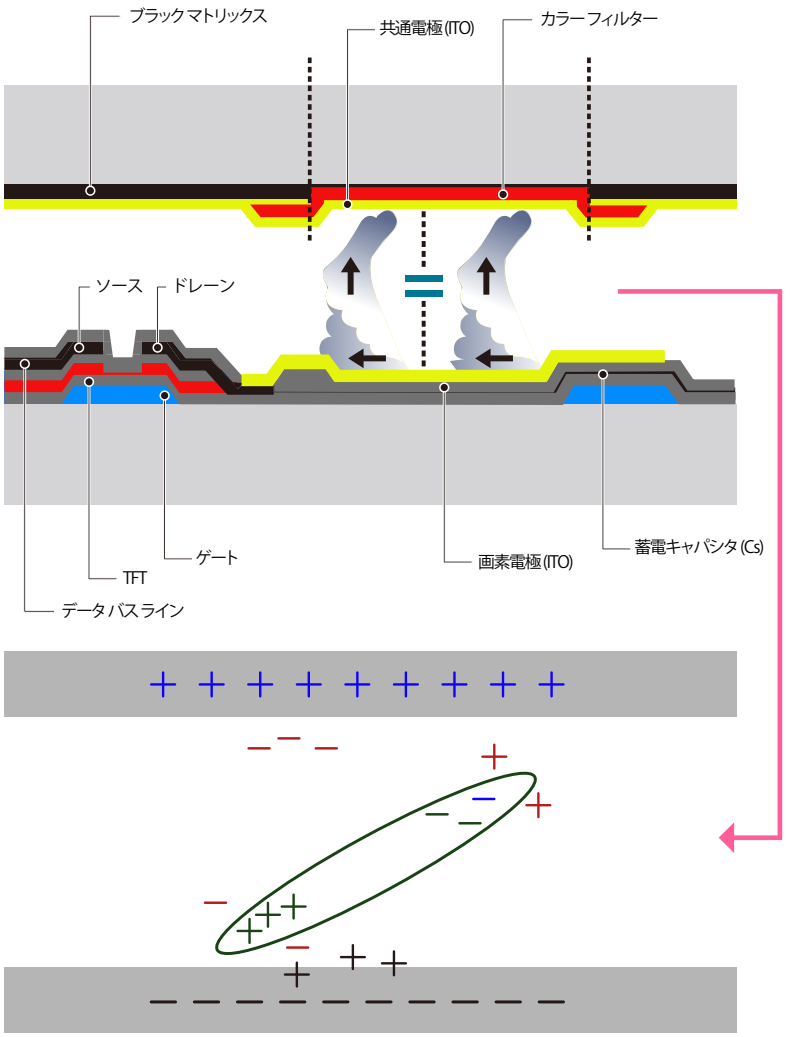
- 最適画質でご使用いただくには、お使いの PC の コントロール パネルで、以下の手順で解像度とリフレッシュ レートを調整します。最適な解像度を選ばないと、TFT-LCD の画質が低下する場合があります。
  - 解像度:1920 X 1080
  - 垂直周波数 (リフレッシュ レート):60Hz
- この製品の製造工程の特性により、LCD パネル上に 100 万ピクセルに約 1 個 (1ppm) の割合で明るい、またはくらいピクセルが生じる場合があります。これは製品の性能に影響を与えるものではありません。
  - 各 LCD パネル タイプのサブピクセル数:40, 46, 55: 6,220,800
- **自動調整** を実行すると、画質が向上します。自動調整後もノイズが見られる場合は、**粗調整** または **微調整** を行います。
- 静止画像を長時間表示したまま放置すると、残像の焼き付きや欠陥画素の原因になることがあります。
  - 製品を長時間使用しない場合は、省電力モードまたはスクリーンセーバーを有効にしてください。
- TFT-LCD モニターは CDT モニターと異なり (パネルの特性による)、最適画質の解像度は 1 とおりにしか設定することができません。したがって、解像度を指定の解像度以外に設定すると、画質が低下することがあります。これを避けるには、お使いのモニターについて指定された最適な解像度を選択することをお勧めします。

残像の焼き付き防止

残像の焼き付きとは?

LCD パネルが通常動作していれば、残像の焼き付きは発生しません。通常動作とは、ビデオパターンが連続して変化していることを意味します。LCD パネルに静止したパターンを長時間 (12 時間以上) 表示すると、液晶を制御するピクセルの電極間にわずかな電圧の差が生じる場合があります。

このような電極間の電圧の差は時間の経過と共に拡大し、液晶は薄くなります。このような状態が発生すると、パターンが変化した後も前の画像が画面上に残ることがあります。これを防止するために、蓄積した電圧差を解消する必要があります。

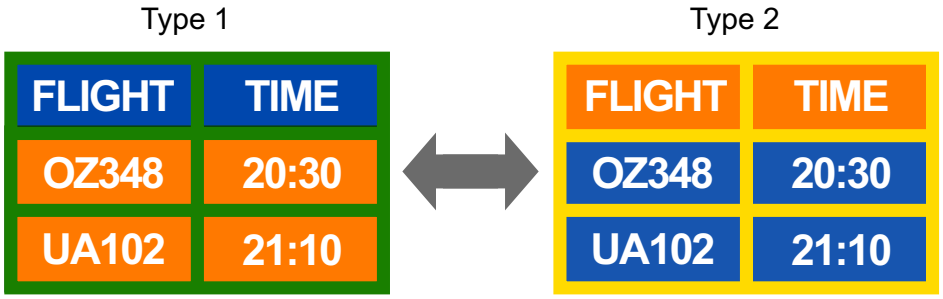


- 電源オフ、スクリーンセーバー、省電力モード

- 本製品を 20 時間使用後は 4 時間、電源をオフにしてください。(DE40A / DE46A / DE55A)
- 本製品を 12 時間使用後は 2 時間、電源をオフにしてください。(ME40A / ME46A / ME55A / UE46A / UE55A / DE40A / DE46A / DE55A)
- 必要に応じて、お使いの PC で、[Display Properties (画面のプロパティ)] > [Power Supply (電源)] の順に選択して、製品の電源をオフにします。
- スクリーンセーバーの利用をお勧めします。

  スクリーンセーバーは単色または、動く映像のものをお勧めします。

- 定期的な色の変更



2 色使用

上記の 2 色を、30 分ごとに切り替えてください。

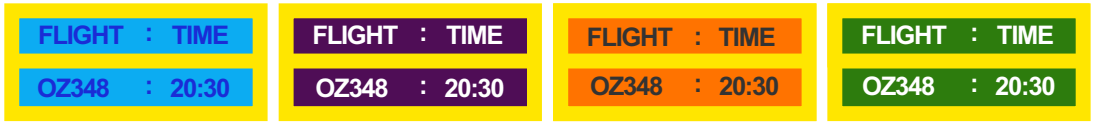
- 文字色と背景色に対照的な明るさの色を使用することは、避けてください。

  残像の焼き付きの原因になるため、グレーの使用は避けてください。

  対照的な明るさの色の使用は避けてください（白黒、グレー）。

- 定期的な文字色の変更
  - 輝度の近い明るい色を使用します。

    間隔:文字色と背景色を 30 分間隔で変更



  - 以下に示すように、30 分間隔で文字を変更します。

[Step 1] [Step 2] [Step 3]

  - 定期的にロゴと動画を表示します。

    間隔:4 時間使用後に、ロゴと動画を 60 秒間表示します。

- 製品の残像の焼き付きを防止する最も良い方法は、製品を使用しない時は電源スイッチをオフにするか、PC またはシステムでスクリーンセーバーを実行するよう設定することです。保証は、操作ガイドによって制限のある場合があります。

用語

OSD (オンスクリーン ディスプレイ)

オンスクリーン ディスプレイ (OSD) では、画面上の設定を行って、必要に応じて画質を最適化することができます。画面に表示されるメニューを使用して、画面の明るさや色合い、サイズなどのさまざまな設定を変更できます。

ガンマ

ガンマ メニューでは、画面の中間調を示すグレースケールを調整します。明るさを調整すると画面全体が明るくなりますが、ガンマを調整した場合は中間の明るさの部分だけが明るくなります。

グレースケール

スケールとは色の強度のことで、画面上の暗い部分から明るい部分への色の変化を表します。画面の明るさの変更は白と黒の変化で表現されますが、グレースケールは白と黒の中間色を指すため、ガンマ調整でグレースケールを変更すると、画面上の中間の明るさの部分が変化します。

走査速度

走査速度は「リフレッシュ レート」とも呼ばれ、画面の書き換え (リフレッシュ) 頻度を表します。画像のリフレッシュ時には画面データが送信されます。ただし、これを肉眼で確認することはできません。この画面を書き換える回数を走査速度と呼び、Hz 単位で表します。たとえば走査速度が 60Hz の場合は、1 秒間に 60 回画面の書き換えが行われます。画面の走査速度は、ご使用の PC および製品のグラフィック カードの性能によって異なります。

水平周波数

製品の画面に表示される文字や画像は、多数のドット (ピクセル) で構成されています。ピクセルは水平方向の線 (ライン) になるよう送信され、これらのラインが垂直に配列されて画像が形成されます。水平周波数は kHz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインが製品の画面に送信され描画される回数を表します。たとえば水平周波数が 85 の場合は、画像を作り出す水平方向のラインが 1 秒間に 85,000 回送信されます。このとき、水平周波数は 85kHz と表されます。

垂直周波数

画像は、水平方向の多数のラインで構成されます。垂直周波数は Hz 単位で測定され、1 秒間に水平方向のラインによって描画される画像の数を表します。たとえば垂直周波数が 60 の場合は、1 秒間に画像が 60 回描画されます。垂直周波数は ″リフレッシュ レート″ とも呼ばれ、画面のちらつきに作用します。

解像度

解像度は、画面を形成している水平および垂直方向のピクセルの数で、ディスプレイの精細度を意味します。

高い解像度では、多くの情報を画面上に表示できるため、同時に複数の作業を実行する場合に適しています。

たとえば解像度が 1920 x 1080 の場合、水平方向のピクセル（水平周波数）は 1,920 個、垂直のライン（垂直解像度）は 1,080 本となります。

プラグ & プレイ

プラグ & プレイ機能では、製品と PC 間で情報が自動的に交換され、最適なディスプレイ環境が構築されます。

本製品では VESA DDC（国際規格）を使用してプラグ & プレイを実行しています。

索引

Numerics

3D モード *103*

M

MagicInfo Lite *115*

MDC のインストールアンインストール *67*

O

OSD 回転 *161*

P

PC の接続 *51*

PIP *148*

R

RS232Cステレオ ケーブルを通じて MDC と通信する *65*

Z

画像サイズ *100*

画面調整 *100*

画面の位置 *152*

解像度の設定 *54*

現在時刻 *143*

仕様 *194*

省電力 *145*

電池 *30*

標準 *98*

付録 *200*

別売品 *24*

問題の報告 *188*

え

エコ ソリューション *112*

お

お客様相談ダイヤル *200*

か

カスタム設定画面 *99*

す

すべてリセット *161*

スリープ タイマー *143*

そ

ソース自動切り替え設定 *153*

ソフトウェア更新 *162*

ね

ネットワーク設定 *129*

ひ

ビデオ接続 *56*

ま

マルチコントロール *142*

め

メニュー言語 *145*

も

モード *98*

り

リモコン *29*